

官報

號外

昭和十五年三月二十一日

第七十五回衆議院議事速記第三十號

昭和十五年三月二十日(水曜日)

午後二時開議

議事日程 第二十九號

昭和十五年三月二十日

午後一時開議

- 第一 國民體力管理法(政府提出、貴族院送付) 第一讀會
- 第二 青年禁酒法案(高橋壽太郎君外十三名提出) 第一讀會
- 第三 裁判所構成法改正法律案(野田文一郎君外二十三名提出) 第一讀會
- 第四 檢察廳法案(野田文一郎君外二十三名提出) 第一讀會
- 第五 計理士法中改正法律案(中野治介君外一名提出) 第一讀會
- 第六 農家世襲財產法案(林平馬君外三名提出) 第一讀會
- 第七 民事訴訟法中改正法律案(原夫次郎君外四名提出) 第一讀會
- 第八 農地國家管理法(大石大君外十名提出) 第一讀會
- 第九 檢査計理士法案(森田重次郎君外二名提出) 第一讀會
- 第十 愛國航空獎券發行ニ關スル法律案(安藤孝三君外三名提出) 第一讀會
- 第十一 恩給法中改正法律案(片山哲君外一名提出) 第一讀會

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
產師法案
提出者

土屋清三郎君 八木 逸郎君

野方 次郎君 中崎 俊秀君

青木 亮貫君 山田 清君

山田 順策君 渡邊 健君

田中 養達君 杉山元治郎君

(以上三月十九日提出)

一昨十九日衆議院規則第十五條但書ニ依リ
議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

八三 杉山元治郎君

八四 田万 清臣君

一昨十九日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常
任委員左ノ如シ

第二部選出豫算委員 堤 康次郎君

第三部選出豫算委員 山道 襄一君

第三部選出豫算委員 北 吟吉君

第七部選出豫算委員 長井 源君

第四部選出請願委員 江原 三郎君

一昨十九日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ
如シ

神宮關係特別都市計畫法案(政府提出、
貴族院送付)外一件委員

小柳 牧衛君 長野 高一君

勝田 永吉君 長井 源君

一昨十九日特別委員理事補選選舉ノ結果左
ノ如シ

昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

外五件委員

理事 池本甚四郎君(理事矢野庄太郎
君去十七日委員辭任ニ付其ノ
補闕)

礦業法中改正法律案(政府提出) 外一件
委員

理事 松尾 三藏君(理事山田清君昨
十九日委員辭任ニ付其ノ補闕)

一昨十九日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如
シ

日本肥料株式會社法案(政府提出)委員
辭任倉元 要一君 補闕小平 重吉君

辭任世耕 弘一君 補闕牧野 良三君

辭任田中 邦治君 補闕長野 長廣君

昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

外五件委員

辭任田中 邦治君 補闕池田 清秋君

礦業法中改正法律案(政府提出)外一件委
員

辭任長野 長廣君 補闕堤 康次郎君

辭任山田 清君 補闕松尾 三藏君

農產物檢査法案(政府提出)委員

辭任菊地養之輔君 補闕前川 正一君

○議長(小山松壽君) 是ヨリ會議ヲ開キマ
ス

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急勸議ヲ
提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、要塞
地帶法中改正法律案、宇品港域軍事取締法
中改正法律案、右兩案ヲ一括議題ト爲シ、
委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレ
ンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ勸議ニ御異
議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、要塞地
帶法中改正法律案、宇品港域軍事取締法中
改正法律案、兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續
キヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス

委員長長山本厚三君

要塞地帶法中改正法律案(政府提出、
貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

宇品港域軍事取締法中改正法律案(政
府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一要塞地帶法中改正法律案(政府提出、
貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十五年三月二十日

委員長 山本 厚三
衆議院議長小山松壽殿

報告書

一字品港軍事取締法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十五年三月二十日

委員長 山本 厚三

衆議院議長小山松壽殿

〔山本厚三君登壇〕

○山本厚三君 只今上程セラレマシタ兩案ニ付キマシテ、委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス

第一ノ要塞地帯法中改正法律案ハ、御承知ノ如クニ近來兵器資材ノ飛躍的進歩、即チ火器ノ射程ノ増大、機械化部隊、航空機、潜水艦及ビ其ノ他ノ艦船等ノ進歩發達ガ著シク、要塞ノ戰鬥方式ニ變化ヲ來シマシテ、又各種ノ諜報手段ガ非常ニ巧妙ニナリマシテ、要塞ノ軍機保護ガ段々困難ニナツテ來マシタ爲ニ、第一ハ要塞區域ノ擴大及ビ禁止ヲ擴張スル必要ガアル、第二ハ色々ノ制限事項ヲ整理シナケレバナラス、第三ハ之ニ關シテ罰則ノ調整ヲシナケレバナラス、此ノ三ツノ點ニ付テ本法ヲ改正セントスルモノデアリマス、仍テ委員會ニ於キマシテハ、其ノ重大性ニ鑑ミ、慎重ニ審議ヲ致シマシテ、委員ト政府ノ間ニ質問應答ヲ重ネタノデアリマスルガ、其ノ中青木作雄君ヨリ下關ノ英國領事館ニ於ケル築造物ニ關シテ、此ノ法規カラ見テ撤廢スベキモノデアルト云フ、相當重要ナ意見ヲ御述ニナツテ、政府ノ所信ヲ質サレ

タノガ、質問事項ノ中重要ナ點ト存ジマス、委員會ハ今日ノ時局柄最モ適當ナル改正デアルト云フ意見ガ一致ヲ致シマシテ、本日討論ノ結果ハ滿場一致ヲ以テ可決ヲ見タ次第デアリマス

次ニ字品港域軍事取締法中改正法律案デアリマスルガ、本案ノ趣旨ハ、大體大陸ニ對スル所ノ兵團ノ輸送、特ニ將來戰ニ於ケル輸送量ノ増加、及ビ最近ノ外國ノ對日諜報活動ヲ考慮致シマシテ、次ノ三點ニ改正ヲ加ヘントスルモノデアリマス、第一ハ港域ノ擴大デアリマス、第二ハ防禦措置ノ徹底デアリマス、第三ハ禁止制限事項ノ増補デアリマシテ、其ノ外ニ此ノ法律案ヲ字品港域軍事取締法ト云フノヲ、陸軍輸送港域軍事取締法ト改正ヲ致シマシテ、字品港ト九州ノ伊萬里灣トニ、之ヲ適用スルト云フコトニ改正シタノデアリマス、本法ニ付キマシテモ、前案同様時局柄最モ重大緊切ナル改正案ト認メシテ、討論ノ結果本日滿場一致ヲ以テ可決確定ヲ見タ次第デアリマス、此ノ段御報告申上ゲマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、兩案ノ第一讀會ヲ開クニ決シマシタ

○服部崎市君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス

ス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

要塞地帯法中改正法律案

第二讀會(確定議)

字品港域軍事取締法中改正法律案

第二讀會(確定議)

○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、兩案トモ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)日程

第一、國民體力管理法案、第一讀會ヲ開キマス——吉田厚生大臣

第一 國民體力管理法案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

國民體力管理法

第一條 政府ハ國民體力ノ向上ヲ圖ル爲

本法ノ定ムル所ニ依リ國民ノ體力ヲ管理ス

第二條 本法ニ於テ被管理者ト稱スルハ

本法施行地内ニ居住地(一定ノ居住地ナキ者ニ付テハ命令ヲ以テ定ムル地トス以下之ニ同ジ)ヲ有スル帝國臣民タル未成年者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當セザルモノヲ謂フ

一 陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ

(未ダ入營セザル者及歸休下士官兵ヲ除ク)又ハ戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノモノ

二 陸海軍ノ學生生徒

三 其ノ他勅令ヲ以テ定ムル者

第三條 本法ニ於テ保護者ト稱スルハ被

管理者ニ對シ親權ヲ行フ者(親權ヲ行フ者ナキトキハ後見人又ハ後見人ノ職務ヲ行フ者)ニシテ本法施行地内ニ居

住地ヲ有スルモノヲ謂フ

第四條 被管理者ニシテ其ノ年十一月三十日ニ於テ年齡二十年ニ達セザルモノハ本法ノ定ムル所ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要ス

保護者ハ前項ノ被管理者ヲシテ體力検査ヲ受ケシムル義務ヲ負フ但シ被管理者ヲ教育、監護又ハ使用ノ目的ヲ以テ寄寓セシムル者アル場合ハ其ノ者ニ於テ其ノ義務ヲ負フ

第五條 市町村長ハ前條第一項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スル被管理者ニシテ其ノ市町村内ニ居住地ヲ有スルモノノ體力検査ヲ行フベシ但シ事務所、商店、工場、事業場等ノ事業主又ハ管理人ニシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ヨリ體力検査ヲ行フコトヲ命ゼラレタルモノハ其ノ事務所、商店、工場、事業場等ニ使用セラルル被管理者ニシテ同條同項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スルモノノ體力検査ヲ行フベシ

勅令ヲ以テ定ムル學校又ハ幼稚園ニ在學又ハ在園スル被管理者ニシテ前條第一項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スルモノノ體力検査ハ前項ノ規定ニ拘ラズ當該學校長又ハ園長之ヲ行フベシ

第六條 第四條第二項ノ規定ニ依ル義務者ハ被管理者ノ氏名、生年月日其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項ヲ被管理者ノ居住地ノ市町村長ニ届出ヅベシ但シ前條第二項ノ被管理者ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 本法ニ定ムルモノノ外體力検査

第七條 本法ニ定ムルモノノ外體力検査

ノ項目、時期、方法、結果ノ報告其ノ他體力検査ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 被管理者體力検査ヲ受ケタルトキハ本人又ハ保護者ニ對シ體力手帳ヲ交付ス

體力手帳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被管理者若ハ保護者又ハ被管理者若ハ保護者タリシ者ニ於テ之ヲ保存シ體力検査其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合ニ之ヲ提示スベシ

前二項ニ定ムルモノノ外體力手帳ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 検査、療養ノ指導其ノ他體力管理ニ關スル醫務ニ從事セシムル爲國民體力管理醫ヲ置ク

國民體力管理醫ハ醫師又ハ齒科醫師ニ就キ之ヲ選任ス

醫師又ハ齒科醫師ハ正當ノ事由ナクシテ國民體力管理醫タルコトヲ拒ムコトヲ得ズ

本法ニ定ムルモノノ外國民體力管理醫ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 國民體力管理醫ハ體力検査ニ於テ被管理者ヲ検査シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ本人又ハ第四條第二項ノ規定ニ依ル義務者ニ對シ被管理者ノ體力向上ニ關スル指導ヲ爲スベシ

第十一條 地方長官ハ體力検査ニ基キ必要アリト認ムルトキハ被管理者ニ付本人又ハ保護者ニ對シ國又ハ公共團體ノ體力向上施設ノ利用、就業ノ場所又ハ時間ノ制限、業務ノ變更其ノ他ノ體

力向上ニ關スル指示ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ被管理者ヲ使用スル者ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第十二條 地方長官ハ體力検査ニ基キ必要アリト認ムルトキハ主務大臣ノ指定スル疾病ニ罹レル被管理者ニ付本人又ハ保護者ニ對シ療養ニ關スル處置ヲ命ズルコトヲ得但シ官立ノ學校又ハ公立若ハ私立ノ大學、專門學校、實業專門學校、高等學校若ハ之ニ準ズベキ學校ニ在學又ハ在園スル被管理者ニ關シテハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ處置ヲ命ゼラレタル者貧困ノ爲其ノ義務ヲ履行スルコト能ハザルトキハ地方長官ハ其ノ者ノ申請ニ依リ國民體力管理醫ニ就キ療養ノ指導ヲ受ケシムルコトヲ得

第十三條 國又ハ道府縣ノ事業ニ使用セラルル被管理者ニ關シ第五條第一項及第十條乃至前條ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十四條 被管理者ヲ使用スル者ハ體力検査ノ結果ヲ不當ニ援用シテ被管理者ニ對シ不利益ナル取扱ヲ爲スコトヲ得

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第五條第一項但書ノ規定ニ依ル地方長官ノ命令ニ違反シ體力検査ヲ行ハザル者

二 被管理者、保護者又ハ第四條第二項但書ノ規定ニ依ル義務者ノ義務履行ヲ妨ゲタル者

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス

一 第四條第二項ノ規定ニ依ル義務者ニシテ被管理者ヲシテ體力検査ヲ受ケシムル爲必要ナル措置ヲ爲サザルモノ

二 第六條ノ規定ニ違反シ届出ヲ爲サザル者

第十七條 事業主又ハ管理人ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第十五條第一號ノ違反行為ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十八條 第十五條第一號ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十九條 體力検査其ノ他體力管理ノ事務ニ從事シ又ハ從事シタル者其ノ職務上知得シタル人ノ秘密ヲ故ナク漏泄シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條 前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ズ

第二十一條 本法ノ罰則ハ國、道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニハ之ヲ適用セズ

第二十二條 町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準ズベキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準ズベキモノニ之ヲ適用ス

附則

本法施行ノ期日ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

當分ノ内被管理者ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ限定スルコトヲ得

(小字及ハ貴族院修正)

國民體力管理法案

國民體力管理法案

第一條 政府ハ國民體力ノ向上ヲ圖ル爲本法ノ定ムル所ニ依リ國民ノ體力ヲ管理ス

前項ノ管理トハ國民ノ體力ヲ検査シ其ノ向上ニ付指導其ノ他必要ナル措置ヲ爲スヲ謂フ

(國務大臣吉田茂君登壇)

○國務大臣(吉田茂君) 只今議題トナリマシタ國民體力管理法案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ説明致シマス

國民ノ體力ノ向上ヲ圖リマスルコトハ、單ニ國民個々ノ問題デアルバカリデハナク、國力伸張ノ根本ヲ培フ所以デアリマス

ルコトハ、今更申上ゲルマデモナイコトデアリマス、殊ニ我國ガ今日ノ如キ非常時局ニ際會致シマシテ、曠古ノ大業ヲ遂行セン

トスルニ當リマシテハ、何ヨリモ先ヅ國民體力ノ増強ヲ圖ルコトガ肝要ト存ズルノデアリマス、然ルニ我ガ國民體力ノ現狀ハ、之ヲ徵兵検査ノ結果ニ徴シマシテモ、或ハ出生率、死亡率等カラ見マシテモ、或ハ又

結核、花柳病等ノ蔓延状態カラ申シマシテモ、可ナリニ憂慮スベキ状態デアルト考ヘマスノデ、是ガ實情ヲ徹底的ニ調査致シマシテ、其ノ原因ヲ究メ、以テ適切ナル對策ヲ樹立スルノ要アリト信ズルデアリマス

政府ハ以上ノ如キ實情ニ鑑ミマシテ、今回國民體力管理制度ヲ制定スルコトニ致シタ次第デアリマスガ、其ノ骨子トスル所ヲ簡單ニ申上ゲマスルト、第一ニ本制度ノ對象ハ、之ヲ帝國臣民タル未成年者ト致シタノデアリマス、未成年者ハ國防上ニ於テモ、産業上ニ於テモ、次代ヲ擔當シナケレバナラナイ者デアリマシテ、而モ亦其ノ心身ハ未ダ發育ノ過程ニアリマスルノデ、是ガ健全ナル發達ニハ十分ナル保護監督ヲ要スルノミナラズ、此ノ時期ニ於テハ心身ノ鍛鍊、體質ノ改善等モ、最モ效果ヲ擧ゲ易イモノト思料致サレマスルノデ、本法ノ對象ヲ未成年者ト致シタ次第デアリマス

第二ニ、管理ノ内容デアリマスガ、本制度ノ適用ヲ受クル未成年者ニ對シマシテハ、毎年體力検査ヲ施行致シマシテ、各人ノ體力ノ實情ニ即應シタル指導ヲ指示ヲ與ヘ、更ニ特殊ノ疾病ニ罹ツテ居ル者ニ對シテハ療養ヲ命ジ、若シ貧困ノ爲自ラ之ヲ爲シ得ナイ場合ニハ、國民體力管理醫ニ就テ療養ノ指導ヲ受ケシムルコトヲ致シタノデアリマス、國民體力管理醫ハ體力検査、療養ノ指導其ノ他體力ノ管理ニ當リマスル重要ナル機關デアリマスガ、其ノ設置區域ハ全國ニ互リ、多クノ人數ヲ要シマスノデ、主トシテ開業セル醫師、又ハ齒科醫師中カラ之ヲ選任スルコトヲ致シマシテ、醫師又ハ齒科醫師ハ正當ノ事由ナクシテ、國民體力管理タルコトヲ拒ミ得ナイコトニシタノデア

リマス

最後ニ、體力検査ノ結果ハ、之ヲ地方別、年齡別等ニ集計致シマシテ、國民體力ノ現状ヲ全國的ニモ、亦地域的ニモ明カナラシメマシテ、其ノ結果判明シタル國民體力ノ缺陷ニ付キマシテハ、其ノ原因等ヲ十分ニ調査研究致シマシテ、國民體力向上ニ關スル諸般ノ施設ハ固ヨリコト、廣ク國民保健對策ノ基礎ヲラシメタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、本制度ニ關シマシテハ、既ニ一昨年國民體力管理制度調査會ニ諮問致シマシテ、又昨年十月ヨリハ、國民體力審議會ニ諮問致シタノデアリマスガ、ソレノ委員會ニ於キマシテ慎重審議ノ結果、本制度案要綱ノ答申ヲ得マシタノデ、之ニ基キマシテ立案致シタ次第デアリマス、又一面ニ於テハ、本制度ノ重要性ニ鑑ミマシテ、昭和十三年度及十四年度ニ於キマシテ、豫メ各方面ニ互リマシテ準備調査ヲ施行シ、之ニ依ツテ得マシタル資料モ、亦本制度ノ立案ニ當リマシテ、其ノ基礎ヲラシメタ次第デアリマス、何卒慎重御審議ノ上ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ切望スル次第デアリマス(拍手)

(今頃出シテ慎重ニヤレルカ)ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス

○伊藤東一郎君登壇

○伊藤東一郎君 質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス

第一讀會

家ノモノトシテ要求サレテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ國民體力ノ維持向上ニ付キマシテハ、國家モ亦萬般ノ方策ヲ講ゼネバナラス時代ガ來タノデアリマス、併シナガラ此ノ問題ハ、單ナル體力検査ト疾病ノ發覺ト、其ノ治療ト云フ、當面ノコトダケデハ解決サルベキモノデナイデアリマシテ、畢竟スルニ國民ノ體力ヲ、從來ノ如ク遺憾ナル状態ヨリ脱却セシムル爲ニハ、一般貧弱ナル國民經濟生活其ノモノガ、モツト向上發展シナケレバナラナイト同時ニ、或ハ國民各階層ノ間ニ於ケル貧富ノ懸隔ガ甚シクテ、一方ニ貧乏ニシテ其ノ日ノ生活ニ追ハレ、自己ノ體力ヲ維持スルコトスラ困難ナル者ガアリマスル其ノ半面ニ、比較的餘裕ノアル階層ノ體力が遊惰安逸ニ感溺シマシテ、健康ナル肉體の訓練ヲ缺イテ居ル者モアルコトヲ、考慮サルベキデアルト存ジマス(拍手)要ハ榮養不良ト、榮養過多ト、筋肉ノ過勞ト、筋肉ノ勞働不足ト、ソレ等ノ錯雜ハ最早單ナル國民體力ノ範圍ノ問題デハナクシテ、ソレハ國民ノ日常經濟生活ノ水準ニ關スルト共ニ、更ニ國民生活全體ニ關スル道義觀念ノ有無厚薄ノ心構ヘノ問題トナツテ參ルノデアリマス、カルガ故ニ、眞ニ國民體力ノ向上ヲ確保シ、其ノ増進ヲ圖ラントスルガ爲ニハ、體力検査ト、體力手帳ト、體力検査醫ノ設置ダケデハ、満足スベキデナク、問題ハ之ヲ基準トシマシテ、一國全體ノ政治ガ厚生のニ立テ直サレル所マデ行クコトニ依ツテ、初メテ萬全ヲ期スルコトヲ得ルモノダト考ヘマスルガ、政府ノ所見如何、先ツ御伺ヲシタイノデアリマス

(發言スル者アリ)

○議長(小山松壽君) 第二、本法案ガ昨秋來國民體力管理法ノ名ニ於テ、本議會ニ提案ノ御準備アルコトヲ知リマシテ以來、私ハ管理ト云フ文字ニ對シマシテ、心密ニ不快ノ念ヲ抱イテ居ツタ一人デアリマス(拍手)何トナレバ、由來管理ト云フ語ハ、總ジテ物ニ使用サレテ來タ言葉デアリマスルノニ、苟モ萬物ノ靈長タル人ノ問題、而モソレガ我が大和民族ガ、永遠ニ向上發展ノ礎トモ謂フベキ先幸多イ本法ノ名ニ使用サルコトノ、何如ニモ不適當デアアルコトヲ痛感致スカラダゴザイマス、昔ヨリ名ハ實ノ賓ト申ス諺ニモ鑑ミラレマシテ、生ミノ親タル政府ハ、モツト相應シイ名ニ改メナサル御意思ハナイカ

第三、國民ノ體力ハ國家活動ノ源泉デアリマシテ、國民體位ノ向上ヲ圖リ、強壯國民ヲ造リ上ゲルコトハ、實ニ民族ノ發展、國家隆昌ノ根幹デアアルノデゴザイマス、併シナガラ是ト同時ニ、體位ニ伴フ精神力ヲ涵養スルコトノ重要サヲ忘レテハ相成ラナイノデアリマス、申上ゲルマデモナク、健全ナル精神ハ健全ナル肉體ニ宿ルト言ハレテ居リマスルガ、又健全ナル精神ガ其ノ肉體ヲ健全ナラシムル所以デアリ、何レガ兄タリ何レガ弟タリ難ク、兩々相俟ツベキコトハ、儼タル事實デアアルノデゴザイマス、即チ精神力ト體力トハ不可分ノ關係ヲ有スルモノデアリマシテ、此ノ兩者ハ共ニ並行シテ、訓練シ、修養シ、向上セシムルニアラザレバ、人類本來ノ活動ハ、斷ジテ望ミ得ザルモノト思フノデアリマスルガ、政府ハ此ノ點ニ對シテ何如ニ御考ナサツテ居ルカ

第四、本法が國民ノ體力ヲ毀損セズ、寧ろ之ヲ向上セシムルコトヲ庶幾致シテ居ラレマスルナレバ、其ノ検査ノ範圍ヲ二十五歳マデ擴大スルノ必要アリト考ヘルノデアリマス、何トナレバ、人間ノ體位ヲ損フ最モ恐ルベキ疾病、即チ性病若クハ結核ガ、二十一歳ヨリ二十五歳マデノ間ニ、著シク其ノ罹病率が高イ事實、又國民トシテ最モ活動力ノ旺盛ナル時期ニ於テ、其ノ健康ヲ害スルコトノ、國家社會ニ與ヘル損耗ノ如何ニ大ナルカニ思ヒ及ビマシタナラバ、二十五歳マデ範圍ヲ擴大スルノ必要ナルコトハ、敢テ多言ヲ要シナイ所デゴザイマス、政府ハ二十五歳マデ範圍ヲ擴大ナサツテハドウカ

第五、本法御制定ノ趣旨ヲ以テシマスレバ、胎兒ノ検査ヲ忘レテ居ラレマスルノハ、實ニ本法ノ一大缺陷ナリト言ハザルヲ得マセヌ、申スマデモナク我國ノ誇トシテ居リマシタ出生率ハ、遺憾ナガラ大正九年ヲ頂點トシマシテ、今ヤ低下ノ傾向ヲ辿リツツアリマスルノミナラズ、乳兒死亡率ガ今尙ホ之ヲ歐米ノ各國ニ比較致シマスレバ、著シク高率ニアリマスルコトハ、諸君御承知ノ通りデゴザイマス、而シテ其ノ死因ノ最モ多イノハ、先天の弱質ニアルノデアリマス、先天の弱質トハ、即チ母體ノ注意ガ十分デナイコトニ原因スルト謂ハレテ居リマス、果シテ然リトセバ、本法ノ範圍ニ胎兒、即チ妊娠セル母體ノ検査ヲ忘レテ居リマスルコトハ、洵ニ遺憾ニ存ズルノデアリマス、政府ハ妊娠セル母ノ検査ニ付テ如何ニ考ヘテ居ラレカ

ウニ見受ケラルルノデアリマス、惟フニ長期建設ノ途上ニ於テ、本法ガ制定サレマス御趣意カラシマシタナレバ、宜シク全範圍ニ互ツテ即時實施ナサルコトガ當然デアリマス、私ハ固ヨリ國費等ノ關係上、斯ノ如ク經過規定ヲ設ケラレントスル御用意カト存ズルノデアリマス、併シナガラ何ト致シマシテモ國家百年ノ大計ヲ樹立スルノデアリ、而モ長期建設途上ニ於テ、一刻モ捨置キ難キ必要缺クベカラザル本法ノ如キハ、斷ジテ其ノ經費ヲ吝ムベキモノニアラズト確信ヲ致スノデアリマス（拍手）若シ夫レ今日此ノ經費ノ支辨ヲ吝ンデ、ソレガ爲ニ興隆大日本ノ將來ニ悔ヲ貽スガ如キコトガアリマシテハ、其ノ時如何ニ悔ンデモ取返シノ付カナイコトガアルカラデアリマス、須ク此ノ際萬障ヲ排シテ、即時全面的斷行ヲナサルガ至當ナリト存ズルノデアリマスガ、政府ニ此ノ勇斷アリヤ否ヤ、當局大臣ハ無論、總理大臣竝ニ陸海軍兩大臣ノ御所見ヲモ、此ノ點ニ付テ伺ヒタイノデアリマ

諸君、私ハ更ニ此ノ際特ニ絶叫致シタイコトハ、國民ノ體力維持並ニ體位向上ニ關スル各種對策ニ付テデゴザイマス、俗ニ豫防ノ一圓ハ治療ノ百圓ニ優ルト謂ハレテ居リマス、事後の處置ノ萬全ヲ期シマスコトハ、固ヨリ必要缺クベカラザルコトデアリマスガ、サリトテ是ガ爲未熟ノ防止策ヲ忽セニスルコトハ、誤レルノ甚シキモノト言ハナケレバ相成リマセヌ、即チ衣食住ノ問題ハ言ハズモガナ、或ハ保健衛生ノ問題、或ハ生活環境ノ問題等、人的資源ノ涵養ニ關シ、十分ニ留意シナケレバナラナイモノガ少クハアリマセヌ、故ニ私ハ暫ク時間ヲ

拜借ヲ致シマシテ、此ノ點ニ付キマシテ政府當局ニ御伺致スノデアリマス
諸君、近時生産力擴充ノ波ニ乘リマシテ、各種工場ガ新シク増設ヲサレマシタ、隨テ其處ニ働ク男女勞務者ノ數ハ、益々激増スルバカリデナク、其ノ勞働ガ著シク強化サレ、其ノ結果工場ニ於ケル設備ハ甚ダ不完全デアアルニ拘ラズ、勞働時間ハ長クナルバカリデナク、夜業サヘ相當ニ頻繁ニ行ハレテ居ル實情デゴザイマス、隨ヒマシテ健康ヲ害スル者ガ多ク、又執務上ノ傷害モ少クナイ狀態デアリマスノハ、大イニ考慮ヲ要スルコトデゴザイマス、即チ工場ニ於ケル設備ヲ十分ニ整ヘマスコトハ勿論、更ニ保健福祉ノ諸施設ヲモ併セテ整備スルノ必要ナルコトヲ痛感致スノデアリマス、此ノ點ニ關シ政府ハ現ニ如何ナル處置ヲ執ツテ居ラルルヤ、又今後ノ對策ニ付テ如何ニ考ヘテ居ラルルヤ、今日工場都市ニ於キマシテハ、勞務者ガ急ニ増加シマシタ關係上、人口ノ膨脹ガ殊ニ著シク、隨テ住宅難ハ其ノ極ニ達シテ居ル狀況デアリマス、是ガ爲ニ甚シキハ疊一枚ニ一人半乃至二人ト云フヤウナ割合デ住ンデ居ル人モアルカノヤウニ聞イテ居リマス、故ニソレ等ノ人々ハ、所謂萬年床ニ晝夜交代ヲシテ睡リ、來ル日モ來ル日モ過重ノ勞働ニ疲レタ身體ヲ、十分ニ休養スルノ術モナキ人ガアリ、其ノ半面ニハ懷口ノ裕カナルコトト相俟チマシテ、或ハ宜シクタイ所カラ通勤シタリ、或ハ娛樂飲食ニ耽ツテ、アタラ健康ヲ損フ者モアルト云フ實情デゴザイマス、諸君、此ノ現狀ハ瞬時モ之ヲ打捨テ置クベキデナイト存ジマス、此ノ點ニ關シ政府ハ如何ニ考ヘテ居ラルルカ、又今後如何ナル工夫ヲナサル

御意思デアアルカ、政府當局ノ御所見ハ無論、併セテ内務當局ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス
更ニ諸君、社會事業ノ對象トナル貧困者ノ家庭ヲ見マスルノニ、子供ノ多イト云フコトガ、多クハ貧乏スル原因トナツテ居ルノデアリマス、今ヤ時局下婦人勞働者ノ増加ハ驚クベキバカリデナク、少年勞働ノ強化著シク、殊ニ幼年勞働サヘ行ハレテ居ル現狀デアリマス、其ノ結果ガ勞務者ヲ母トシテ持ツ兒童ノ保育ニ缺陷ヲ生ジタリ、又胎兒ノ發育ヲ不完全ナラシメツツアルノミナラズ、既ニ健康ヲ損ヘル多クノ婦人ヤ幼少年ガアリ、尙ホ更ニ斯ノ如キ環境ノ下ニ、近時不良化シツツアル青少年ガ激増シテ參リマシタ實情ハ、洵ニ憂慮ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、人的資源ノ喧シク叫バレテ居リマスル今日、胎兒ノ發育ガ不完全デアツタリ、又貴重ナル第二國民ガ、斯クモ窮迫セル境遇ノ下ニ、如何ニ育クマレ、如何ニ育テラレテ居ルカト云フ現情ヲ思ウタ時、徒ニ産メヨ殖セヨト叫ブ前ニ、先ヅ現ニ子供ガ多イ爲ニ、貧苦ニ惱ミツツアリマスル所ノ是等世帯ヲ、如何ニ程宜ク保護シ、輔導シ、現ニ孕マレテ居ル子供ガ無事ニ生レ、既ニ生レテ居ル子供ヲ、如何ニシテ其ノ健康ヲ保全シ、其ノ資質ヲ向上セシムルカハ、正シク國家ノ大問題デアルト斷言致ス者デゴザイマス（拍手）政府ハ如何ナル保護方法ヲ講ジ、又如何ナル施設ヲ整備シテ居ラレマスルヤ否ヤ、結核病者ニ關シマシテハ、官民ノ努力ニ拘ラズ、療養ノ施設甚ダ乏シク、此ノ現狀ヲ以テシマスレバ、亡國病ト言ハレテ居ル此ノ恐ルベキ病氣ハ、減少ドロカ益々増加スルノデハナイカト

懸念サルノデアリマス、斯様ナ狀態ニ於キマシテ、本法ハ療養ノ途ナキ者ニ對シテハ、國家自ラ其ノ方途ヲ與ヘラルルノ御方針ト承知シテ居リマスルガ、政府ハ果シテ能ク其ノ責ヲ果ス確信ヲ持ツテ居ラルルカドウカ

更ニ又今日工場勞務者ノ激増ト、工場街ノ住宅ノ拂底トハ相俟チマシテ、工場街ニ他ノ地方ヨリ通勤スル勞務者ノ増加ヲ見テ居ルノデアリマス、今其ノ一例ヲ川崎市ニ付テ申シマスレバ、同市ノ夜間ニ於ケル人口、即チ普通人口ハ約二十万人デアリマスルノニ、晝間ノ人口ハ約四十万ヲ數ヘテ居ルノデアリマス、實ニ二十万人ノ人ガ、朝ナタナ他ノ地方ヨリ通勤ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ之ニ對スル交通機關ハ舊態依然、驚クベキ不足デアリマシテ、現ニ朝夕ノ「ラッシュ・アワー」ニハ、電車モ「バス」モ身動キノ出來ナイヤウナ、超々満員デアリマシテ、婦人子供ハ踏潰サレト云フガ如キ有様デアアルノデゴザイマス、若シ夫レ停車場ノ如キハ人間ガ歩イテ居ルノデハナクシテ、人ノ波ガ打ツテ居ルト申シテモ差支ノナイ狀態デアリマス、ソレヲ毎日々々照ル日モ降ル日モ繰返シテ居ルノデアリマス、其ノ他全國ノ各工業都市ニ於テモ、是ト大同小異ノ混雜ヲ呈シテ居ルノデアリマス、果セル哉諸君、過般大阪市ニ於テ、働キ盛リノ國家有爲ノ國民約二百名モノ尊キ生命ヲ犠牲ニシタト云フ、一大不詳事ヲ惹起致シマシタコトハ、洵ニ遺憾ノ極デアアルノデゴザイマス、假令其ノ原因ガ他ニアルド致シマシテモ、定員ニ二倍三倍ノ超満員デハ、事故ヲ起スコトハ無理デハナイト言ハレテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ交通機關ノ不

備ナル狀態ニ對シテ、何等對策ヲ講ゼズシテ、此ノ儘長ク打ツチキツテ置クコトハ、甚ダ其ノ當ヲ得ナイコトト存ズルノデアリマスルガ、鐵道大臣ハ此ノ實情ニ鑑ミ、何カ對策ヲ御考慮爲サレテ居ルカ否ヤ

最後ニ諸君、米内總理大臣ガ曩ニ施政方針ノ演説ヲ述ベラレマシタ如ク、國民生活ノ確保ハ、ソレ自體事變處理ノ上ニ、軍備ノ充實ト共ニ必要缺クベカラザル事柄デゴザイマス、ト同時ニ、ソレハ國民ノ體育ヲ向上セシメ、長期建設ニ對應シテ行ク上ニモ、亦是非トモ必要ナル事柄デゴザイマス、然ルニ國民生活ノ現狀ハ、現ニ彼ノ方面委員ノ手ニ抱ヘラレテ居リマスル所ノ要扶掖者ダケデモ、既ニ二百五十万ヲ數ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ其ノ他多數ノ窮民、更ニ中小商工業者若クハ零碎農民ニシテ、時局ノ影響ヲ蒙リ、没落過程ヲ辿リツツアル者ヲ數ヘマシタレバ、其ノ數蓋シ驚クベキ多數ニ上ツテ居ルノデアリマス、而シテ是等ノ人々ハ、今日此ノ物資不足ト物價高トノ間ニ責立テラレマシテ、如何ニ惱ミ、如何ニ苦ンデ居ルカ、其ノ生活ノ實情ヲ思ヒマシタ時、洵ニ慄然タルモノガアルノデゴザイマス、斯様ナ有様ヲ放任シテ置キマシテ、他方ニ如何ニ體力ノ検査ヲ實行ナサツテモ、蓋シ其ノ效果ノ大ナルモノヲ期待スルコトハ、恐ラク出來得ナイデアアラウト存ズルノデアリマス、事變處理ノ進行ニ連レマシテ、我國ノ經濟ハ今後一層其ノ統制ガ強化サレ、其ノ重壓ハ一段ト加重サレルモノト考ヘラルルノデアリマス、國民ハ固ヨリ聖戰ノ目的達成ノ爲ニハ、如何ナル重壓ニモ耐ヘ得ル覺悟ヲ持ツテ居ルノデアリマス、サリナガラ桶ノ上カラ重ミガ加ヘラレル場合、

若シ假ニ其ノ桶ガ破レルトシマシタナラバ、ソレハ一番弱イ、言ヒ換ヘマスレバ、一番重壓ニ耐ヘ得ナイ底ガ拔ケルノデアリマス、國民生活ニ於キマシテモ、重ミガ加ヘラルレバ加ヘラレル程危イノハ、諸君、一番弱イ庶民階級ノ生活デゴザイマス、此ノ弱イ庶民階級ヲ護ツテ、生活安定ノ底ヲシツカリ入レルコトガ、刻下喫緊ノ要務デアルト私ハ斷言シテ憚ラナイノデアリマス、政府ハ此ノ點ニ付テ考慮ヲ拂ハレ、生活必需品ノ缺乏ニ悩ム庶民生活ヲ確保スル爲、外米ノ輸入モ考ヘ、又増産ノ補助獎勵ヲモ辭サナイ決意ヲ示サレテ居リマスルガ、今日ノ實情ハ實情、買溜、闇相場等ニ依リ、物ノ偏在ヲ來シ、其ノ爲庶民ハ生活必需品ノ入手難ヲ慫ヘテ居ルノデアリマス、此ノ事態ニ鑑ミマシテ、政府ハ生活必需品ニ限リ、庶民階級ヘノ適切ナル配給確保ノ方途ヲ講ジ、彼等ヲシテ出來得ル限り廉價ニ確實ニ取得スルコトヲ得セシムルコトガ、何ヨリモ急務ナリト考ヘラルルノデアリマス、政府ハ曩ニ

商工省關係ニ於テ産業奉仕員ヲ設置シ、之ニ六十萬圓ヲ本年度豫算ニ計上ヲサレマシタ、洵ニ好キ思付キデゴザイマス、私ハ更ニ全國六万有餘ノ方面委員ノ諸君ニ相應ノ活動資金ヲ與ヘ、其ノ活動ヲ促シ、庶民生活ノ安定ニ努力セシメ、以テ國民大衆ノ思想ノ動搖ヲ防グト同時ニ、體力ノ維持向上ニ協力セシメルコトハ、最も有効適切ナリト信ズル者デゴザイマスガ、厚生大臣ハ此ノ點ニ關シ如何ナル御所見ナリヤ

以上ハ近時人的資源ノ涵養ガ、動モスレバ生産力擴充ノ爲ニ犠牲トナツテ居ル頗ガアリマスノデ、本案ガ速ニ制定實施サレ、十分ニ其ノ效果ヲ收メルコトヲ切望スル餘

リ、茲ニ政府ノ所見ヲ伺ツタ次第デアリマス、何卒懇切ナル御答辯アラント切望致シマシテ、私ノ演説ヲ終リマス(拍手)

○議長(小山松壽吉) 伊藤君ニ申シマス、總理大臣ハ參議會ニ出席ノ爲、未ダ登院セラレテ居リマセス

(國務大臣吉田茂君登壇)

○國務大臣(吉田茂君) 御質疑ノ順序ニ從ツテ逐次御答ヲ申上ゲタイト存ジマス

第一ニ、國民ノ體力ヲ向上スル爲ニハ、ソシテ國力ノ充實ヲ圖ル爲ニハ、諸般ノ政治ガ厚生的ニ立テ直ルコトガ必要デアルト云フ御意見ハ、洵ニ御尤モニ存ジマス、厚生行政ノ目的ヲ達成致シマスル爲ニハ、單ニ厚生省ノ一省ノ主管ニミ止ラズ、他ノ有ユル殆ド總テノ各省トノ緊密ナ連絡提携ニ依リマシテ、國民生活ノ向上ヲ圖リ、國力ノ充實ヲ圖ルト云フコトガ必要デアリマスコト、御意見ノ通りデゴザイマス、其ノ點遺憾ナキヤウ、十分ニ努力ヲサセテ戴キタイト考ヘテ居リマス

次ニ國民體力ノ管理ト云フ、其ノ管理ト云フ言葉ハ、普通物ニ對シテ用ヒラレテ居リ、人ニ對シテ之ヲ用ユルコトハ、不適當デハナイカト云フ御意見デゴザイマシタ、管理ト云フ言葉ハ、物ニ對シテモ用ヒラレテ居リマスコト、御説ノ通りデアリマス、ト同時ニ軍隊方面、教育方面、或ハ勞務ノ場合等、人ノ才世話ヲスルト云フ時ニモ、屢々用ヒラレテ居ル實例ガゴザイマスノデ、決シテ之ヲ物ニ對シテ專ラ用ヒテ居ルノデハゴザイマセヌ、隨テ固ヨリ此ノ法案ハ人ト物トゴツチャニシテ、人ヲ扱フコト物ヲ扱フ如キ心構デ立案セラレテ居ルノデナイト云フコトハ、法案ノ内容ヲ御覽下サイマスレバ、

極メテ明瞭デアルト思フデアリマス

次ニ體力ト共ニ精神力ノ涵養ヲスルコトモ、必要デハナイカト云フ御意見デゴザイマス、洵ニ御尤モデゴザイマシテ、精神力ト體力ト云フモノハ、相互關聯致シテ居ル次第デゴザイマスノデ、本法ノ運用ニ當リマシテモ、又其ノ他ノ諸種ノ厚生施設ノ運用ニ當リマシテモ、常ニ此ノ精神力ヲ完全ニ保持スルコト云フコトニ付キマシテハ、注意ヲ怠ラヌコトガ大切デアルト考ヘマス、同時ニ尙ホ其ノ方面ノ主管ノ官廳、例ヘバ文部省ノ如キトモ十分ナ連繫ヲ保ツテ、其ノ點遺憾ノナイヤウニ努メルコトガ、洵ニ必要デアルト考ヘマス

次ニ體力検査ノ範圍ヲ、法案ノ二十歳ト云フノヲ二十五歳マデニ擴大スルコトガ、必要デハナイカト云フ御意見デゴザイマス、是モ洵ニ御尤モナ御説ナノデアリマス、當局ト致シマシテモ、出來ルダケ廣イ範圍ニ互リマシテ、國民體力ニ付テノ御世話ヲ取計ヒタイノデゴザイマスガ、我國ノ總人口ニ對シマシテ、一時ニ之ヲ行フコト云フコトハ、今日ノ施設用意ノ下デハ難カシイノミナラズ、二十五歳マデ延長スルコト云フコトニ付キマシテモ、隨分色々困難ガゴザイマスノデ、今日二十歳以下、所謂未成年者ト云フコトニ致シテアリマスノハ、制度ノ上ニ於キマシテ、未成年ト云フコトガ一つノ段階デアリ、尙ホ成年ニ達シタ者ハ、徴兵ニ應ジマスル務ヲ持ツテ居ルコト云フコトガ、一つノ理由デアリ、又ソレ等ノ未成年ノ時代ニハ——二十五歳マデノ時モ、御説ノヤウニ病氣ニ罹ル率ハ多イノデアリマシテ、青年期ニ達スル前、一番大切ナ時ニ結核其ノ他ノ病氣ニ罹リマスル危險ガアリ

マスト同時ニ、又青年期、育チ盛りニ於キマシテハ、是等ノ人々ノ御世話ヲスルコト云フコトノ效果能率ガ、非常ニ上ルノデゴザイマス、差當リハ未成年者ト云フコトニ致シテアリマス、是ハ今後事情ノ許シマス限リ、逐次必要ノ程度マデ擴大テ参リタイト云フ志ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、御趣意ハ洵ニ御尤モニ承リマシタ

次ニ我國ノ出生率ガ低下ノ傾向ガアリ、又乳兒死亡ガ非常ニ多イ、ソレ等ノ洵ニ悲シムベキ現狀ニ鑑ミテ、母體ノ検査ヲモ致シタナラバドウカト云フ御意見デゴザイマシタ、是ハ洵ニ御氣付トシマシテ、御尤モノ點デアルト思フノデゴザイマスガ、母體ノ検査ヲシ、尙ホソレニ必要ナ御世話ヲスルコト云フコトニ付キマシテハ、種々難儀ノ事情ガ考ベ得ラレルノデゴザイマスカラ、本法案ニハ其ノ點マダ採上ゲル運ビニナツテ居リマセスガ、大切ナコトデアリマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ、今後ノ問題ト致シマシテ、十分ニ研究ヲサシテ戴キタイト思ヒマス

次ニ此ノ法案ノ實施ハ、未成年者全部一齊ニ之ヲ行フノデナクシテ、主務大臣ノ定ムル所ニ依ツテ、逐次範圍ヲ擴ゲテ行クヤウニナツテ居ルガ、ソレハ一齊ニヤル譯ニハイカヌノカ、斯ウ云フ御説デゴザイマス、是モ洵ニ御尤モナ御説デアリ、私共モ出來得マスレバ、本法適用ノ範圍ヲ未成年者全部ニ、一齊ニ此ノ法案ニ依ル検査並ニ療養上ノ色々御世話等ヲ致シタイノデゴザイマスガ、今日ノ限ラレタ開業醫ノ數、今日ノ醫療ノ普及狀態、又是等ノ仕事ヲ行ヒマスニ付キマシテ、之ヲ検査スル、所謂體力管理醫ノ任命ト申シマスカ、左様ナ能力ノ

點カラ考ヘマシテモ、一齊ニ之ヲ明年度カラ直チニ實行スルコト云フ運ビニ中々参リ兼ねマスノデ、昭和十五年度ニ於キマシテハ、差當リ滿十七歳カラ滿十九歳マデノ男子未成年者、總數約二百三十万人位アラウカト思ヒマス、此ノ部分ノ人々ハ丁度徴兵検査前、又產業界ニ於キマシテ、銃後產業ニ働ク上カラ云ヒマシテモ、一番大切ナ人々デゴザイマス、一番急ヲ要スルモノト考ヘマシテ、其ノ部分ニ對シマシテ昭和十五年度ニ行ヒ、次年度カラ逐次之ヲ擴張致シテ参リマシテ、成ベク速ニ御希望ノヤウニ、未成年者全體ニ行互ルヤウニ致シタイ、斯様ナ段階ヲ以テ仕事ヲ進メテ参ルコト、洵ニ餘儀ナイ次第デゴザイマス、是ハ強チ單ニ財政上ノ都合デ、大藏省カラ査定サレタカラ、斯ウナツクト云フノデ、ハゴザイマセスノデ、仕事ヲ進メマスル用意、一番急イデヤラネバナラス部分ガ、何處ニアルヤト云フヤウナ事情カラ、決リマシタ次第デアリマスカラ、左様御諒承願ヒタイト思フノデゴザイマス

次ニ治療ヨリハ豫防ノ方ガ大切デアル、ソレデ衣食住其ノ他ノ生活ノ安定ヲスルカ、勞務ノ環境ヲ整備スルカ、疾病負傷等ノ防止ニ付テ十分ナル用意ヲスル、或ハ住宅難ニ對シテ如何ナル設備ヲスルカト云フヤウナ、諸種ノ國民生活安定ニ關スル御意見ガゴザイマシタガ、一々御尤モニ存ジマス、ソレ等ニ付キマシテハ御承知ノ通り、政府ト致シマシテモ、ソレハ出來得マスル限りノ施設ハ致シテ居ルノデアリマシケレドモ、之ヲ以テ決シテ十分デアルト考ヘテ居リマセス、尙ホ其ノ上ニモ銃後ノ國民生活ノ確立ト云フコトニ付キマシテハ、有

ニル方面ニ互リマシテ、出來得マスル限リ努力ヲ致シタイト云フ決心ヲ致シ、其ノ實行ニ努メテ居ル次第デアリマス

次ニ婦人勞務者ノ問題ヲドウスルカ、或ハ子供ノ多イ家庭ニ對シテ、如何ナル用意ガアルカト云フ御説デゴザイマシタ、御指摘ニナリマシタ通り、近來婦人ノ勞務者ガ非常ニ殖エテ参リマシテ、婦人モ亦銃後ノ大切ナ勤メニ勵シンデ居ラレマスコトハ、洵ニ已ムヲ得ナイコトデアリマスガ、ソレガ爲ニ婦人トシテ大切ナル子ヲ生ミ、又之ヲ育てテ行クト云フコトノ上ニ遺憾ガアリマシテハ、將來由々シイ憂ヲ貽スコトニナルノデアリマスカラ、婦人勞務者ノ從事スベキ仕事ノ種類、或ハ其ノ勞務環境ヲドウ整理スルカ、或ハ家庭ハ殘シテ參ツタ子供ニ對スル保護施設、是亦色々施設ハシテ居ルノデアリマスケレドモ、マダ甚ダ至ラザル所ガ多イノデゴザイマスカラ、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ、十分ニ努力ヲ致シタイト考ベテ居リマス

結核療養施設ニ付テハ、御承知ノ通り近年結核療養所ハ大分増加シテ参リマシタガ、マダヤハリ全國ニ多數アリマスノデ、結核患者ノ總テノ人々ニ、心置キナク療養シテ戴ケル所マデハ、前途遠達ナル現狀デアリマスガ、幸ヒ結核豫防ノコトニ關シマシテハ、畏クモ 皇后陛下ヨリ有難キ思召ヲ賜ツテ居ルノデゴザイマスシ、近年ハ世間ニ於キマシテモ、此ノ事ノ大切デアルコトニ付テハ、非常ニ氣ガ付イテ來テ居ラレルノデアリマスカラ、此ノ結構ナル機運ニ際會致シマテ、益々其ノ事ノ完備ヲ圖ルコトニ全力ヲ盡シタイト考ヘテ居リマス

次ニ國民生活ノ確保、生活必需品ノ廉價

ナル供給ト云フヤウナコトニ付テ、骨ヲ折
ツテ賣ヒタイト云フ御説、洵ニ御尤モニ存
ジマス、國民生活ニ付テ前ニ申上ゲマシタ
所ト併セマシテ、政府ニ於キマシテハ、生
活必需品ノ供給ト云フコトノ爲ニハ、是ハ
何ヨリモ大切ナ戰時體制確立ノ基礎デアリ
マスカラ、米其ノ他ノ食糧品ハ固ヨリノコ
ト、生活必需品ノ供給ニ付キマシテハ、其
ノ配給ノ上ニモ、生産ノ上ニモ、十分ナル力
ヲ致シタイト云フ意味ニ於キマシテ、種々
施設ヲシ、本議會ニ於キマシテモ、數々ソ
レ等ノ問題ニ付キマシテ御協賛ヲ得タコト
モアルノデアリマシテ、將來益々力ヲ入レ
テ参リタイト考ヘマス

方面委員ノ活動ヲ十分ナラシメル爲ニ、
資金ノ助成等ヲ致シテハドウカト云フ御意
見デアリマス、方面委員諸君ハ、地方ニ於
テ最モ御忙シイ體ノ方ガ多イノデアリマス
ガ、ソレ等ノ方々ガ犧牲的ニ國民福祉ノ爲
ニ御盡力下サレテ居ルコトハ、當局ト致シ
マシテハ深く感謝致シテ居ルノデアリマシ
テ、方面委員ノ團體、方面委員ノ事業等ニ
對シマシテハ、今日モ若干御助勢致シテ居
リマスガ、ソレデハ尙ホ不十分デアルコト
勿論デアリマスノデ、是亦方面委員諸君ノ
働イテ行カレルノニ對シマシテ、其ノ働キ
易イヤウニ、出來得マス限リ骨ヲ折リ積リ
デ居リマス、私ニ御尋致サレタコトハ大體
以上デアツタト思ヒマス

○國務大臣(畑俊六君) 御答致シマス、陸
軍ニ於キマシテハ、事變目的遂行ノ爲ニ、將
又新軍備充實ノ爲ニモ、直チニ人的資源ニ
關係ヲ持ツテ居リマスカラ、國民體力向上
ニモ至大ナル關心ヲ持ツテ居ルノデアリマ
シテ、關係方面トモ連絡ノ上、要求モシ、
又協力モ致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマ
シテ本案ノ取敢ズ徵兵適齡前ノ未成年者ニ
適用サレルコトニ付テハ、陸軍ト致シマシ
テハ速ニ其ノ實現ヲ希望致シテ居ル次第デ
アリマス、尙又陸軍自體ト致シマシテモ、
本年ノ徵兵検査ニ際シマシテ、主トシテ結
核ノ疾患ヲ検査致シマス爲ニ、所要ノ検査
ヲ致シマス、是ガ爲ニ所要ノ經費ヲ計上致
シテ居ル次第デアリマス

○國務大臣(吉田善吉君) 海軍部内ニ於ケ
ル體力ノ指導向上ニ關シマシテハ、今回提
案ニナリマシタ管理法以上ニ嚴格ニヤツテ
居ルコトハ勿論デアリマスガ、尙ホ最近工
場其ノ他ニ於テモ、多數工員其ノ他ガ居リ
マスノデ、此ノ方面ニ對シマシテハ、軍醫
其ノ他最モ優秀ナル者ヲ配シマシテ、只管
體力ノ向上保全ニ努メテ居ル次第デゴザイ
マス、殊ニ最近注意致シテ居リマスコトハ、
胸ノ病氣ナドハ、既ニ冒サレタ者ハ回復ニ
困難デアリマスノデ、無論其ノ方モ手當致
シマスガ、事前ニ十分其ノ傾向ヲ豫知致シ
マシテ、罹ラナイヤウナ方面ノ研究ヲ非常
ニ促進致シテ居リマス、サウ云フ風ナ例モ
ゴザイマスノデ、色々研究ヲ重ネマシテ、
相當好成績ヲ收メテ居ルコト考ヘテ居リマス
尙ホ其ノ他ノ一般ノコトニ付キマシテハ、
只今厚生大臣ガ御話ニナリマシタガ、速ニ
青少年ノ検査管理ヲ始メテ、急速此ノ法案
ノ效果ヲ舉ゲルコトニ對スル軍部大臣ノ所
見ヲ問ハレマシタケレドモ、此ノ點ニ關シ
マシテハ、御趣旨御尤モト考ヘマス、唯色々
ノ事情モアリマスカラ、今ノ厚生大臣ノ御
答辯ニ依ツテ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○政府委員(鶴見祐輔君登壇)

只今ノ伊藤君カ
ラノ御尋ノ中ニ、内務省ニ對スル御尋ガゴ
ザイマシタガ、第一ノ御尋ハ、今日ノ國內
ノ産業不振ノ結果、非常ニ收入ノ激増シタ
ル人々、殊ニ筋肉労働ニ從事シテ居ラレ
ルヤウナ方々ガ、享樂ノ巷ニ出入シテ、體位
ヲ低下スルヤウナ配ガアルヤウデアアルガ、
之ニ對スル處置ハ如何デアアルカト云フ御尋
デアツタヤウニ存ジマス、洵ニ適切ナル御
質問デアアルト存ジマスガ、是ハ其ノ關係ス
ル所洵ニ廣汎デアリマシテ、内務省一省ノ
所管ノミデハ御答ハ出來ナイカト存ジマス
ルガ、内務省ガケノ立場カラ御答ヲ申上ゲ
マス、第一ニ積極的ノ對策ト致シマシテ
ハ、國民各自ガ時局ノ重大性ヲ眞實ニ認識
セラレマシテ、自肅自戒致サレルヤウニ、
朝野力ヲ協セマシテ、其ノ精神作興ニ努
ルコトガ、第一デアラウト思フノデアリマ
ス、併シナガラ第二ニ消極的ノ措置ト致シ
マシテハ、斯ノ如キ方々ガ若シ享樂機關ノ
誘惑ノ爲ニ、必要以上ニ其ノ方面ニ惹カレ
ルト云フヤウナコトガアツテハ相成リマセ
スカラ、内務省ト致シマシテハ最近是等機
關ニ於ケル營業ノ時間、殊ニ夜間ノ時間ヲ
短縮致シマシテ、其ノ取締及ビ指導ヲ致シ
テ居ル次第デアリマス

第二ノ御尋ト致シマシテハ、工業地帯ニ
於ケル交通ガ洵ニ混雜ヲ致シテ、是ガ爲ニ
難澁ヲ致シテ居ル人々ガアルガ、之ニ對ス
ル處置如何ト云フコトデゴザイマシタガ、
内務省所管ノ軌道ノ方面ニ於キマシテハ、
御話ノ如クニ急激ニ増加致シマシタ人員ノ
爲ニ、交通機關ガ不足ヲ致シテ居ルヤウナ
場合ニハ、適當ナル指導監督ヲ致シテ行キ

タイト存ジマス(拍手)

○政府委員(宮澤裕君登壇)

伊藤君ニ御答申上
ゲマス、只今鐵道省ニ對スル御質疑ハ、川
崎市ノ如キ工場都市若クハ工場地ニ於テ、
通勤退勤ノ場合ニ非常ニ乗客ガ殖エテ、二
倍、三倍ノ乗車客ガアツテ、色々ナ故障モ
起リ、保健衛生上ニモ宜シクナイガ、鐵道
省ハ如何ニ考ヘルカト云フ質疑ト承ツタノ
デアリマス、御尤モ御質問デゴザイマシ
テ、私共モ是ハ夙ニ痛感致シテ居ルノデア
リマス、所謂「ラッシュ・アワー」ノ如キニ於
テハ、私共ガ乘リマシテモ名狀スベカラザ
ル亂雜デアリマシテ、此ノ情勢デ乗ル者ガ
益々増加ノ一途ヲ辿ツテ來タ時ニハ、如何ニ
交通運輸ヲヤツテ行クカ、打開シテ行クカ
ト云フコトニ付テハ、鐵道當局風ニ頭ヲ悩
シテ居リ、又國民大衆ニ對シテモ相濟マス
ト信ジテ居ルノデアリマス、是ハ國民體力
ハ固ヨリ、保健衛生上カラモ非常ナ由々シ
キ問題デアリ、殊ニ此ノ無理ガ積リマスル
ト往々ニシテ事故等モアリマシテ、大變申
譯ノナイヤウナ事ガアリマスルコトヲ痛感
シテ、此ノ對策ニ日夜腐心焦慮ヲ致シテ居
ルノデアリマス、就キマシテハ鐵道當局ト
致シマシテハ此ノ運轉回數、連結車輛ノ増
加ニ付キマシテハ、車輛及ビ鐵道設備ノ事
情ノ許ス限リ全力ヲ擧ゲテ、此ノ窮狀打開
ニ當ツテ居ルノデゴザイマスガ、將來モ銳
意努力シテ、此ノ窮狀ヲ打開スルコトニ努
力致シマスルコトハ固ヨリデアリマス、就
キマシテハ先般モ此ノ席ニ於テ御答辯致シ
タノデアリマスガ、車輛等ノ増設ニ付キマ
シテモ、資材ノ許ス限リ建造致シマシテ、
之ヲ間ニ合サユウニ致シテ居ルノデアリマ

ス、又人員等モ、御承知下サルデアラウト
思フノデアリマスガ、或ハ出征シ、或ハ中
支、北支ニ應援ニ出掛ケタ鐵道隊ノ從業員
ガ相當居ルノデアリマシテ、此ノ補充等モ
實ハ此ノ時勢デゴザイマスカラ思フニ任サ
スノデアリマス、併シ任サズカラト云ツテ
此ノ儘デハ相成ラスノデアリマスカラ、斯
ウ云フ風ニ極力努力致ス半面ニ於テ、或ハ
官廳、或ハ會社、或ハ工場等ノ通勤退勤ノ
時間ノ組合セデアリマス、之ヲ色々協議致
シマシテ、通勤退勤ノ時間ニ成ベク人込ノ
少イヤウニ此ノ情勢ヲ緩和シテ、消極的方
面カラシテモ此ノ窮狀ノ打開ニ當ツテ行
カウ、斯ウ云フヤウニ只今努力ヲ致シテ居
ルノデアリマス、尙ホ引續イテ學校等ニモ交
涉シテ、此ノ時間ノ組合セ宜シキヲ得テ、
人込ノ緩和ヲ打開シ、成ベク國民諸君ニ御
迷惑ガ掛ラスヤウニ努力致シタイモノダト
考ヘテ居ルノデアリマス、御諒承願ヒマス、
以上御答申上ゲマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 高見之通君

〔文部大臣ハドウシタ〕ト呼フ者アリ

〔高見之通君登壇〕

○議長(小山松壽君) 高見君ニ申上ゲマス、
文部大臣ハ貴族院ノ委員會デ答辯中ノ爲出
席致シ兼ネルトノコトデアリマス、政務次
官ガ出席致シテ居リマス

〔議長退席、副議長著席〕

○高見之通君 只今議題トナリマシタル國
民體力法案ハ、非常時局下ニ於ケル最モ大
切ナル法案デアルト思フノデアリマス、殊
ニ此ノ法案ハ青年ヲ相手トシテ出來テ居ル
所ノ法案デアリマスカラシテ、一層痛切ニ
重大サヲ感ズルノデアリマス、私ハ此ノ壇
上ヨリ十六歳以上二十歳マデノ六百万ノ青

年男女ニ呼掛ケ、反省ヲ求メタイト思フノ
デアリマス、殊ニ最後ノ第三點ニ付キマシ
テハ二百万ノ青年男子ノ奮起ヲ求メタイト
云フ考カラシテ此ノ演壇ニ立ツタノデアリ
マス、私ハ此ノ法案ニ賛意ヲ表スル者デア
リマス、併シナガラ青年ノ體力ヲ向上スル
ト云フ點ニ付キマシテハ、一二承ツテ見タ
イコトガアリマス、前御質問ニ相成リマシ
タル伊藤君ノ中ニモ其ノ部分ガアリマシタ
ガ、他ノ方面カラ私ハ聽イテ見タイト思フ
カラシテ、多少重複スルコトガアルカモ知
レマセス

第一點ハ非常時局對策トシテ心身共ニ健
康ナル青年ヲ造ラネバナライ、是ガ最モ
大切ナル國務デアラウ、政府ハドウ考ヘテ
居ルカ、私ノ斯様ニ申上ゲル理由ハ、帝國
ノ現在及ビ將來ハ全世界ノ歴史ニモ多ク見
ザル程ノ一大轉換期ニ立ツテ居ルト思フノ
デアリマス、例ヘバ之ヲ數字ダケデモ申シ
テ見マスルト、過去世界ノ歴史ニ於キマシ
テ、最モ精神的ニ多數ノ歸依者ヲ集メテ今
日ニ至ツタモノハ「マホメット」回教デアリ
マセウ、約四億六千万ト言ハレマス、併シナ
ガラ若シ日本ガ此ノ轉換期ヲ突破スレバ、
我が大日本精神ハ少クトモ全亞細亞八億万
ノ歸依者ヲ斷ジテ得ルモノナリト考ヘルノ
デアリマス、數字ニ於キマシテモ、世界歷
史第一ノ精神的崇拜ヲ受クルニ至ルコトヲ
私ハ固ク信ズルノデアリマス、日清日露ノ
戰爭ハ、戰爭ガ濟ンデ其ノ儘元ヘ戻リマシ
タ、併シ今回ノ事變ハ、此ノ事變ヲ契機ト
シマシテ、元ヘ戻ルコトハ出來マセス、東
亞新秩序ノ階段ニ立ツテ、何處マデモ驛國
以來ノ大使命ヲ達成スベキ大舞臺ニ我が日
本ハ乗出シテ居ルト信ズルノデアリマス(拍

手)之ヲ達成スルノガ吾々ノ責任デアリマス、
併シ又同時ニ第二ノ日本ヲ背負ツテ起ツベ
キ青年ニ俟タネバナリマセス、是等ノ青年
ハ心身共ニ最上ノ健康ナモノニナツテ貫ハ
ナケレバイケナイ、私ハ斯様ニ考ヘル、政
府ハ如何様ニ御考ニナツテ居ルカ、然ルニ
本法案ノ御説明ニ依リマスルト、國民體位
ノ現狀ハ徵兵検査ノ成績ニ依ルト、憂慮ス
ベキ狀態ニアリト言ハレルノデアリマス、
吾々ノ調査スル所ニ依リマシテモ、壯丁ノ
甲種ハ段々減ツテ、丙種、丁種ガ段々増シ
テ參ルト承リマス、斯ウ云フ現狀ニ於テ、政
府ハドウ云フ對策ヲ以テ行カウトスルノデ
アルカ、漫然調査シテソレデ宜シイト思
ツテ居ルノデアアルカ、又毎年體力検査ヲ施
行シタル上ハ、各人體力ノ實情ニ即應シタ
ル指導又ハ指示ヲ爲スト言ハレルガ、根本的
方針トシテ、如何ナル點ニ重點ヲ置カルル
ノデアアルカ、物心兩方面ノ訓練ヲ必要トス
ルノハ固ヨリデアリマスルガ、殊ニ精神方
面ノ訓練ニ重キヲ置カルル必要ガアルト思
フノデアリマス、聞ク所ニ依レバ、一般法
定ノ傳染病ハ段々減ツテ行ク、又其ノ死亡
率モ段々減ツテ行ク、而シテ身體ガ弱ツテ
行ク、是ハ一體ドウ云フ譯デアアル、厚生省
等ハ此ノ原因ハ青年ガ結核性ノ病ノ蔓延ニ
依ツテ斯ノ如キ大切ナル壯丁時期ニ於テ身
體ガ弱ツテ行クト言ハレルノデアリマス、
此ノ結核性ノ病ト云フモノハ、非常ニ精神
ニ影響ト關係ガ深いノデアリマス、私ノ色
色ナ體驗ニ依ツテ私ハ此處デ斷言スル、結
核ハ斷ジテ治ルノデアアル、殊ニ能ク思フ凝
核ハ斷ジテ治ルノデアアル、殊ニ能ク思フ凝
ラシテ、我が大日本精神ト云フモノニ關ス
ル徹底の宣揚ガ出來マシタラバ、現在ノ
肺病ノ如キモノハ直チニ消滅シテ行キマス

(拍手)斯様ニ精神方面ノ訓練ハ消極的の方面
ニ於テモ大切デアリマスルガ、更ニ積極的
方面ニ於テモ精神的指導ト云フモノガ非常
ニ必要デアルト思フノデアリマス、茲デ當
局ニ聽キタイノハ、政府ハ今日ノ青年ノ體
格ハ憂慮スベキ情勢ニアルト言ハレルガ、
如何ナル程度ニ御考ニナツテ居ルノデア
アルカ、又是ガ對策ハ最大ノ急務デアアルノデア
リマスルガ、如何ナル對策ヲ持ツテオ居デニ
ナルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、
是ガ第一點デアリマス

第二點ハ、厚生省ニ精神課ト云フモノヲ
設ケテ、朝野ノ權威者ヲ集メテ病ト精神ト
ノ深い關係ニ付テ十分ナル研究ヲスルト云
フコトノ御考ハナイカドウカ、今日ノ醫術
ハ刻々進歩ヲ遂ゲテ居リマス、サリナガラ
病ニ對スル所ノ精神ノ働キガ非常ニ關係ヲ
持ツテ居ルノデアアル、殊ニ青少年ハ感受性
ガ強イカラ、オ前ノ病氣ハ治ラス、斯ウ斷
定ヲ下サレルト云フト、青年ハ直グ倒レテ
シマフノデアアル、ケレドモ若シモ醫師ガオ
前ノ病氣ハ斷ジテ治ルンダ、斯ウ言ハレマ
スト云フト、青年ハ非常ニ元氣ヲ出シテ病
ヲ克服シテ行クノデアアル、又醫師ハ病人ニ
對シテ絕對安靜トカ、若クハ精神ノ安定ト
カ言フケレドモ、安定トハ一體何デアアルカ、
斯ウ申シマスト云フト、醫師モ看護人モサ
ツバリ分ラナイ、デアリマスカラ精神課ノ
如キモノヲ設ケテ、病ト精神トノ關係ニ付
テ有ニル方面カラ研究シテ、科學的ノ體制
ヲ整ヘ、作リ上ゲテ之ヲ實地ニ應用スルヤ
ウニシテ貫ヒタイノデアリマスルガ、厚生
省ハ之ヲ何ト御考ニナツテ居ルカ、承ツテ
見タイト思フノデアリマス、此ノ際私ハ一
言申上ゲタイ、成程精神ノ働キト云フコト

ガ青年ノミナラズ、病者ニ色々ノ影響ヲ與ヘルケレドモ、其ノ精神ハ何ヲ基本トスルカト云フコトニ付キマシテハ、今マデ漠然トシテ要領ヲ得テ居リマセヌ、デアリマスカラ往々迷信的ノ形ニ現ハレ、治安上容易ナラス結果ヲ起スコトモアリマス、デアリマスカラ私ハ茲ニ精神ノ基本原理ト云フモノハ、如何ナルモノヲ取ツテ進メバ宜シイカト云フコトヲ少シク明ニシテ見タイト思フノデアリマス、私ハ思フガ、日本國民ノ體力ノ基本ト云フ精神、病ヲ克服スル精神ノ基本原理ハ、日本特有ノ日本精神ヲ基本トスル方ガ最モ宜シイト思フノデアリマス、日本精神ハ研究スレバ研究スル程大イナル含蓄ヲ有シテ居ル、ソレナラバ日本精神トハ何デアルカ、日本精神トハ大和魂デアル、大和魂ハ忠孝ノ二字、其ノ日本精神ト云フモノハ如何ナルモノデアアルカ、日本國體ヲ擁護スル精神ハ日本精神デアリマス、日本ノ國體ハ何デアアルカ、上御一人ノ大御心ヲ指スノデアリマス、上御一人ノ大御心ハ何デアアルカ、御本質ハ何デアアルカ、人類道德ノ最上第一義ヲ現ハシ給フモノデアリマス、ソレハ何デアアルカ、已ムニ已マレヌ親心デアアル、親心程公平ナルモノハアリマセヌ、親心程純粹ナルモノハアリマセヌ、無限ノ慈悲ヲ含ムモノデアリマス、ソレ故ニ朕ノ民草ニシテ罪ヲ犯ス者アレバ、朕ノ責ナリト御歌ニ述ベサセ給ヘル 明治大帝陛下ノ御歌モ、此ノ親心ヲ明ニサレタモノデアリマス、而シテ吾々全日本民族ハ殘ラズ其ノ子デアリマス、諸君、サレバデスゾ、北支ノ野ニ戰フ軍人ガ敵彈ニ斃レテ、原野ニ殘サレタ所ノ一個ノ死骸、照スモノハ寒月ノミデヤ、サレド決シテ此ノ死骸寂シクハ

ナイ、陛下大親様ハ能ク死シテ呉レタト云ウテ、ソレヲ見守ツテ下サレテ居ルノデアリマス、諸君、戰死軍人ノ慰靈祭ノ村葬ガ終ツテ、尙妙齡ノ未亡人ガ膝ニ當歳ノ子供ヲ抱イテ、五燭光ノ電燈ノ下ニ、名譽ノ戰死軍人、夫ノ寫眞ヲ眺メテ、當歳ノ子供ヲ抱イテ堪ヘ切レザル寂シサガアルカ、サウデハナイ、チツトモ寂シクハナイ、皇后陛下ハ能ク死シテ呉レタト傍ニ見テオ居デ下サルノデアリマス、是ガ我が日本國體ノ本質デアアル、諸君、忠孝一如、母親ノ慈悲ノ懷ロヘオ母サント飛付ク其ノ真心、ソレガ孝行ナノデアアル、其ノ同ジ真心デ 天皇陛下萬歲ト云フ其ノ同ジ真心、ソレガ忠ナノデアアル、忠孝モ一一如デアアル、是ガ我が日本精神デアリマス、是ガ大和魂デアリマス、此ノ日本精神ヲ基調トシテ想ヲ練リ、思ヲ凝ラシマシタナラバ、病氣克服ノ一大原理ヲ發見スルコト疑ナシト信ズル者デアリマス、此ノ點當局ニ御參考マデニ申上ゲテ置キマス

第三點トシテ、最後ニ私ハ是ヨリ日本中ノ十八九歳ヨリ二十歳ニ至ル約二百萬ノ青年、其ノ青年ニ向ツテ述ベタイト思フノデアリマス、而シテ政府當局ハ之ニ關シ、如何ナル御考ヲ持ツテ居ラルルカヲ承リタイ、又希クハ文部大臣ニ適當ノ機會ニ於テ責任アル答辯ヲ求ムル者デアリマス、今日絶大ノ使命ヲ持ツテ居ル我が日本ノ青年ハ、皇國ノ前途實ニ多事多端ナルヲ思フ時ニ於キマシテ、思切ツタ青年ノ訓練ガ必要デアラウト思フノデアリマス(拍手)全亞細亞ヲ雙肩ニ擔フ——從來ノヤウナ訓練デハ不十分デアアル、當局ハ一大青年ノ大道場ヲ全國各地ニ設ケ、十八歳ヨリ二十歳マデノ

青年十萬人ヲ收容シ、三年間ノ訓練ヲ與ヘ、之ヲ全亞細亞ニ放ツテ、興亞大業ニ從事セシムルノ御計畫ヲ御立デニナル考ハナイカ、訓練トハ何デアアルカ、先ヅ以テ吾々其ノ青年道場ニ於キマシテ、宮城ヲ遙拜申上グルコトハ固ヨリデアアル、次ニ是等ノ訓練ニハ酒ハ絶對ニイケマセヌ、煙草ハ絶對ニイケマセヌ(拍手)碁ト將棋ヲ許シテハイケマセヌ、茶類一切ヲ飲マセズシテ、湯ト水ヲ飲マシテ置ク、殊ニ私ハ若シ是等ノ青年ガ色慾ヲ犯シタナラバ、容易ナラス制裁ヲ與ヘル、酒、煙草、碁、將棋、茶、色慾、之ヲ私ハ六禁斷ト云フ、尙ホ是等ノ青年ニ與ヘル訓練ニハ、絶對ニ溫浴ヲ許シテハイケマセヌ、水ヲカブルノデアアル、朝夕三回水ヲカブレ、諸君水ヲカブレ、我が日本古道、神道ノ禊ノ大原理ハ、冷水ヲカブル所ニ出發シテ居ル(拍手)日本精神ノ鍛鍊、大和魂ノ鍛鍊ハ、アノ生溫イ溫浴ヲ去ツテ、冷水ヲ頭ヨリブツカブル所ニ、大日本精神ノ發揚ガアルノデアアル(拍手)又是等ノ訓練ニハ、夜雨戸ヲ開イテ、閉ザスヲ許サナイ、全部開放シテ眠レ、雪ノ降ル夜、其ノ雪ヤ室内ニ入ツテ來ル時、其ノ寒風ヲ見ツツ熟睡ニ入ル愉快サハ、訓練ノ經驗ガナイ者ニハ分ラナイ、諸君、千萬ノ富ヲ持ツ長者、大殿堂ニ生活スル其ノ人ガ、二重三重ニ雨戸ヲ閉ザシテ其ノ中ニ眠ル、其ノ中ノ空氣タルヤ塵ト埃ト極ク劣等ノ生活デアアル、貧乏人ト雖モ開ケテ寢レバ、塵埃溜ノ最中ニ居ツテモ、其ノ生活ハ千萬無量ノ富裕ノ生活デアルト吾々ハ斷言スル(ヒヤ／＼)又是等ノ青年ニハ、儀式アル以外ニハ帽子ト外套ハ著セナイ、殊ニ春日暖キ時、アノ學生ガ「スプリング・コート」ナドヲ著テ歩ク、骨

嚙リ、脛嚙リ、恥辱ノヤウナ惡風ヲ叩キ切ル勇氣ヲ厚生省ガ持ツテ居ルカ、又是等ノ訓練ニハ一切間食ヲ許サヌ、是等ノ訓練ニハ無用ノ駄辯ヲ費スコトヲ許サナイ、最モ訓練ニ於テ憎ムベキハ駄辯デアアル、千百ノ消耗ヨリ無用ノ辯ヲ駄スルコトガ最モ宜シクナイ、又是等ノ訓練ニ熊度端正、眞ニ全亞細亞第一人者ノ風格ヲ備ヘルコトニ向ツテ特殊ノ訓練ヲ與ヘナケレバ駄目デヤ、是等ノ訓練ハ斷ジテ學事ノ妨害ニナラス、家業ノ妨害ニモナラナイノミナラズ、却テ増進スルト思フノデアリマス、私ハ以上ノ修行ヲ一括シテ、亞細亞ノ光ノ修行ト稱シテ居ル、還暦ノ年ニ至レル私ハ全部實行致シテ居ル、滿天下ノ二百萬ノ青年ドウヂヤ(拍手)全國ノ青年諸君、大亞細亞八億ヲ眞ニ雙肩ニ擔ツテ起タントスル所ノ雄大無邊ノ勇氣ヲ、眞ニ振ヒ起サントスルナラバ、尋常一樣デハ駄目ダ(拍手)盃ヲ棄テ、煙草ヲ棄テ、紅茶ヲ棄テ、水ヲカブレ、ドウダ青年(拍手)ケレドモ我ハ青年ニ言フ、此ノ修行ハ修行ノ極意デハナイ、實ハ修行ノ入口ナンド、コンナコトガ出來タ位デ修行ガ到達シタト思ヘバ、大イニ間違ヒデアアル、古今ノ英雄、有ユル偉人聖人ガ、練ツテ練ツタ修行ト云フモノハ、今申上ゲタコンナ生ツチヨロイ修行デアリマセヌ、是ハ修行ノ入口ダ、眞ノ修行ノ殿堂ハ、遠ク遙ニ雲表ノ外ニ聳然トシテ立ツテ居ル、少クモ此ノ入口ノ修行ダケデモヤラセテ見ル、茲ニ初メテ青年ノ意氣ハ一轉シテ來ルデアラウ、ドウカ此ノ大訓練ヲ施ス所ノ道場ヲ造ツテ、政府自ラ其ノ範ヲ示シ、一大勇氣ヲ起ス、之ニ關スル所ノ文部當局、厚生當局、此ノ兩當局ガ能ク其ノ立場ヨリ

忌憚ナキ意見ヲ、此ノ席ニ御發表アランコ
トヲ望ンデ、私ノ質問ヲ終リマス（拍手）

（國務大臣吉田茂君登壇）

○國務大臣（吉田茂君） 御答ヲ致シマス、

今日ノ重大時局下ニ於テ、與亞ノ大業ヲ達
成スル爲ニハ、心身共ニ健全ナル青年ニ依
ラナケレバナラナイト云フ御意見ハ、洵
ニ御尤モデアルト存ジマス、其ノ意味ニ於
テ、單ニ本法ニ依リマシテ青年ノ身體ノ檢査
ヲスル、調査ヲスルト云フダケデハ足ラヌ
ト思フ、指導指示ハ如何ナル點ヲ重視スル
カト云フヤウナ、最初ノ御尋デゴザイマス、
法案ノ内容ニアリマスル通りニ、檢査ノ成
績ニ徴シマシテ、適當ナ指示ヲシ、指導ヲ
シテ、心身共ニ健全ナル青年ノ體位ノ向上
ヲ圖リ、今日ノ時局ノ要求ニ應ズルヤウニ
致スト云フコトハ、固ヨリデゴザイマスルガ、
其ノ他ニ調査ノ結果ヲ、先刻御説明中ニモ
申上ゲマシタ通りニ、集計致シマスルコト
ニ依リマシテ、地域的ニモ、或ハ年齢層ニ
依リマシテモ、或ハ職業ニ依リマシテモ、
種々ノ體力ノ缺陷、或ハソレヲ如何ニ伸バ
シテ行ツタラバ宜シイカト云フヤウナコト
ニ付キマシテ、洵ニ貴重ナ資料ガ得ラレ
ルノデアリマス、本調査ノ結果ハ、廣イ範
圍ニ於ケル大切ナ國策ノ基礎トシテ役立つ
ベキモノデアルト考ヘルノデアリマス、左
様ナ意味ニ於キマシテ、單ニ本法ノ效果ヲ
擧ゲマスルコトハ、本法自身ノ運用ト云フ
コトノミナラズ、他ノ重要方策ノ基礎トシ
テ、是ガ大キナ效用ヲ爲スト云フ點ニ、非
常ナ意味ノアルコトヲ御諒解ヲ願ヒタイト
思フノデアリマス
尙ホ强健ナ體力ヲ得ル爲ニハ、精神ノ指
導ト云フコトガ根本デアルト云フ御意見、

是モ洵ニ御尤モニ存ジマス、殊ニ御指摘ニ
ナリマシタガ如クニ、結核ノ治療、或ハ結核
ノ豫防ト云フヤウナコトニ付キマシテ、精
神ノ働キノ最モ偉大デアリマスルコトハ、
私共モ全然御同感デアリマス、其ノ點ニ於
キマシテ、例ヘバ檢査ヲスル場合ニモ、指
導ヲ與ヘマス場合ニモ、所謂被管理者ニ失
望ヲ與ヘルヤウナコトガアリ、精神ノ動搖
ヲ來サシメルヤウナコトガアツテハナラナ
イト思フノデアリマシテ、其ノ點ハ本法運
用ニ付キマシテハ、特ニ重視シテ注意ヲ致
ス覺悟デ居リマス

政府ハ青年ノ體力ハ憂慮スベキ狀態デア
ルト云フガ、ソレハ如何ナル程度ニ憂慮シ
テ居ルノデアルカ、又ソレニ對スル方策ハ
ドウデアアルカト云フ御尋デゴザイマシタ、
今日徴兵檢査ノ成績其ノ他ニ現ハレマスル
青年ノ體位低下ハ、ソレ自體洵ニ憂慮スベ
キコトデアリマスルノミナラズ、最近ニ取
ツテ居リマスル低下ノ傾向ト云フモノガ、
將來此ノ儘續イテ行キ、ソコニ改善ノ跡ヲ
見ナイト云フコトデアリマシタナラバ、國
家將來ニ洵ニ是ハ深憂ニ堪ヘザル點ヲ、多
多今日ノ現象ニ於テ現ハシテ居ルト思フノ
デアリマス、ソレ等ノ體位低下ノ傾向ト云
フモノヲ、逆ニ體位向上ノ傾向ニ、是非是
正ヲ致シテ參リタイト云フコトガ、政府ノ
志デゴザイマス、ソレニハ本法ノ運用ハ固
ヨリコト、本法ノ運用ヲ中心ニ致シマシ
テ、先刻モ申シマスル通り、有ユル諸般
ノ生活ノ確立、青年ノ指導、有ユル之ニ
關係ノ深い諸方策ヲ其ノ點ニ集中致シマ
シテ、十分ノ效果ヲ擧ゲルヤウニ全力ヲ
盡シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリ
マス

尙ホ精神力ト體力トノ關係ヲ明ニスル爲
ニ、厚生省ニ精神課ト云フモノヲ設ケテ、
關係各方面ノ權威者ニモ諮ツテ、サウシテ
其ノ關係ヲ明ニシタイト云フ基礎ノ上ニ立
ツテ、實施方策ヲ講ズル意向ハナイカト
云フ御尋デアリマス、御尋ノ御趣意ハ洵ニ
御尤モト思ヒマスガ、其ノ趣意ヲ達スル爲
ニ精神課ト云フモノヲ設ケルノガ宜シイノ
デアアルカ、或ハ只今アリマスル總テノ部局
ガ、此ノ精神ト云フモノノ問題ニ總テ重點
ヲ置キマシテ、其ノ間ニ連絡統制ヲ執リマ
シテ、申サバ精神的ニ總動員サレタ形デ仕
事ヲスルノガ宜シイカ、ソレニドウ云フ仕
組ガ用意セラレルカト云フヤウナ點ハ、是
ハ方法ノ問題ト致シマシテ、何レガ宜シイ
カト云フコトノ研究ニ俟タネバナラスト思
フノデアリマス、御趣意ヲ體シマシテ、兎
ニモ角ニモ精神ト云フモノヲ忽セニシテハ
ナラスト云フ御趣意ハ、能ク體得ヲ致シマ
シテ、十分ニ工夫研究ヲ致シテ見タイト存
ジマス

次ニ精神主義ト云フモノガ、其ノ行キ方
ヲ誤ルト迷信ニ墮スル虞ガアル、精神主義
ノ基本原理ハ何處ニ置カト云フコトガ大
切デアアル、ソレニハ日本精神ヲ以テ基本ト
セネバナラスト云フ御説ニハ、全然御同感
デアリマス
最後ニ御提示ニナリマシタ全國ノ青年ノ
大道場ヲ設ケテ、其處ニ強力ナ訓練ヲ施ス
施設ヲ設ケル意向ハナイカト云フ御尋ニ付
キマシテハ、御趣意ノ存スル所ニ付キマシ
テハ、洵ニ御尤モデアルト思ヒマスルガ、
ソレ等ノ道場ヲ設ケルト云フ場合ニナリマ
スト、恐ラク文部省所管ニ屬スルノデハナ
イカト思フノデアリマス、御趣意ニ付キマ

シテハ、私共少シモ異存ガナイト云フコト
ヲ申上ゲマス（拍手）

○副議長（田子一民君） 河合義一君

（河合義一君登壇）

○河合義一君 國民體力管理法ガ上程サル
ルニ至リマシタコトハ、日本民族ノ優秀ヲ
永久ニ保持スル爲ノ、民族國策ノ一ツノ現
ハレデアリマシテ、私ハ洵ニ機宜ヲ得タル
コトヲ喜ブ者デアリマス、本法ノ立案ニ當
リマシテ、厚生省ニ於テ天下有識ノ士ヲ集
メテ、國民體力會議會ガ組織サレマシテ、
各方面カラ論議ガ盡サレタノデアリマスガ、
其ノ會議會ノ委員長ノ報告ノ中ニ、本制度
ハ歐米諸國ニ於テサヘ、其ノ類例ヲ見ザル
立法デアルト云フヤウナ言葉ヲ發見シタノ
デアリマス、私ハ國民ノ體位ガ漸次低下ノ
一途ヲ辿リツツアル實情ニ鑑ミマシテ、爾
ク樂觀ヲ致スモノデハナクシテ、本法ヲ審
議スルニ當リマシテハ、十分ナル檢討ヲ加
ヘマシテ、國家百年ノ大計ヲ立テネバナ
ナイト思フノデアリマス、先ツ第一ニ御尋
致シタイコトハ、何故ニ管理スル國民ヲ成
年マデトシタノデアリマスカ、大臣ノ御説
明ニ依リマスルト、人間心身ノ發達ハ二十
歳マデガ最モ旺盛デアアルカラ、二十歳ヲ以
テ限度トシタノデアルト云フヤウナ御説明ヲ
聽イタノデアリマスルガ、併シ形態上ノ體
力ノミヲ以テ考ヘマシテモ、決シテ其ノ發
達ハ二十歳ヲ以テ停止スルモノデハナイノ
デアリマス、又體力管理ノ目的ハ、唯單ニ
發育ノ期間管理スレバ宜シイト云フ譯デハ
アリマセス、進シテ作業能力ノ完全ナル機
能ヲ保護培養スルコトニ目的ヲ置カネバナ
ラナイノデアリマス、寧ロ生産人口構成年
齡ノ大部分ヲ占ムル、二十歳以上ノ國民ヲ

管理スルコトガ肝要ナリト信ズルノデアリマスガ、何故ニ成年マデト限定サレタノデアリマスカ、先ヅ第一ニ之ヲ御同致シタイノデアリマス

次ニ國民體力管理ト云フ、仰々シイ名稱ヲ持ツテ居リマスル本法ハ、國民ノ體力ヲ検査スルコトニ重點ヲ置カレタノデアリマスルカ、ソレトモ體力ノ培養保護ニ重點ヲ置カレタノデアリマスルカ、私ハ本法ノミヲ以テシテハ、國民體力ノ管理、即チ作業能力ノ培養増進ハ、到底不可能ナリト信ズル者デアリマス、國民ノ體力即チ作業能力ヲ涵養増進スルニハ、廣汎ニ互ル施設制度ヲ必要トスルノデアリマシテ、厚生行政ニ關スル總テノ法規ハ管理法デアルト言ツテモ宜イノデアリマスカラ、唯單ニ檢診ノ結果、身體精神ノ異狀ヲ發見致シマシテ、事後ニ於テ管理スルニ止ラズ、事前ニ於テ保護管理スルコトガ最も必要ナリト信ズルノデアリマス(拍手)我が國民全體ト致シマシテノ檢診ハ既ニ終ツテ居リマス、即チ出生率ノ低下、乳幼児ノ死亡率、出生兒ノ壯丁マデノ生存率、結核ノ死亡率、或ハ壯丁體位ノ低下、是等ノ事實ハ既ニモウ赤信號デアアルノデアリマシテ、國家ハ茲ニ一大決心ヲ以テ有ニル革新政策ヲ斷行致シマシテ、是等ノ頽勢ヲ挽回スベキデアツテ、今更個個ノ體力檢診ヲ俟ツテ後、初メテ其ノ施設ヲ行フ等ハ、洵ニ迂濶千萬ノコトト信ズルノデアリマスガ、政府ノ御所信ハ如何デゴザイマセウカ

次ニ御尋致シタイコトハ、本法施行ニ當リマシテ、先ヅ十七、八、九歳ノ男子ニ限ツテ管理ヲ爲スト云フコトデアリマスルガ、其ノ理由ヲ御尋致シタイ、女子ハ青年

學校ニ於キマシテモ、未ダ義務制ガ布カレテ居ナイノデアリマシテ、學校ニ於ケル管理ト云フ點カラ考ヘテ見マシテモ、男子ヨリハヨリ多ク遊離ノ狀態ニ置カレテ居ルノデアリマス(ヒヤ／＼)各生産部門ニ於ケル女子ノ進出ハ近年著シキモノガアリマス以外ニ、女子ニハ妊娠、即チ子供ヲ生ム所ノ大役ヲ背負ハサレテ居ルノデアリマスカラ、私ハ女子ノ管理コソハ寧ロ男子ノ管理ニモ優リマシテ、重要視スル所ノ必要ガアルト思フノデアリマスガ、政府ノ御所信ハ如何デアリマスカ、(同感)ト呼フ者アリ

次ニ國民力ト申シマスモノハ、國民ノ質ト數トノ問題デアリマス、數ノ點ニ付テ申上ゲテ見タイノデアリマスガ、我國ノ乳幼児ノ死亡率ハ、漸次低下ノ情勢デアリマスガ、併シ之ヲ諸外國ニ比ベマシテ、尙ホ死亡率ハ高イノデアリマス、私ハ諄々シク此ノ外國ノ數字ヲ舉ゲテ申上ゲルコトハ止メマサルガ、我國ニ於キマシテ、東北更新會ナル私設ノ團體ガアリマシテ、東北地方ニ於ケル生活改善ノ指導ヲ致シテ居ルノデアリマサルガ、其ノ結果岩手縣下ノ或村デハ、死亡率ガ、百人ノ乳幼児ノ内一年以内ニ死亡行ク者ガ二十以上デアツタノデアリマサルガ、此ノ生活改善ノ指導ヲ致シマシテ結果、其ノ死亡率ガ十以下ニ低下シテ居ル所ノ實例ガアルノデアリマス、昭和十二年ニ於ケル我國ノ死亡率ハ一〇・六デアリマサルガ、若シ此ノ中カラ五人ノ子供ヲ救ヒ上ゲルト致シマスナラバ、我國ニ於ケル一箇年ノ出生數ガ約二百二十万デアリマスカラ、此ノ五人ヲ救ヒ上ゲルコトニ依リマシテ、年々十万人ノ人口増加スルコトガ出來ルノデアリマス、乳幼児ノ死亡ハ主ニ腸ノ疾患

ニ起因スルノデアリマスカラ、其ノ死亡率ヲ減ジマシテモ、決シテ逆淘汰ノ結果ヲ來サナイノデアリマス、國家百年ノ大計ヲ樹立スルノニハ、先ヅ以テ管理ノ目標ヲ乳幼児ニ置クベキデアルト私ハ考ヘルノデアリマスガ(拍手)政府ハ此ノ乳幼児ノ管理ヲ何故後廻シニシタノデアリマスカ、其ノ點ヲ御同致シタイ(同感)ト呼フ者アリ

尙ホ之ニ關聯シテ御尋シタイコトガアリマスルガ、我國ニ於ケル公娼問題デアリマス、公娼問題ハ人道ノ點カラ或ハ衛生ノ點カラ、各方面カラ論議サルベキ問題デアリマスルガ、ソレ等ノ點ニ付テハ今日ハ私ハ申上ゲマセス、全國ニ現存シテ居リマス所ノ公娼ノ數ハ、約五万人アルノデアリマスガ、年齢カラ申シマシテモ、是等ノ女子ハ人口増殖ノ最モ大役ヲ持ツテ居ル所ノ國民デアリマス、然ルニ現在ニテハ、甚ダ言葉ハ不適當デアアルカモ知レマセスガ、生産資材デアアルベキモノガ、消費資材トシテ國家ハ之ヲ認メテ居ルノデアリマス、私ハ昨年吉原病院ニ參リマシテ、アノ澤山ノ氣ノ毒ナ婦人ヲ見タノデアリマスガ、毎日檢査ヲ受ケテ居ル所ノ五百人ノ婦人ガ、上部半身ヲ裸體ニシテ檢査ヲ受ケテ居ツタノデアリマスガ、其ノ顔色ト云ヒ、其ノ肉付キト云ヒ、私ハ到頭見ルニ堪ヘズシテ眼ヲ掩フタノデアリマス、其ノ大部分ハ農村出ノ婦人デアリマシテ、生活部面、人口増殖ノ部面ニ於テ、國家ニ貢獻スベキ是等ノ女子ヲ、大臣ハ如何ニ處置ナサレント御考ニナリマスカ、私ハ御同致シタイ(拍手)

次ニ御尋致シタイコトハ結核ノ問題デアリマス、國民ノ體力管理トハ、如何ニシテ國民ヲ結核ノ災カラ防衛スルカノ問題ニ歸著スルト申シマシテモ差支ハナイノデアリマス、我國ニハ多數ノ結核患者ガアリマシテ、年々多數ノ死亡者ヲ出シテ居ルノデアリマス、之ヲ防止スル爲ニハ、必要數ノ療養所ノ施設ヲ要スルト云フコトハ、今更喋々スル必要ガナイ程、月竝ノ問題トナツテ居ルノデアリマスガ、政府ノ之ニ對シテノ施設ハ洵ニ手緩イノデアリマス、專門家ノ調査ニ依リマス、我國ノ勞務者ノ數ヲ概略一千萬ト見マシテ、結核ノ罹患者數ガ一箇年百人ニ付五人ヅツノ割合ニナツテ居ルノデアリマシテ、百人ノ患者ノ中三十人ハ其ノ年ニ死ンデ行キマス、三十人ハ治愈致シマシテ、三十人ハ次年ニ殘サレハネバナリマセス、又最近發表サレマシタ福井縣ニ於ケル農村結核ノ調査ニ依リマス、今マデノ結核ノ死亡率ハ、都會ニ最モ高イト云フコトヲ言ツテ居ツタノデアリマスガ、福井縣ニ於ケル調査ニ依ルト福井市ニ於テ人口一万ニ付一箇年二十五人、縣下ノ町部ニ於テ二九・八六八、海山部五四・二二人、平地農村部ガ三七・八六八、山間部ガ五三・三四八高山部ガ三三・〇二人ト云フ恐ルベキ數字ヲ示シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク農山村ニ於ケル死亡率ノ増加セル原因ハ農山村カラ工場地帯ニ出稼タル勞務者ガ病氣ニ罹リマシテ、村ニ歸ツテ死亡シ、其ノ病毒ガ蔓延スル結果デアアルコトガ證明サレタノデアリマス、本議會ニ於キマシテモ、此ノ問題ニ關シマシテハ、林平馬、高田耘平兩議員カラ建議案ガ提出サレテ居ルノデアリマス、其ノ趣旨トスル所ハ肺結核ハ「農村ニ最モ多ク蔓延ノ兆アリテ、死亡數モ全體ノ約三割ヲ占メ、其ノ大部分ハ都會ヨリ罹病

シテ歸郷シタル者ノ傳播ニ因由スルモノノ如シ(中略)官公署及ビ營利會社等ヲシテ、雇傭員中肺結核及肋膜炎ニ罹リタル者ニ對シテハ斷然歸郷ヲ禁ジ、飽クマデ根治セシムル手段ヲ講ゼシムルノ外ナシ云々トノ理由書ガ附イテ居ルノデアリマス、私ハ一昨年鹿兒島ニ參リマシテ、縣ノ衛生課ニ就テヤハリ同ジ事實ヲ確メタルデアリマス、農村ガスル勢ヲ以テ蝕マレツツアルノデアリマシテ、今ヤ結核ハ處女地ニ向ツテ益々蔓延シシクセントシテ居ルノデアリマスガ、其ノ憂慮スベキ事實ニ對シテ、政府ハ如何ナル對策ヲ以テ之ヲ防止セントサレルノデアリマスカ、之ヲ御伺致シタイノデアリマス、現在我國ハ百五十萬人ノ結核患者ガアリマス、悉クトハ申シマセスガ、其ノ幾部分ノ者ニ對シマシテハ、國家ハ其ノ責任ヲ負ハネバナラナイノデアリマス、勞働ノ過重、詰込教育ト試驗地獄、明治以來ノ我國ノ教育ハ道ヲ誤ツテ居ツタノデハナイカ、十萬人ノ戰死者、此ノ尊キ犠牲ニ對シマシテ、國民ハ感謝感激ノ念ヲ忘レナイノデアリマスルガ、併シデリト見エナイウチニ消エテ行キマス所ノ年々十五萬人ノ損失ニ對シマシテ、國家ハ比較的ニ無關心デアアルデアリマス、過日ノ國民優生法案ノ上程サレマシタ日、同僚議員カラ結核ニ對スル對策ハ、既ニ軌道ニ乗ツテ居ルトノ御言葉ヲ聽イタルデアリマスルガ、私ハ決シテサウハ思ヒマセヌ、マダ軌道サヘモ敷カレテ居ナイト思フノデアリマスガ、厚生大臣ノ御決心ノ程ヲ承リタイノデアリマス

次ニ工場ニ於ケル國民體力ノ管理ニ付テ御伺ヲ致シタイノデアリマスガ、勞務者ノ健康保護ニ關スル法規ハ、既ニ制定サレテ居ルノデアリマシテ、第一工場法、次ニ工場法施行規則、工場危害豫防及衛生規則、工場附屬宿舍規則、是等ノ諸法規ハ現在遺憾ナク厲行サレテ居ルノデアリマセウカ、之ヲ御伺致シタイ、何卒此ノ點ニ關シマシテハ、大臣ノ責任アル御答辯ヲ御願致シタイノデアリマス、同時ニ御尋致シタイコトハ、若シ此ノ制度ガ施行サレマシタ場合ハ、現存ノ是等ノ諸法規ト國民體力管理法トハ、如何ナル關係ニ置カレルノデアリマスカ、此ノ點ヲ明ニサレタイノデアリマス

次ニ御伺致シマスコトハ、國民ノ體力ト最モ關係ノアリマス所ノ、都市人口問題ニ付デアリマス、人間ノ息ハ人間ヲ殺スト云フ言葉ガアルノデアリマスルガ、都市ハ農村人口ノ血清注射ニ依リテ、漸ク健康ヲ保持シテ居ルノデアリマス、七十三帝國議會ニ於キマシテ、私ハ内務當局ニ向ツテ、無制限ニ膨脹シテ居ル所ノ都會地ノ人口ヲ、治安警察ノ點カラ、又ハ市民健康ノ點カラ考ヘテ、其ノ膨脹ニ「ブレーキ」ヲ掛ケル必要ハナイカ、内務省ニ於テ其ノ計畫ハナイカト云フコトヲ尋ネタルデアリマスルガ、内務當局ハ其ノ計畫ノナイコトヲ明言致シタルデアリマス、昨年アタリカラ漸ク國土計畫ト云フヤウナ言葉ヲチラホラ聞クヤウニナリマシテ、漸ク本議會ニ於キマシテ都市計畫法ニ一部ノ改訂ガ加ヘラルルニ至ツタノデアリマス、私ハ國民體力ノ管理ヲ爲スニハ、先ヅ第一ニ人口ノ都市集中ヲ制限致シマシテ、之ヲ農村ニ分散スル必要アリト信ズルノデアリマスルガ、政府ノ御所信ハ如何デアリマスカ、人口ノ都市集中ノ原因ハ種々アルト思フノデアリマスルガ、其ノ原因ノ一ツニハ、農村ニ於ケル生活難

ガアルノデアリマス、故ニ都市ノ人口集中ヲ防止致シマスノニハ、此ノ農村ノ生活難ヲ除カナケレバナラナイノデアリマスガ、其ノ農村ノ生活難ノ最モ大ナル原因ハ、土地ノ制度ノイケナイコトデアリマス、私ハ是非此ノ土地制度ヲ改革スル必要ガアルト信ズルノデアリマスガ、我國ハ四面海ヲ環ジテ居リマシテ、水産物ニ惠マレテ居リマスカラ、榮養ヲ海カラ攝ツテ居ルコトガ夥シイノデアリマスガ、ソレデモ、全食糧品ノ九割五分マデハ、土カラ生産サレテ居ルノデアリマス、故ニ土地ヲ最モ能ク利用スル必要ガアルコトハ申スマデモナイノデアリマス、所ガ土地狹小デアアル我國程、又土地ヲ粗末ニ致シテ居ル國ハナイノデアリマス、私ハ一昨年山西省ニ參リマシテ、土地ガ能ク利用サレテ居ルコトヲ見マシテ、自分ノ想像ニ反シテ居ルコトニ驚イタルデアリマスガ、我國ニ於キマシテハ到處ニ、殊ニ都會ノ附近ニ於キマシテ、利用サレナイ所ノ土地ガ多イノデアリマス、大阪市ノ周邊ニハ約三千町歩ノ土地ガ、會テハ美田デアツタモノガ、今ハ荒サレテ居ルノデアリマス、是ハ土地ヲ所有スル者ハ必ズ利用スル義務ガアルト云フコトヲ、法制ノ上ニ定メテ居ナイカラ、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマス(拍手)地主ハ一塊ノ土ト雖モ、自分ガコネテ拵ヘタモノデハアリマセヌ、然ルニ米ヤ炭ニ對シテハ公定價格ヲ定メマシテ、土地ノ値段ハ地主ノ吹キ次第デアリマス、地價ノ昂騰ヲ待ツ爲ニ土地ヲ荒スノハ、土地制度ガ惡イカラデアリマス(拍手)此ノ土地ヲ粗末ニ致シマス一ツノ例ハ、餘リ遠イ所ヘ行カナクテモ、此ノ近クニアルノデアリマス、總理大臣ノ官邸ト總理大臣ノ私邸

ト、サウシテ此ノ議事堂トノ間ノ中間ニ、アノ草原ガアルデアリマセヌカ、諸君、又農林大臣ノ官邸ノ隣リニモ空地ガ遊ンデ居ルノデアリマス、アレハ議員ノ宿舍ト内閣ノ廳舎ヲ建テ豫定地デアアルサウデアリマスガ、先ヅ彼處ニ土地ノ利用ノ模範ヲ示ス爲ニ「アレハ大藏省ノ所管ニナツテ居リマス、自動車ヲ登院サレル方ハ御氣付キニハナラナイデアリマセウガ、營繕管財局ト云フ棒杭ガ立ツテ居リマスカラ、アレハ大藏省ノ所管デアリマセウ、大藏省ニ於キマシテハ一ツ模範ヲ示ス爲ニ、彼處ニ吾々ノ爲ニ宿舍ヲ建テテ呉レマスノハ、何時ノコトカ分リマセヌカラ、假令ソレマデモ利用サレタラドウカト思フノデアリマシテ、山林局ノ手ヲ借りマシテ、適當ナ樹木デモ御植エニナツテハドウカト思フノデアリマス、國民ガ所有シテ居ル所ノ金ヲ出セト云フ宣傳ハ能ク聞クノデアリマスガ、此ノ金ハ一度國外ニ出シテシマヒマシタナラバ、二度ト使ハレナイノデアリマス、併シ土地ヲ利用セヨト云フ宣傳ハ、未ダ聞イタコトハナイノデアリマスガ、土地ヲ利用スルコトハ、年々金ヲ掘出スコト同ジナノデアリマス(拍手)私ハ斯ウ云フコトヲ考ヘマス、利用セザル者ハ土地ヲ所有スベカラズト云フ原則ノ上ニ、土地制度ヲ改革スル意思ハナイカ、是ハ一ツ農林大臣カラ御答辯願ヒタイノデアリマス(拍手)

國民ノ體力ヲ管理スルト云フヤウナ、國家百年ノ大計ヲ立テマシテ、之ヲ實行シテ行クニ當リマシテ、常ニ痛切ニ考ヘサセラルコトハ、我國ニ於テ内閣ノ頻々トシテ更迭スルコトデアリマス、過日厚生大臣ハ我黨ノ井上議員ノ、適正ナル就業時間ニ付テ

ノ質問ニ對シマシテ、斯ウ云フ答辯ガアツタノデアリマス、即チ「我國トシテノ適當ナ基準研究ト云フモノノ一日モ速ニ確立スルヤウニ努メテ参リタイト考ヘテ居ルノデアリマス」、斯ウ云フ答辯ガアツタノデアリマス、今更調査研究デモナイト思フノデアリマシテ、斯ル御答辯ヲ聞クニ至ツタノハ、大臣ガ頻々トシテ更迭スル結果デアルノデアリマシテ、吉田現大臣ガ五六年モ前カラ厚生大臣デアラレト致シマシタナラバ、コンナ答辯ハ出來ヌ答デアリマス、來年度ノ厚生省ノ豫算ヲ見マス、厚生科學研究所ノ費用トシテ五十萬圓ガ計上サレテ居ルノデアリマスガ、私ハ厚生科學研究所ナルモノガ、是位ナチツボケナ豫算デハ、國策的厚生科學ノ研究ハ、到底不可能ナリト思フノデアリマス、モウ少シ追加豫算デモ計上致シマシテ、厚生科學研究所ヲ、有力ナル一外局トスベキモノデアルト思フノデアリマスガ、セメテ斯ウ云フ機構ガ出來マシタナラバ、大臣ハ少々御送りニナリマシテモ、其ノ弊害ノ幾分ヲ補フコトガ出來ルト思フノデアリマス、人口問題研究所ノ如キハ、當然厚生科學研究所ニ包含サルベキモノト考ヘルノデアリマスガ、豫算面デハサウナツテ居ナイノデアリマス、是ハ如何ナル理由ニ依ルノデアリマスカ、是ヲモ御伺フ致シタイノデアリマス

次ニ私ハ文部大臣ニ御尋フ致シタイ、發育ノ旺盛期ニアリマス青少年ガ、晝間勞働致シマシテ、夜間學修スルコトハ、最モ弊害ガアルト信ズルノデアリマスルガ、青年學校ノ夜間授業ヲ絶對ニ廢止致シマシテ、晝間勞働スルコト共ニ、晝間學修シ得ル、勞學制度ヲ確立スル御考ハアリマセスカ（拍手）

手）此ノ點ヲ文部大臣ニ御尋致シタイノデアリマス、最近教育審議會ニ於キマシテ、夜間ノ中學校及ビ女學校ヲ認メマシテ、文部省ニ於キマシテハ在來ノ夜間中學、即チ中學校令ニ依ツテ居ナイ所ノ夜間中學ヲ、中學校令ニ依リマス所ノ夜間中學校ニ改ムル意圖ガアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、是程青少年ノ體力ヲ破壊スルモノハナイト思フノデアリマス、晝間勞働シ、夜間學修スル、是等ノ青少年ハ、文部省ノ調査ニ依リマス、晝夜ヲ通ジマシテ約十三時間ノ長時間ノ勞働ト學修ヲ爲スノデアリマスガ、心身共ニ最モ旺盛ニ發育ヲ致シマシテ、此ノ爲ニ「エネルギー」ノ内部消耗ヲ盛ニ行ヒマス時期ニ於キマシテ、保護管理スル必要ガアリマス、現在全國ニ存在シテ居リマス所ノ夜間中學、夜間女學校ノ生徒ハ一万五千人デアリマスガ、此ノ一万五千人ノ男女學生ニ對シマシテ、一歩進ンデ適正ナル時間ト、適正ナル割合ヲ以テマシテ、晝間學修キ、晝間學中制度ニ致シ、此ノ中學ニ於キマシテハ、其ノ年限ハ多少——四年デアアルモノヲ五年ニ、或ハ六年ニ延長シテモ宜イノデアリマスルカラ、斯ル制度ヲ設クルコトガ、是等勤勞青少年ノ爲ニ最モ必要デアリ、親切ナ方法デアルト信ズルノデアリマス（拍手）現在大藏省或ハ文部省ニ於キマシテモ、有爲ナル青年官吏ノ中ニ、給仕カラ出世サレタ方モ相當アルト云フヤウナコトヲ、私ハ聞イテ居ルノデアリマスガ、此ノ一万五千人ノ青少年ノ中カラ、將來國家有用ナ人物ヲ輩出スルデアラウコトハ、私ハ固ク信ジテ疑ハナイ所デアリマス、青年學校ノ夜間中學ニ關シマシテハ、ドウカ文部大臣カラ御答辯ヲ戴キタ

イノデアリマス
次ニ教育審議會ノコトニ關シマシテ御伺致シタイノデアリマス、教育審議會ハ内閣直屬ノ委員會デアリマスカラ、是ハ總理大臣カラ御答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマスガ、教育審議會ニ於キマシテ決定シタ事項ハ直チニ文部省ニ於テ之ヲ行フト云フヤウニ私ハ聞イテ居リマス、一體教育行政ノ中ニハ厚生行政ヲ多分ニ織込ムコトガ、國民體力管理ノ上カラ見マシテ最モ必要デアルノデアリマスカラ、審議會ノ官制ヲ改革致シマシテ、例ヘバ第五條ニ於キマシテ文部大臣ト共ニ厚生大臣ノ參加ヲ認ムルコトトスルコトガ至當ナリト信ズルノデアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテハ總理大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス、過日來ノ貴族院ニ於ケル委員會ニ於キマシテモ、厚生大臣ハ國民ノ體力ヲ管理スル上ニ於キマシテ、アレモシタイニモシタイト思フガ、豫算ガ足りナイカラト云フコトヲ度々申サレテ居ルノデアリマス、私ハ茲ニ金ガ要ラナイ所ノ國民體力ヲ増進スル良キ一ツノ方法ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレハ來年度ニ於キマシテ二十歳マデ飲酒ノ習慣ヲ持タナカツタ者ヲ、二十一歳マデ其ノ習慣ヲ持續サスコトデアリマス、其ノ次ノ年ニハ二十二歳マデ其ノ良キ習慣ヲ續ケサスコトデアリマシテ、其ノ次ノ年ニハ二十三歳マデト云フ風ニ、一年ツツ延シテ行キマシテ、五年掛ツテ二十五歳未滿禁酒法ヲ完成スルノデアリマスガ、煙草モ此ノ手デヤリタイノデアリマス、煙草ト酒トノ害毒ニ付キマシテハ、過日貴族院ニ於ケル委員會ニ於キマシテモ、大臣ノ御言葉ノ中ニ、學術振興會デ調査シタコトヲ參考ニスルト云フコト

ヲ申サレマシタガ、此ノ學術振興會ニ於キマシテハ既ニ酒ト煙草ノ害毒ニ付キマシテハ調査済ナノデアリマス、是程金ガ掛ラナイデ效果百「パーセント」ナ良法ハナイト思フノデアリマスガ、大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ
最後ニモウ一點御尋致シタイコトハ、前議會ニ於キマシテ廣瀬厚生大臣ハ、國民ノ體力ヲ増進スルノニハ、先ヅ第一ニ國民生活ノ安定ヲ圖ラナケレバナラスト云フコトヲ斷言サレタノデアリマス、私達ハ其ノ斷言ニ對シテ洵ニ敬服ヲ致シタノデアリマスガ、夙ニ令名ノ高イ所ノ吉田現厚生大臣ヨリ、改メテ此ノ點ニ關シマシテ御所見ヲ伺フコトガ出來マシタナラバ、國民ノ齊シク喜ブ所デアリマス、以上ヲ以テマシテ私ノ質疑ヲ終リマス（拍手）
〔國務大臣吉田茂君登壇〕
○國務大臣（吉田茂君） 御答致シマス、本法ノ適用ノ範圍ヲ何故ニ二十歳未滿ノ未成年者ニ限定シタカト云フ最初ノ御尋デゴザイマス、是ハ先刻申述ベマシタ通りニ、未成年者ハ我國ニ於ケル未成年制度、親權ニ服スルト云フコトガアルノト併セマシテ、體ノ發育盛リデアリ、一番大切ニシナケレバナラス時代デアリ、徴兵検査前デアルト云フ理由デ、本法ノ適用ノ限界ニシテ居ルノデアリマス、說ト致シマシテハ二十五歳マデ延長シタラ宜カラウト云フ說モゴザイマシタ、或ハ三十歳ガ適當デアル、或ハソレ以上マデ延長スル必要ガアルトカ色々ナ説ガアリ得ルノデアリマスガ、何レノ說ニモソレレノ理由ハアルコトデゴザイマスノデ、二十歳以下デナケレバナラスト云フヤウナ強イ意味デハナイノデアリマス、併

シ二十歳未満ト致シテ見マシテモ、其ノ適用範圍ハ三千万人ヲ超エルノデアリマシテ、中々夥シイ數デアリマス、隨テ今日ハ二十歳未満ト云フコトデ御審議ヲ願フテ居ルノデアリマスガ、ソレ以上何歳マデニ延長スルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、今後ノ問題ト致シマシテ十分ニ考慮致ス氣構ヘハ持ツテ居ルノデアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ此ノ法案ノ運用ニ付テハ検査ヲ重シトスルノカ、或ハ指導保護等ヲ重シトスルノカト云フ御話デゴザイマス、是ハ法案ノ内容ニモアリマスル通りニ、検査ガ前提デアリマス同時ニ、指導保護ト云フコトニモ大イニ力ヲ盡シテ参リタイノデアリマスガ、是モ御説ノ通りニ單ニ本法ノ運用ノミニ依ツテハ國民體力ノ向上ヲ圖ルコトハ難カシイノデアリマス、行政各般ノコトニ互リ、厚生行政ノ分野ノミナラズ、商工行政或ハ農林行政等ノ分野ニマデモ互リマシテ、國民體力ノ向上、國家有用ノ材ヲ多數ニ育テテ行クト云フコトニ力ヲ入レテ行カケレバナラナイノデアリマス、ソレ等ノ基本的ノ資料ト云フモノヲ整備致スコトガ、此ノ法律ノ使命デゴザイマス、又直接體力ノ指導ト云フコトヲ併セテ行ツテ行ク譯デゴザイマスカラ、決シテ政府ハ此ノ法律ノミニ依リマシテ體力ノ向上ト云フモノヲ期待シテ居ルノデハナクシテ、諸般ノ御例示ニナリマシタ如キ方面ト緊密ニ連絡ヲ取ルコトニ依リマシテ、初メテ此ノ法律ノ立法ノ趣意ト云フモノガ達成セラレル次第ナノデアリマス、運用ニ當リマシテハ十分其ノコトヲ辨ヘツツ運用シテ行ナケレバナラヌト考ヘマス、ソレカラ國民ノ體位ノ憂慮スベキ狀態ニア

ルコトハ、モウ分リ切ツテ居ルノデ、今更ニ調査ヲスルト云フコトハ無意味デヤナイカト云フヤウナ御意見デゴザイマス、大體ニ於テ國民體力ノ憂慮スベキ狀態ニアルコトハ御説ノ通り分ツテ居ルノデアリマスガ、ソレガ地域的ニ、或ハ職業的ニ、或ハ個々ノ人ニ就キマシテ、ドウ云フ狀態デ現レテ居ルカト云フコトニ付テハ、今日マデ調べタコトモナイノデアリマス、大體達觀デ左様ニ考ヘテ居ル次第ナノデ、徴兵検査ノ成績等ハ信憑シ得ル貴重ナ資料デアリマスガ、其ノ前ニドウ云フ徑路ヲ辿ツテ徴兵検査ノ成績ニ斯様ナ結果ガ現ハレタカト云フコトヲ知リマスコトハ、諸般ノ厚生政策ヲ講ジマスル上ニ於キマシテハ肝要ナル資料ニナルノデアリマス、決シテ今回行ヒマスル國民體力管理法案ニ依リマスル検査ト云フモノハ、其ノ意味ガナイコトハナイ、ノミナラズ非常ニ重要ナ意義ガアルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

ソレカラ今回昭和十五年年度ニ検査ナル對象ヲ十七歳カラ十九歳マデノ男子ニ限ツタ理由ハドウカ、女子ノ體力ノ確保ト云フコトノ方ガ男子ヨリモ寧ロ重イ位デハナイカト云フ御尋デゴザイマス、此ノ點ハ御説モ洵ニ御尤モニ承ルノデアリマス、私共モ婦人ノ體位ノ確保ト云フコトハ、洵ニ大切ナ基本的ナコトデアルト云フコトハ、能ク承知ラシテ居ルノデアリマスガ、差當リ目下ノ非常時下ノ日本ニ於テ一番急ギマス部分ハ、大切ナ部分ガ男子ノ十七歳カラ十九歳マデノ間デアリマスノデ、取敢ズ十五年度ニ於テハ其ノ部分カラシテ検査ヲ行フノデアリマスガ、是ハ出來得ル限り御趣意ニ副ヒマスヤウニ、其ノ範圍ヲ必要部分カラ逐次擴張シテ參ツテ、速ニ全體ノ未

成年者ニ及ビ得ルヤウニ今後進捗ヲ圖ツテ行カネバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、乳幼児ニ付キマシテモ同様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ農村等ニ於テ乳幼児ノ死亡率ガ相變ラズ非常ニ高イ、ソレハ指導ノ如何ニ依ツテ頗ル有效ニ死亡率ヲ低下セシメル可能性ガアルト云フコトヲ、實例ニ就テ御話デゴザイマシタ、當局ト致シマシテモ左様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマスノデ、乳幼児ニ對シマスル體力ノ管理ト云フコトガ速ニ行ハレマスルヤウニ努メル一方、指導ニ依リマシテ——是ハ検査ト併セテ行ヒマスルト否トニ拘ラズ、適切ナル指導ト云フモノノ行ハレマスルコトニ依リマシテ、農村ニ於ケル乳幼児ノ死亡率ノ低下スルト云フコトニハ、十分ノ力ヲ致シタイト思フノデアリマス、今日モ例ハバ例ニ舉ゲマシタ東北ノ實例ノ如ク、肝要ト思ハレル所ニハヤツテ居ルノデアリマスルガ、尙ホ是デ十分ダトハ決シテ考ヘテ居リマセヌカラ、其ノ方面ニ對シマシテハ今後特ニ力ヲ入レル覺悟デ居リマス

公娼ノ問題ヲ如何ニ處置スルカト云フ御尋デゴザイマシタ、公娼問題ニ付キマシテハ、御承知ノ通りニ色々ナ沿革ガアリ、色々ナ意見ガ成立チ得ル困難ナ問題デゴザイマスルニ付テハ、是ハ十分慎重ニ考慮研究ヲ致シタ上デナイト、如何ナル處置ヲスルカト云フコトニ付キマシテハ御確答ヲ、今日マダ申上ゲ得ル運ビニナツテ居ラナイ次第デアリマス

次ニ結核對策ニ付テハドウ云フ考ガアルカ、決シテマダ軌道ニモ何ニモ乗ツテ居ラヌデハナイカト云フ御尋デゴザイマシタ、結核ノ問題ニ付キマシテハ、最近朝野有ユ

ル方面ニ於キシマテ其ノ認識ガ非常ニ深マツテ參リマシタコトヲ私共甚ダ心強ク考ヘテ居リマスルト同時ニ、サウシテ稍、結核對策ガ緒ニ就キ始メタコトヲ喜ビマスルト同時ニ、マダ——是デハ丁度御説ノ如ク軌道ニモ乗ツテ居ラナイノダト云フ感ジヲ、御同感ニ致シテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ殊ニ大切ナ國民體力ノ根本ヲ蝕ム、洵ニ忽セニスベカラザル問題デアリマスルノデ、十分ナ決意ヲ以テ此ノ問題ニ對處致シタイト考ヘマス

次ニ工場ノ諸法規ハ遺憾ナク履行セラレテ居ルカ、又ソレ等ノ諸法規ト此ノ管理法トノ關係ハドウカト云フ御尋デゴザイマス、工場ノ諸法規ハ、御指摘ニナリマシタガ如ク、今日非常時局下ノ産業ノ現狀ニ於キマシテ、殊ニ中小工業方面ニ於キマシテ、必ズシモ嚴重ニ履行セラレテ居ラヌ部分ノアリマスルコトハ私共甚ダ遺憾ニ考ヘルノデアリマスルガ、ト同時ニ是等ノ工場諸法規ト云フモノハ單純ニ規則ノ表ニ現ハレテ居ルコトヲ履行スルト云フ、規則ヲ其ノ儘履行スルト云フコトニ意味ガアルト云フヨリハ、如何ニシテ勞務者ノ健康ヲ保チ能率ヲ増進シテ、今日ノ日本産業ガ此ノ重大時局ノ要求ニ適處シ得ルカト云フコトヲ主眼ト致シマシテ、運用セラレネバナラヌト思フノデアリマス、其ノ見地カラ申シマシテモ、洵ニ遺憾ノ點ガ多イノデゴザイマスカラ、左様ニ見地カラ考ヘマシテ、日本ノ産業ノ生産能率ヲ擧ゲル、産業従業員ノ人々ガ十分ニ健康ヲ體ヲ以テ元氣良ク能率高ク統後ノ大切ナ産業ヲ運営ラシテ行クト云フコトノ上ニハ、政府ト致シマシテモ十分力ヲ盡サネバナラヌト云フコトヲ痛感シテ居ル次第デアリマス、尙ホ

工場方面ニ働イテ居リマスル未成年者ニ對シマシテモ、此ノ管理法ハ適用セラルルノデアリマス、同ジニ左様ニシテ生活シテ居ル部分ニ於キマシテハ、事業經營者ノ檢査ノ責任ヲ持ツテ貰フコトニナツテ居ルノデアリマス、工場ノ管理ト云フコトハ、此ノ體力ノ管理ト云フコトハ御尋ノ如ク相互ニ關聯性ヲ持ツテ、初メテ兩方共ニ效用ヲ擧ゲ得ル仕組ニナツテ居ルノデアリマス、二ツノ法制ノ關係ハ左様ナコトト御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス

都市ノ膨脹ニ伴フ各種ノ弊害ヲ是正スル爲ニ、人口ノ農村分散ト云ヒマスカ、地方分散ト云フコトヲ考ヘル必要ハナイカト云フコトノ御尋デゴザイマス、是モ御指摘ノ如ク、最近殊ニ時局下ニ於キマシテ大都市ノ膨脹ノ勢ガ特ニ著シクナツテ居リマス、ソレニ伴ヒマシテ種々ノ洵ニ憂フベキ現象ヲ呈シテ居ルノデアリマス、是ハ獨リ厚生省ノ主管ノミナラズ、國全體ノ人口分布ノ上カラ、或ハ産業ノ分布ノ上カラ、國策的ニ此ノ問題ヲ今日ニ於テ十分ナ用意ヲ以テ取扱フ必要ガアルト云フ點ニ付キマシテハ、私共全然御同感デゴザイマス、ソレニ伴レマシテ工業地方分散ト云フコトモ考ヘラレタルデアリマス、厚生省一省ノミノ問題デナクシテ、關係各省並ニ企畫院方面等トモ連絡ヲ取リマシテ、速ニ全體ノ日本ノ人口分布ノ對策、産業ノ分布對策等ニ付キマシテノ確タル見透シヲ付ケ、ソレニ對應シタ政策ヲ行フ必要ガアルト存ジマス

申スベキ方面ノ科學ニ立脚致シマシタ研究ガ十分デアリマセヌデアリマシタ爲ニ、日本ノ厚生政策、或ハ勞働政策ト云フヤウナモノガ、堅實ナ基礎ヲ持ツテ居ラナイト云フコトヲ、ウクム感ゼラレマス次第デアリマスニ付キマシテハ、今回新ニ擴充致シマス厚生科學研究所ハ、明年度ノ豫算デ御要求ヲ申上ゲテ居リマス程度ノミナラズ、更ニ仕事ノ上ニ於キマシテモ、亦人員組織等ノ上ニ於キマシテモ、愈ハ一ツ十分ニ發達セシムルヤウニ努力ヲ續ケテ参リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、御指摘ニナリマシタ人口問題研究所モ、ソレト一緒ニヤツタ方ガ宜シイデハナイカ、ナゼ別ニシタカト云フ御尋デゴザイマス、今日之ヲ別ニ致シテアリマスコトハ、人口問題研究所ノ方ハ主ニ人口問題ノ人文科學的研究ヲ致ス使命ヲ持ツテ居ルノデアリマス、厚生科學研究所ハ厚生問題ニ付キマシテ、或ハ人口問題ニ付キマシテノ自然科學的研究ト云フモノニ力ヲ注グ建前ニナツテ居リマスノデ、此ノ兩者ノ間ニ固ヨリ密接ノ連絡ノアリマスコトハ必要ナノデアリマスガ、使命ニソレノ特色ガアリマスガ故ニ今日別ニ致シテアルノデアリマスガ、本來非常ニ密接ナ關係ヲ持ツテ居リマス二ツノ施設デアリマスニ付テハ、御指摘ノ點ニ付キマシテハ十分考究ヲ致シテ見タイト存ジマス、二十五歳未満ノ青少年ノ禁酒禁煙ト云フコトヲ、五箇年計畫書一年ツツニ實行致シテ行ツタラバ、豫算モ要ラナイデ洵ニヤリ易イデハナイカト云フコトハ、洵ニ一ツノ有力ナ御考察デゴザイマスカラ、當局ト致シテモ能ク考ヘサシテ戴クコトニ致シマス、最後ニ國民體力ノ向上ト云フコトハ、生

活ノ安定ト云フコトヲ以テ前提トスルト云フ意味ヲ、私ノ前任大臣ガ仰セラレタ、私ニ對シテハソレヲドウ思フカト云フ御尋デゴザイマスガ、ソレハ全然同様ニ心得マス(拍手)

(政府委員岡田喜久治君登壇)

○政府委員(岡田喜久治君) 國民體力増強ノ見地カラシテ、段々ト農村ノ土地改革ノ急要ナル點ニ付テ御話ガアツタノデアリマス、殊ニ空閑地利用ノ急要ナル點モ御指摘ニナリマシテ御尋ガアリマシタニ付キマシテ、此ノ點ニ付キマシテ御答辯ヲ申上ゲタイト思ヒマス、農村ガ國民活力ノ源泉地デアリ、或ハ國民體力増強ノ基地デアルト云フコトニ付キマシテハ全ク御説ノ通りデアリマシテ、極メテ同感スル所デアリマス、斯様ナ見地カラ、一面ニ於テ空閑地利用ノ急要ヲ説キ、更ニ土地制度ノ改善ニ付テ御話デアリマスガ、空閑地利用ノ點ニ付キマシテハ、是ハ殊ニ今日ノ事變下ニ於キマシテ、國民食糧政策ノ見地カラ致シマシテモ、全ク忽セニ出來ナイ問題デアリマスガ爲、既ニ十五年度ノ追加豫算ヲ以テマシテ、政府ニ於キマシテハ百數十萬圓ノ金ヲ以テマシテ、都會地ニ於ケル空閑地ヲ初メ、或ハ河川堤塘敷地、或ハ荒蕪地等、到ル處ノ空閑地利用ノ途ヲ立テテ、而シテ是ガ利用厚生ノ策ヲ圖リツツアルヤウナ次第デアリマシテ、全ク御意見ノ通り、層一層空閑地ヲ大ニ開發利用セネバナラスト云フ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

又、年殊ニ革新政策ヲ立テマシテ、其ノ中ニ於キマシテ土地制度改革ニ關スル政策ヲモ設ケテ居ルノデアリマス(取消セ)「其ノ他發言スル者多シ」是ハ各派政黨トモ何レモ斯ノ如ク注目致シテ居リマスシ、政府ニ於キマシテモ此ノ見地カラ十分ニ留意致シマシテ、ドウカシテ土地制度根本改革ニ關スル諸般ノ政策ヲ打立テタイト思ツテ、銳意之ヲ考究中ノ次第デアリマス、未ダ具體的ノ政策ヲ見ルニ至リマセヌガ、御意見ニ對シマシテハ全ク滿幅ノ同意ヲ表スル次第デアリマス、以上ノ次第ニテ御諒承願ヒタイト思ヒマス(拍手)

〔取消セ〕ト呼ビ其ノ他發言スル者多シ

(政府委員岡田喜久治君登壇)

○政府委員(岡田喜久治君) 一寸申上ゲマス、私ガ土地制度ニ對スル政策ヲ持ツテ居リマスト云フコトヲ申上ゲマシタガ、前ニ申シマシタ如ク、各派政黨ニ於テ既ニ御立テニナツテ居ルト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、語弊ガアリマシタラバ、一ノ點ニ付テハ取消ヲ致シテ置キマス

(政府委員鶴見祐輔君登壇)

○政府委員(鶴見祐輔君) 只今河合君ヨリ今日ノ日本ニ於ケル人口ガ不健全ニ都會ニ集中ヲ致ス結果、或ハ衛生上ノ點カラ致シマシテ、國民體位ノ低下ヲ惹キ起ス心配ガアルヤウニ考ヘルガ、内務省ニ於テハ此ノ人口ヲ放漫ニ都會ニ集中セシメテ放任シテ

置カナイデ、更ニ一般的ノ計畫ヲ立テル考
ガアルカト云フ御尋デアツタヤウニ承知致
シマス、此ノ點ニ關シマシテハ全然御同感
デアリマシテ、最近日本ノ振興ニ伴レマシ
テ人口ガ都會ニ偏重ヲ致シテ居リマスコト
ハ、此ノ儘ニ放任ヲ致シテ置キマシテハ、
單ニ衛生ノミナラズ、或ハ風紀、産業、國
防、一般ニ互リマシテ、國家ノ爲ニ憂フベ
キコトガアルト考ヘマスノデ、御尋ノ國土
計畫ニ付キマシテハ、恐ラク内閣ニ於テ適
當ナル法案ヲ提出セラルコト存ジマス
ガ、御尋ノ内務省所管ニ於キマシテモ、從
來都市計畫法ニ依リマシテ大都市ノ問題ノ
ミヲ計畫シ、立案ヲ致シテ居リマシタノヲ、
最近ニ於キマシテハ更ニ之ヲ中小都市ニ及
ボシ、進デ都市ノ周圍ニアリマス、一般
農村ニ此ノ計畫ヲ擴メマシテ、御説ノ如ク
人口ノ適當ナル配分、産業或ハ教育機關其
ノ他ノ適當ナル配分ヲ致スコトガ必要デア
ルト考ヘテ、綜合的計畫ヲ立テマスコトノ
必要ヲ痛感致シマシテ、過般本院ニ於テ御
協賛ヲ得マシタ明年度豫算ニ於キマシテモ、
地方計畫費ノ豫算ヲ計上致シテ居ル次第デ
アリマシテ、之ニ依リマシテ更ニ十分ナル
研究ヲ遂ゲマシテ後、適當ナル方策ヲ講ジ
タイト考ヘテ居ル次第デアリマス（拍手）

〔政府委員子爵舟橋清賢君登壇〕

○政府委員（子爵舟橋清賢君） 河合君ノ御
質疑中、文部省所管ノ事項ニ付キマシテ、
大臣ガ差支ガゴザイマスノデ、私代リマシテ
御答辯ヲ申上ゲルコトニ致シマスカラ御許
ヲ願ヒマス、其ノ第一點ハ、青年學校夜間
部ヲ廢止致シマシテ、晝間ニ於テ適正ナル
勞働ト學習トヲ爲シ得ルヤウニスル當局ノ
意思ノ有無ニ付テ御質問ガアツタト拜承致

シマス、青年學校ノ授業ハ、之ヲ夜間ニ於
テ施シテ居ルモノガ多イ現狀デアリマスガ、
御説ノ如ク青年ノ體位向上ノ上カラモ、又
教育ノ效果ノ上カラ見マシテモ、成ベク晝
間ニ於テ施スコトガ望マシイ次第デアリマ
スノデ、色々考ヘテ居ル次第デアリマス、
併シナガラ青年學校ニ通學シテ居リマス青
年達ハ、主トシテ勤勞青年デアリマス關係
上、直チニ夜間部ヲ廢止スルト云フコトハ
可ナリ困難デアルト考ヘテ居リマス、又青
年學校ノ設備ノ關係カラモ困難デアリマス
ノデ、文部省ト致シマシテハ、事情ノ許ス
限リ晝間制ニ移シマスヤウニ、指導獎勵ヲ
致シテ居ル次第デアリマス、隨テ現在ノ實
際ノ狀況ニ於キマシテ、追々晝間制ニ移シ、
又ハ其ノ授業ノ一部ヲ晝間ニ於テ施スヤ
ウナ學校ガ増加シテ居ル次第デゴザイマ
ス、尙ホ夜間ニ於キマシテ授業ヲ施スモノ
ニ付キマシテ、特別ノ事情ノナイ限リハ午
後九時ヲ過ギナイヤウニト云フコトニ訓令
ヲ致シテ居リマス、現在ノ狀況ハ以上ノ
如クデゴザイマスガ、御質問ノ御趣旨ニ
付キマシテハ、之ニ副ヒマスルヤウニ今
後出來得ル限リ努力致シタイト心得テ居リ
マス

次ニ夜間中學ノコトデゴザイマスガ、御
承知ノ如ク、近來殷賑産業等ノ關係モゴザ
イマスノデ、勤勞青年ガ夜間學校ニ學習
スル時間ガ可ナリ困難ニナツテ居リマス、
一週間二十四時間トシテ一日四時間ニナリ
マスガ、健康上是ハ可ナリ問題トシテ宜シ
イト思ヒマス、御説ノ點モゴザイマスノデ、
年限延長其ノ他ニ付十分無理ノナイヤウニ
研究ヲ致ス積リデ居リマス（拍手）

○副議長（田子一民君） 田中養達君
〔田中養達君登壇〕
○田中養達君 只今上程サレテ居リマス體
力管理法案ニ付キマシテ、簡單ニ四ツノ點
ヲ御尋シテ置キタイと思ヒマス、先ニ伊藤
君、河合君カラモ申サレタヤウニ、何ガ故
ニ本案ヲ二十歳ニシテ、二十五歳マデ延長
サレナカツタカ、心身ノ完成ハ二十五歳ト
云フガ、ソレデハマダ十分デハナイノデア
リマシテ、先ヅ大體ニ於テ二十五歳、是ハ
モウ定説デス、而モ此ノ說明ニアリマシタ
ヤウニ、診斷ニ依ツテ若シ疾病ガ分レバ、
ソレヲ保護者ニ注意スル、保護者若シ其ノ
治療費ニ堪ヘヌ場合ニハ、政府ガ代ツテ之
ヲシテヤルノダ、斯ウ云フ建前ニ立タレ
ナラバ、尙更私ハ之ヲマダ獨立ノ生計ヲ營
ンデ居ラナイ二十五歳マデ延長サレルコト
ガ、一番正シイコトデハナイカと思フ、之
ヲナサラスコトハ實ニ私ハ遺憾ニ思ヒマス、
此ノ二十歳カラ二十五歳マデノ間ガ、精神
的ニハ人間ノ一番迷ヒ易イ時デス、肉體的
ニハ一番恐ロシイ結核ノ罹病率、死亡率ノ
一番多イ時デアリマス、此ノ二十歳カラ二十
五歳ノ間ガ、國民毒、民族毒ト言ハレマス微
毒ニ、一番罹リ易イ時デアリマス、此ノ問題
ハ私ハ此ノ間優生法案ニ付テ申シマシタカ
ラ、重ネテハ諄イカラ止メマスガ、斯ウシタ
カ恐レベキ病毒ニ罹リ、自分ダケデナク、子孫
ニマデ此ノ病毒ヲ及ボスノデアリマス、ソレ
ニ感染スル一番危險性ノ多イノハ、此ノ二
十歳カラ二十五歳マデノ間デアリマス、隨テ
政府ハ何故之ヲ保護サレヌカ、本案ノ根
本精神ノ中ニ、若シ保護者ガ治療出來ヌ場
合ニハ、政府ガ代ツテ之ヲ治療シタルト云
フヤウナ、溫イ親心ノアル法案デアルナラ

バ、心身共ニ一番危險デ迷ヒ易イ是等ノ青年
ヲ、政府ハ保護スル氣持デ、何故之ヲ二十
五歳ニナサラナカツタカ（拍手）之ヲ保護ナサ
ルニハ金モ要ラス、今河合君ガ申サレマシタ
ヤウニ、唯二十五歳ノ禁酒法案ヲ御出シ戴ク
ダケデ十二分デアリマス、一部ノ論者ハ現
在未成年者禁酒法ガアルガ、是ハ取締ガ困
難デ無効デアル如ク主張サレテ居ルガ、サ
ウデハナイ、最近ノ統計ヲ見マス、アノ
未成年禁酒法ノ出來ル前ハ、二十歳以下ノ
者ガ酒ヲ飲ミ習ツタノデアリマスガ、最近
ノ酒ヲ飲ム人ノ調査ヲ致シマス、アノ禁
酒法ノオ蔭デ二十三歳ヲ中心ニ酒ヲ飲ミ始
メタト云フ統計ガ、明ニ出テ居ルノデアリマ
ス、隨テ若シ二十五歳禁酒法案ヲ出シニ
ナリマス、五年後カ十年後ニハ、必ズ酒ヲ
飲ミ始メル年ガ、二十七八歳ニマデ上ツテ
來ルコトダケハ間違ヒナイト私ハ思フ（拍手）
二十七八歳ニナツテ自分ガ生計ヲ營ミ、前
後ノ思慮アル人ガ、其ノ日ノ疲レノ爲ニ一杯
飲マレルコトハ、是ハ不調法ガナイ、二十五
歳マデノ間ノ此ノ人達ニ非常ニ恐ロシイ危
險ガアルノデアリマス、私ハ二十五歳禁酒法
案ヲ政府ハドウ御考ヘナツテ居ルカト云フコ
トヲ、一ツ伺ツテ置キタイと思ヒマス（拍手）
今一ツハ、此ノ法案ハ來年十七八歳カラ
施行スルノダ、斯ウ云フ今ノ說明デアリマ
シタガ、ナゼ之ヲ乳幼児カラナサラスノデア
リマスカ、苟モ體力ヲ管理シテ、ソレヲ或
種ノ根本基礎ニシテ、將來國策ヲ打立テ
ト言ハレルナラバ、此ノ中途半端ノ十七八
歳ヲナゼ先ニサレルカ、ナゼソレヨリモ寧
ロ根本ノ乳幼児ノ一歳カラ、之ヲ御始メニ
ナラスカト云フコトヲ一ツ聽キタイ、今日
本ハ死亡率ガ非常ニ高イノデスガ、其ノ中

デ特ニ高イノハ、此ノ乳幼児ノ死亡デアリマス、一歳マデノ死亡ガ約一割、二十二万人死ンデ居リマス、而モ茲デ考ヘタイコトハ、折角十箇月腹ニ居ツテ、死産ノ形デ生レル子供デス、其ノ子供ガ十万人居リマス、若シ乳幼児ト云フモノニ政府ガ非常ナ注意ヲ拂ヒ、何等カノ對策ヲ御講ジニナルナラバ、此ノ三十二万アル死亡者ガ減ルト思フ、日本ガ特ニ此ノ死産乳幼児ガ世界一ダト謂ハレルノハ、茲ニ大キナ原因ガナケレバナラスト私ハ考ヘルノデアリマス（拍手）厚生省ハ斯ノ如キ案ヲ御立デニナルノニ、先ツ第一番ニ此處ニ著眼サレナカツタコトヲ遺憾ニ思フノデアリマス（拍手）此ノ死産ト乳幼児ノ死亡率ト、密接表裏ノ關係ニアルモノハ何カト云ヘバ産婆デアリマス、御承知ノ通り妊娠中五箇月、アトノ約半分以後ハ産婆ノ手ニ掛ル、而シテ分娩ノ際ハ、無論産婆ノ一舉手一投足コソ、特ニ母體ト子供ト二人ノ生命ニ關スル、非常ナ重大ナ任務ヲ持ツテ居ルデアリマス、而モアノ恐ルベキ産婦ノ産褥熱ノ多クハ、此ノ産婆ノ處置ノ如何ニ懸ツテ居ルデアリマス、殊ニ今申上デマシタヤウニ、折角十箇月間母胎ニ居ツテ生レタ場合ニ、假死ノ狀態デ生レル子供ハ澤山アルデアリマス、一寸素人ガ見マスト、子供ガ死ンデ生レタト誰モ考ヘル、マダ呼吸シテ居ラス、而シテ心臓ハホソノ微カニ動イテ居ルデアリマスカラ、見タ所ハ眞蒼ノ子供デ、死ンダト同ジコトデアル、此ノ狀態デ生レタ時ニ産婆ノ取扱如何コソ、モウ直接其ノ子供ノ生命ニ懸ツテ居ルデアリマス、是等ニ付キマシテハ産婆ハ或ハ人工呼吸、或ハ水ヲ吹掛ケル、殆ド素人ノ方ノ見ルニ忍ビナイヤウナ、殘

酷ノヤウナ形デ人工呼吸ヲヤリマスケレドモ、其ノ結果ハ餘リ宜クナイ、所デ最近ハ有難イコトニハ、帝大ノ田村博士ノ研究サレマシタ、例ノ「ピタカンパー」ト云フ、至ツテ無害ノ強心劑ヲタツタ一本注射シテ置キマスト、百「パーセント」此ノ假死ノ狀態ノ子供ガ悉ク蘇生スルデアリマス、サウナリマスト日本ハ異常産ノ時ニハ醫者ハ參リマスガ、普通ノ才産ノ場合ニハ醫者ハ參リマセス、サウナレバ斯ノ如キ結構ナコンナ有難イ藥ガアルナレバ、産婆ニ此ノ藥ヲ注射スル位ノコトハ、何トカ考慮サレルコトガ非常ニ大切ナコトデアリマス（拍手）ソレダケデナシニ、産婆ハ今日分娩後約十日カ十五日シカ其ノ子供ヲ扱ヒマセス、其處ニ私ハ非常ナ缺陷ガアルト思フ、育兒ノ知識ヲモツト徹底的ニ産婆ニ注込ンデ、少クトモ離乳期マデノ一年間位ハ産婆ガ絶エズ之ヲ注意シ、監督スルト云フコトニナレバ、此ノ死亡率ハ非常ニ減ルモノデハナイカト私ハ思フ（拍手）是ニ至ツテ私ガ考ヘマスコトハ、吾々ハ茲ニ鑑ミル所ガアツテ、年々産師法案ヲ提案シテ居リマス、全國ノ産婆ガ約六万人、是等ノ地位ヲ向上サセ、サウジテ育兒ノ知識ヲ注シ、或ハ今言フヤウナ危險ノナイ皮下注射ノ一本位ハ之ニ許ス法カ何カヲ茲ニ御立デニナツテ、之ヲナサルナラバ、私ハ此ノ澤山ノ死亡率ハ必ズ低下スルト信ジテ居ル、此ノ肝腎ナ事ニ政府ガ手ヲ著ケズニ、年々出テ居ル此ノ産師法案ヲ、マルデ他人事ノヤウニ御取扱ニナツテ居ル厚生省ノ眞意ハ、全體何處ニ在ルカヲ御尋シタイ（拍手）今年モ出シテ居リマスガ、厚生省ハ少

シモ之ニ向ツテ世話ヲナサラスノデアリマス、是ハドウ云フ意味デアルカ、私ハ此處ノ所ガ分ラナイ、ドウカ一ツ特ニ此ノ點ヲ考慮シテ戴キタイ、人生第一歩ヲ踏出ス「オギャー」ト云フ時カラ一年間ハ、産婆ガ一番關係ガ深く、而モ其ノ取扱ガ一生ノ健康ニ關スル重大ナル出發點デアリマス（拍手）先ツ之ヲヤツテ戴クト同時ニ、二十年間折角育テ上ゲタ子供ガ二十歳カラ二十五歳マデノ間ニ、精神的ニモ肉體的ニモ迷ヒ易イ此ノ期間ヲ禁酒法案ニ依ツテ政府ガ保護シ、而シテ心身共ニ最モ健全ナル子供ヲ社會ニ送り出スコトガ一番大切ナコトデアリ、此ノ法ノ精神ニビツタリト合フコトダト思フ（拍手）隨テ此ノ法ヲ御立デニナルト同時ニ、何故私ハ一方ニ産師法案、而シテ一方ニ青年ノ仕上ゲデアアルベキ二十五歳禁酒法案——此ノ二ツハ車ノ兩輪ノ如キモノデ、何レヲ缺イテモ駄目デアリマスガ、何故此ノ二ツヲ此ノ際御出シニナラナカツタカ、此ノ事ニ付テ厚生大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト存ジマス

第二點ハ本案ヲ愈、施行ナサルト、此ノ調査ハ基本的ノモノデアアル、基本ノ調査デアリマスカラ、若シ此ノ調査ニ誤リガアルト云フコトデアリマス、是ハ一府八縣之ヲ基礎ニ色々ナ「プラン」ヲ御立デニナルデアアル、今日國防モ産業モ國民ノ健康ナシニハナイノデアリマス、其ノ根本ノ基礎ヲ今造ラウト云ハレルガ、之ニ若シ誤リガアルナラバ、是ハ重大ナル錯誤ガ來ルノデアリマス、ソコデ私ガ御尋申上ゲタイコトハ、本案ヲ施行サレル際ニハ、無論何千萬ノ國民ノ身體検査ヲ行フ、是ハ申スマデモナク全國五万ノ醫者ヲ動員サル以外ニ途ガナイト私ハ思フ、其ノ場合ニ五万ノ醫者ガ、是ハ大切ナモノデアアル、國家ノ仕事ノ總テノ基礎ノ調査デアルガ故ニ、此ノ建前カラ五万ノ醫者ガ欣然ト喜ンデ、國家ニ奉仕スルト云フ氣持デ此ノ案ヲ支持シナイコトニハ、折角デハアルガ、此ノ案ハ駄目ニナルノデハナイカ、私ハ之ヲ非常ニ心配致シマス、何故私ガ斯ウ云フコトヲ申上ゲルカト云フト、此ノ五万ノ醫者ハ會テハ厚生省ノ出來ルコトヲ熱望シテ居リマシタ、厚生省ヲ作ツテ國民ノ健康ノ爲ニ努力シタイト豫ネム、思ツテ居ツタノデアリマシテ、幸ニ厚生省ガ出來テ喜ンダノデアリマス、併シ喜ンダノモ束ノ間、此ノ二年ノ間ニ全國ノ五万ノ醫者ハ厚生省ヲ見ルコト目ノ敵ノ如ク、親ノ敵ノ如ク思ツテ居リマス（拍手）而シテ又厚生省ハ五万ノ開業醫ヲマルデ敵ノ如ク取扱ツテ居ル事實ガアル、隨テ茲ニ大キナ溝ガ出來テ居リマス、今前ニ私ガ申上ゲマシタヤウニ、此ノ法案ヲ徹底シテ有效ナラシメル爲ニハ、其ノ青年ノ病氣ダケデナク、其ノ父兄、兄弟ノ狀態モ、其ノ家庭ノ生活狀態、環境マデモ悉ク知ツテ、而シテ眼光紙背ニ徹スル底ノ眞剣ナル調査ナシニハ、折角ダガ此ノ調査ハ駄目ニナリマス、其ノ調査ヲサスベキ醫者ガサウ云フ氣持デアツタラドウナルデセウ、厚生省ハ本案ニアル如ク、命令ニ依ツテヤラセルノダ、斯ウ仰シヤル、命令ニ依ツテヤルト思ヒマス、命令ニ反對スル者ハ一人モ居リマセス、ケレドモ一片ノ命令ニ依ツテヤツテ居ルノト、國家ノ爲ト思ツテヤツテ奉仕スルニ心カラシニ協賛ヲシテヤツテ居ルノトハ、根本的ニ相違ガアルト私ハ考ヘル（拍手）是ハ吉田サンノ罪デハア

リマセスガ、之ニ付テノ對策ヲ伺ツテ見タイト云フコトハ、今度アナタガ御送りニナツタガ爲、又色々關係デ、例ノ醫藥制度改革案ト云フモノハ今年ノ議會ニハ出マセヌデシタ、併シナガラアノ醫藥制度改革案ナルモノハ、是コソ今日世間ニ言ハレテ居ル官僚獨善ノ典型的ナモノデアリ、日本一ノ官僚案デアルト（拍手）「ノウ」私ハ此ノ事ニ付テ申上ゲテ見タイ、ソレハ何處ニ在ルカト云フト、公營主義デアリ、國營主義デアリマス、開業醫ヲ全廢シテ國營デ行カウ、公營デ行カウト云フ此ノ「イデオロギー」ガ厚生省ノ「イデオロギー」ニナツテ居リマス、是ガヒシ／＼ト開業醫ニコタヘテ來ルカラ、茲ニ反對ガ起ツタ、私ハ是等デモ今假ニ厚生省ノヤツテ居ル醫藥制度ノ根本ノ思想ハ何處ニ在ルカト言ヘバ、悉ク外國模倣、個人主義、階級主義ヲソツクリ其ノ儘持ツテ來テ作ツテ居ルノガ、今日厚生省ノ立テテ居ル改革案デアリマス、今日マデ立テテ居ル總案ハ、此處カラ出發シテ居ル、斯ウ私ハ申上ゲタイ、外國ハ兎モ角、日本ニハ古來カラ、日本獨特ナ、日本ノ家族制度、全體主義ニ合致シタ開業醫制度ト云フ良イ制度ガアルノデアリマス、併シナガラ時代ニ即セナイ所ハ取ツテモ宜シイ、併シ日本ノ國體ニ即シタ良イ所ダケハ取ツテ退ケルノデナシニ、此ノ良イ所ダケハ厚生省自ラガ守リ立テテ、而シテ又外國ノ良イ制度ヲ其處ニ繼ギ足スコトニ反對デアルト申上ゲルノデハナイガ、此ノ折角ノ制度ヲ根柢カラ破壊スルヤウナ馬鹿ナ案ヲ御立テナナル所カラ、ソコデ開業醫ハ見テ居レナイカラ立チ上ルノデアリマス、私ハ其ノ一例ヲ申上ゲマスガ、今日日本ニハ組合制度ガ

出來テ居リマス、保險制度ガ出來テ居リマス、是ハ私モ良イコトと思フ、併シナガラ今ノ保險制度ヲアノ儘ニナサルナラバ、是ハ折角ダガ駄目デアリマス、是ハ國體ニ副ハナイ保險制度デアリマス、ソレハドウカト言ヒマスト、我國ノ醫藥制度ハ中産階級ノ者ダケデ、相互扶助ノ危險分散ノ形デ保險制度ガ出來テ居リマス、而シテ其ノ上ノ階級ト云フモノガ一ツ殘サレテ居ル、其ノ階級カラハ醫者ハ幾ラ取ツテモ宜イト云フ建前ニナツテ居リマス、隨テ外國デ病氣デモナサルト非常ニ金ガ掛ルト云フノハ、此ノ爲デアリマス此ノ階級ガ一ツ殘ツテ居ル、而シテ眞中ノ階級ガ組合ヲ作ル、「カード」階級ハ慈善事業ガ非常ニ發達シテ居リマスカラ、此ノ慈善事業ニ依ツテ是等ノ階級ガ救ハレルト云フヤウニ、此ノ三ツノ階級制度ニナツテ居ルノガ、今日ノ歐羅巴ノ醫藥制度デアリマス、所ガ日本ハサウデナイ、日本ノ醫藥制度ハ、金持ダカラ無茶苦茶ニ取ルト云フ制度ハ今マデナカツタ、而シテサウカト云ツテ、此ノ「カード」階級ノ貧乏人カラ、ムゴトラシク醫者ガ請求シテ取ルト云フコトモ今日マデハナカツタノデス、其ノ證據ニ二割カ三割ノ藥價不拂ハアリマスケレドモ、未ダ會テ法律ノ手續ニ依ツテ之ヲ取上ゲタト云フ例ハ私共聞キマセヌ、サウ云フコトハナイノデアリマス、寧ロ醫者ノ犠牲ニ依ツテ是等ガ救ハレテ居ツタノデアリマスルカラ、日本ニハ慈善ノ事業ハ發達セナンド、私ハ非常ニ宜イコトダと思ヒマス、金持カラモ取ラヌガ、貧乏人ニ對シテモムゴイトラセヌ、隨テソコニ慈善ハナイ、全日本一大家族制度デアル、全體主義ト家族制度ト云フ建前カラ言ツテ慈善ト云フヤウナ馬

鹿ゲタコトガアツテハナラスト私ハ深ク信ジテ居ル者デアリマス、隨テ日本ニハ慈善ハナイ、ソレヲドウ西洋カブレシタカ、厚生省「イデオロギー」デ、最近國民健康保險、勞働保險ヲ持ツテ來タ、併シナガラドウデセウ、ヤハリ上ノ階級ハ其ノ儘、金持ノ階級ハ此ノ組合ニ入ツテ居リマセヌ、「カード」階級モ入レテ居リマセヌ、ソコデ私ハ考ヘテ戴キタイコトハ、成程形ハ慈善デ有難イヤウダガ、此ノ慈善ノ切符ヲ持ツテ、親ノ一生、細君、自分ノ可愛イ子供ノ一生、之ヲ託スルノニ、此ノ切符ヲ持ツテ醫者ノ玄關ニ行ツタ時ニ、モウ早ヤ精神的ニ一大打撃ヲ受ケテ居リマス、隨テソコニ其ノ人ハ可哀相ニ非常ナ僻ミガアルノデアリマス、折角慈善ガ如何ニ發達シマシテモ、愈命ニ關ハルト云フ大事ノ時ニ、其ノ安イ切符ヲ持ツテ醫者ノ家ニハ行カヌ、茲ニ無理ガ起ルノデス、金サヘアレバアノ階級ノ人等ト同ジ治療モシテ貰ヘル、ソコデ娘ヲ賣ツテ醫療費ニシタナント云フヤウナ問題ハ、多クハ此處カラ起ツテ參ルノデアリマス、何トカシタイ、親ノ一生ダモノ、子ノ一生ノ生命ニ關ハル問題ダモノ、錢金ノ問題デハナイ、ソコデ無理シテアノ階級ノヤウナ手當ヲシテ貰ヒタイト云フ所ニ、此ノ無理ガ起ルノデアリマス、ソレト同ジヤウニ、此ノ中産階級ノ連中モ、折角平素組合ニ掛金ハ致シテ居リマスルケレドモガ、愈命ニ關ハルト云フ場合ニナリマスルト、ヤハリ金サヘ出セバモウ一ツ十分ノ手當ノ出來ル所ガ殘ツテ居ルカラ、ソコデ又無理ヲシテ、借金シテ診テ貰ヒニ行クト云フノガ今日ノ形デス、隨テ私ガ前ニ申上ゲルヤウニ、組合制度ノ精神ハ惡クナイガ、方法ヲ誤ツテ

居ルト申シマスノハ是デアル、日本ハ此ノ上ノ階級ヲ廢メニシテ此處ヘ御入レニナルガ宜シイ、今日慈善其ノ他ノ事業デ使ハレテ居ル總テノ金ヲ「カード」階級ノ人等ノ代リニ掛金トシテ全部此處ヘ持込シテ、之ヲ一本ニナサツタラドウデスカ、少クトモ帝國ノ臣民デアル以上ハ、病ミ患ヒ、醫療ニ關シテハ貴賤貧富ノ別ナク、是ヨリナイト云フ一本ノ制度ニナゼナサラヌカト、斯ウ私ハ申上ゲタイ、（拍手）畏多イコトデスガ此ノ「カード」階級ノ連中ニ對シテ濟生會其ノ他皇室ノ有難イ思召ガ含マレテ居リマス、今私ノ申上ゲルヤウナ一本ノ建前ニ致シマスル時ニ、初メテ「カード」階級ノ人等ハ、其ノ切符デ卑下スルノデナシニ、日本ニ生レタ御蔭デ有難イコトニハ、貴賤貧富ノ別ナク平等ノ治療ガ受ケラレルト云フ所ニ國家ニ對シ、皇室ニ對シ、肚ノ中カラ感謝スル氣持ガ起ツテ來ルノデアルマイカト私ハ思フ、ナゼ之ヲ爲サラヌノデアリマスカ、ナゼ外國カブレシタ此ノ階級制度ヲ採入レニナルノカ私ハ分ラヌ、同ジコトデハナイデスカ、併シナガラ今開業醫ハ非難サレテ居リマス、其ノ非難ノ中心ハ何處ニアルカト言ヘバ、患者ト醫者トガ藥價ノ問題デ非難サレテ居ルノデアリマス、隨テ私ハ制度ハ此ノ儘、一番非難サレテ居ル醫者ガ患者カラ藥價ヲ取ルト云フ所ダケヲ斷チ切ツテ、之ヲ組合ニシテシマフ、國家ノ保障シタ組合デ行カウ、オ前等ハ專心患者ヲ診テヤレ、親切ニ診テヤレ、金ハ國家ガ保障シテヤルカラ心配スルナ、而シテ治療費ハ組合ニ請求スルト云フ制度ニスルナラバ、而モ其ノ治療費ハ國家ガ賤シ、醫者モ立ツテ行クヤウニ、内容モ低下セヌヤウニ、是ハ私ハ國家ガ賤

ンデキヲツト此ノ制度サヘ御立ニナルナ
ラバ、五万ノ醫者誰一人之ニ反對スル者ハ
ナイノデアリマス、反對スル筋合デハナイ
ノデアリマス、今日ノ如ク人の資源ノヤカ
マシイ時ニ、而モ健康ニ一番關係ノ深い此
ノ問題ヲ、政府ハモウ少シ親切ニ、眞劍ニ
取扱ツテヤツテ戴イテ、今日ノ此ノ大衆ノ
惱ミ、醫者ノ非難、ソレ等ヲナゼ政府ハ取
除ク親切ト熱意ガナイノカ、私ハ此ノ點ニ
付テ大臣ノ眞劍ナル所見ガ伺ツテ置キタイ

今一ツ、此ノ間ノ案ノ如キハ是モ國民衛
生ノ上ニ非常ニ重大ナル意義ガアルノデア
リマスカラ、序ニ聴イテ置イテ戴キタイガ、
アノ醫療制度改革案ノ第二ノ點ハ何處ニア
ルカト言ヒマス、醫藥分業ノ前提デアル、
患者ガ希望セスデモ、醫者ガ患者ヲ診タラ
必ズ處方箋ヲ出ス、是ハ明ニ醫藥分業ノ前
提デス、私ハ之ニ付テ此ノ問題ノ是非ノ議
論ヲスルノデハアリマセヌガ、參考ニ申シ
タイコトハ、成程世界ニハ醫藥分業ヲヤツ
テ居ル國ガアル、獨逸ヲ中心ニ、丁抹其ノ
他北歐羅巴ニ五六箇國ヤツテ居ルコトハ、
是ハ厚生大臣御承知ト存ジマスガ、併シ醫
藥分業ヲヤツテ居ル國ノ藥局ニ對スルアノ
用意周到ナル手續ハドウデゴザイマスカ、
ソレ等ノ國々、醫藥分業ヲヤツテ居ル國々
ハ、藥局ニ對シテハ非常ニ制限ガ加ヘラレ、
人口三千人、或ハ五千、一万、ソレヲ目安
ニ一ツツ藥局ガ許可サレテ居リマス、而
モソコデ藥劑師ノ過剰ニナラスヤウニキチ
ツト統制ヲ付ケテ居リマス、アノ邊ハ藥劑
師ハ過剰ニナツテ居ラス答デアル、而モ此
ノ藥局ニ對スル許可ハ、丁度日本ノ郵便局
ノ許可ノヤウニ、最モ嚴重——ソレガ最モ
嚴重ト云フダケデナク、此ノ藥局ノ許可權

ハ各、國王ガ持ツテ居リマス、政府ニ委ネテ
居ラス、若シ時ノ政府ガ或ハ政黨其ノ他ノ
關係デ、徒ラナ所ハ藥局ヲ許可スルヤウナ
コトガアリ、ソレ等ガ競争シテ居ルヤウナ
コトガアリ、ヒヨット醫藥ノ内容ガ混亂
シ低下スルヤウナコトガアツテハナラス
ト云フノデ、ドウデス、一ツノ藥局ノ許
可權ヲ國王ガ握ツテ居ルノデアリマス、而
モ其ノ藥劑師、其ノ藥局主任ハ、若シ中途
デ不幸ガアルナラバ、其ノ遺家族ハ政府ガ
保障シテ居リマス、扶助料ニ依ツテハ安
心シテ生活ノ出來ルヤウニナツテ居ル、而
シテ停年制ニ依ツテ年寄ツタ藥局ノ人ハ罷
メル、其ノ代リニ年金ニ依ツテ一代安心シ
テ食ヘルヤウニシテ居ル、是程ノ制度ガ確
立シテ居リマス、此ノ用意ガ出來テ居ル、
ナゼ外國ガ此ノ用意ヲシタカ、此ノ根本ハ
何處ニアルカト申シマス、一般大衆ノ諸
君等ハ、アノ調劑サレタ藥、アレヲ見ルト
醫者ハ分ルヤウニ思ウテゴザル、私共ガ偶
患者ノ所ニ行キマス、先生前ノ醫者カラ
此ノ藥ヲ貰ヒマシタト言ツテ、藥罐ト藥
袋ナドヲ出シテ來ル、分ツタヤウナ額ヲシ
テ居リマスケレドモ、是ハ分ラヌ、何ガ調
合シテアルヤラ、ソレハ皆目分ラヌ、ソ
ナモノヲ分ラヌノニハ、容易ナラザル手數ト
化學的ノ分析ナシニハ分ラヌノデアリマス、
ソコデドノ分量ガドウナツテ居ル、或ハド
ンナ代用藥ガ使ハレテ居ツテモ分ラヌカラ、
ソレデ只今申上ゲルヤウナ方法ニ依ツテ、國
家ガ藥劑師同志ノ競争ヲ一切除クダケノ準備
ガ、キチツト數百年來出來テ、初メテ安心
シテ醫藥分業ヲ爲シ、醫者ノ處方箋ヲ藥局
ニ持ツテ行ケル制度ガ、茲ニ確立シテ居ル
ノデアリマス、ソレニドウデス、日本ハ今

藥劑師ハ約三万ニ近い、三万ニ近い藥劑師
ハ、若シ醫藥分業ヲナサルナラバ、押スナ押
スナデ藥局ヲ開設スルコトト思フ、藥局ヲ
開設スレバ、藥劑師ハ醫者ノ處方箋ヲ一ツ
デモ餘計取ラナケレバナラスカラ、ソコニ
色ナナ不正モ起ラウシ、競争モ起ラウシ、
實ニ私ハ此ノ事ヲ考ヘタダケデモ、戰慄ス
ルヤウナコトニナルノデアアルマイカト思
フ、私ハ此處デハ醫藥分業ノ是非ヲ論ズル
場所デナイカラ止メマスガ、ドウシテモ分
業ヲシナケレバナラヌト言ハルナラバ、ナ
サツテ宜シイ、是ダケノ準備ガアツテカラ、
ヤツテ戴キタイト思フ、何ノ準備モナシニ、
政府ハ只今申スヤウニ、西洋其ノ儘ヲ移シ
テ來テ、日本ニ醫藥分業ヲナサルナドト云
フコトハ、是位ノ暴舉ハナイ、斯ノ如キ恐
ロシイ、國民健康ニ直接害ノアル重大ナ案
ヲ、政府ガ突如トシテ出サント致サレタモ
ノダカラ、吾々ハ是ハ拾テテ置ク譯ニ行カ
ナイ、アノ改革案ノ如キハ、曩ニ申スヤウ
ニ、日本獨特ノ國體ノ觀念ニ反シタル制度
デアルカラ、隨テ私ハ之ニ反對シタノデア
リマス、幸ニ出ナカツタノデ宜シイガ、斯
ノ如キ案ヲ賢明ナ吉田厚生大臣ハ、果シテ
御出シニナル意思ガアルカナイカ伺ヒタ
イ、是ハ本案審議ノ上ニ非常ニ關係ガアリ
マス、若シアナタガ今私ガ申上ゲルヤウナ
建前デ、ソナモノヲ御出シニナル意思ガア
ルトスレバ、ソレハ當分御止メニナツタ方
ガ宜シイ、アノ案ヲ御出シニナレバ大混亂
ヲ來シマス、政府ハ公營デ行クノダ、國營
デ行クノダト云フ建前カラ、オ前等ガ反對
スレバ、總テハ官公吏ニ依ツテヤルト言ハ
レルカモ知レナイ、ソレデモ宜シイ、此ノ
間三年ヤ五年デハ納マラス、其ノ混亂期ニ

コンナモノヲ御出シニナツタラ、是ハ大變
ナコトニナルノデアリマス、私ハ今人手ノ
足ラヌ時ニ、醫者ノ手ノ足ラヌ時ニ、物資
ノ不足シテ居ル時ニ、斯ノ如キ大キナ「ブ
ラン」ヲ御立テニナツテ、ソレガ無効ニ終
ルト云フコトデアルト、國家ノ爲ニ默ツテ
居ル譯ニハ參リマセヌ、(「ヒヤ」)隨テ
之ヲ只今申スヤウナ建前デ御出シニナルナ
ラバ、一ツ公營主義ガ徹底スルマデ、此ノ
案ヲ御控ヘニナラヌト、國家ノ損失デアリ、
非常ニ間違ヒガ此處カラ起ツテ參リマス
(「ノー」)此ノ點ハ十分ニ厚生大臣ノ御
考ガ伺ツテ置キタイノデアリマス

○副議長(田子一民君) 田中君、時間ガ參
リマシタ

○田中養達君(續) 口約束通りキチツト三
十分(笑聲)私ハモウ二點何ヒタイガ、約束ノ
時間ノ關係モアリマスカラ、アトハ委員會デ
重ネテ御尋スルコトニ致シ、以上ノ點ニ付
テノ御答ヲ願ヒタイト存ジマス(拍手)

(國務大臣吉田茂君登壇)

○國務大臣(吉田茂君) 御答ヲ致シマス、
本法案ノ對象ヲ二十五歳マデニ延長スル方
ガ宜シイデハナイカト云フ點デゴザイマス、
ソレニ付キマシテハ、先刻來廣、申シマス
ヤウニ、差當リ二十歳ヲ以テ區切ト致シテ
アルノデアリマシテ、二十歳以上ノ人々ニ
對シテ御世話スル必要ハナイト、政府ハ
毛頭考ヘテ居ル譯デハナイノデアリマスカ
ラ、御説ニ對シテハ、今後ノ問題ト致シマ
シテ、十分研究ヲサレテ戴キタイト存ジマ
ス、尙ホ禁酒法案ニ付テ御尋ガゴザイマシ
タガ、是ハ先般モ御答ヲ申上ゲテ置キマシ
タヤウニ、十分ニ其ノ問題ニ付キマシテハ考
究ヲサシテ戴キマス、次ニ何故ニ乳幼児カ

ラ先ニ調査ヲ始メナイカト云フ御尋デゴザ
イマス、乳幼児ニ對スル對策、竝ニ死産ニ
對スル對策等ハ、御意見ノ通りハ洵ニ大
切ナコトデアリマス、殊ニ乳幼児死亡率ノ
非常ニ高率ヲ示シテ居リマス我國ノ現狀
ニ於キマシテ、其ノ點ニ十分ナ力ヲ致サネ
バナラスコトハ、御説ノ通りニ考ヘマス
デ、既ニ乳幼児ニ對シマシテハ、法規ニ依
ル強制デハアリマセヌケレドモ、任意のニ
其ノ検査竝ニ指導ヲ始メテ居リマスルコト
ハ、御承知ノ通りデゴザイマスガ、本法
ノ適用トシテノ強制検査ト云フコトニ付
キマシテハ、相手ガ何分赤ン坊ノコトデ
ゴザイマスシ、相當ノ準備、用意等ヲ要ス
ルノデゴザイマスノデ、成ベク速ニ之ニ著
手スルコトニ力ヲ注ギタイト考ヘテ居リマ
ス、産婆或ハ産師法案等ノコトニ付キマシ
テモ、洵ニ大切ナコトデゴザイマスノデ、
十分一ツ考究ヲサセテ戴キマス、此ノ調
査ヲ執行スルコトニ付テハ、醫師ノ奉仕的
ナ心ヲ持ツテスル、十分ナ協力ニ俟タネ
バナラスト云フ御意見ハ、洵ニ其ノ通りデ
アルト心得マス、醫師ト厚生當局ト對立狀
態ニアルカノ如キ御話デゴザイマシタガ、
左様ナコトデアツテハ、洵ニ相成ラスト考
ヘルノデアリマス、醫藥制度ノコトニ付キ
マシテハ、御承知ノ通りニ調査會ガ出來マ
シテ、醫藥制度ニ對スル全面的ナ調査ヲ進
行シテ參ツテ、今日ニ及ンデ居ルノデアリ
マスガ、マダ確定ノ答申ヲ得ル運ビニナツ
テ居ラナイノデアリマス、醫藥制度ノ最モ
大切ナ部分デアリ、且ツ難儀ナ問題デアリ
マスル點ハ、醫藥ノ公共性、公益性ガ、極
度ニ要求セラレマスル今日ニ於キマシテ、
醫藥ノ公共性、我國ニ傳統的ニ傳ツテ居リ

マス醫ノ道トノ間ニ、如何ナル調和ヲ見出
スカト云フコトニアルト思フノデアリマス、
此ノ兩方ガビツタリト結付クコトニ依リマ
シテ、我國獨自ノ特色ノアル醫藥制度ガ確
立出來ルト思フノデアリマス、調査會ノ答
申ヲ得マスル上ハ、政府ト致シマシテ十分
ナル方策ヲ講ジマシテ、施設ニ誤リナキヲ
期シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマ
ス
○副議長(田子一民君) 是ニテ質疑ハ終了
致シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員
ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス
○服部崎市君 本案ハ政府提出、國民優生
法案委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス
○副議長(田子一民君) 服部君ノ動議ニ御
異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メ
マス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ
○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ
提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、國民
優生法案ヲ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求
メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス
○副議長(田子一民君) 服部君ノ動議ニ御
異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メ
マス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、國民
優生法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員
長ノ報告ヲ求メマス——理事村松久義君

國民優生法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一國民優生法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノ
ト議決致候此段及報告候也
昭和十五年三月二十日
委員長 八木 逸郎

(別紙)

(小字及ハ委員會修正)

國民優生法案中左ノ通修正ス

第四條 前條ノ規定ニ依リ優生手術ヲ受

クルコトヲ得ル者ハ優生手術ノ申請ヲ
爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ本人配偶

者(届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係
ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム以下之ニ

同ジ)ヲ有スルトキハ其ノ配偶者ノ同

意ヲ、三十歳ニ達セザルトキ又ハ心

神耗弱者ナルトキハ其ノ家ニ在ル父母

(婚姻ニ依リ其ノ配偶者ノ家ニ入リタル

者ニ在リテハ其ノ配偶者ノ父母トス以

下之ニ同ジ)ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

前條ノ規定ニ依リ優生手術ヲ受クルコ

トヲ得ル者ハ心神喪失者ナルトキハ優生

手術ノ申請ハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ

家ニ在ル父母之ヲ爲スコトヲ得但シ本

人配偶者ヲ有スルトキハ其ノ配偶者及

其ノ家ニ在ル父母之ヲ爲スコトヲ得

第一項及前項但書ノ場合ニ於テ其ノ配

偶者知レザルトキ又ハ其ノ意思ヲ表示ス

ルコト能ハザルトキハ第一項ノ場合ニ

在リテハ其ノ家ニ在ル父母ノ同意ヲ以

テ配偶者ノ同意ニ代ヘ前項但書ノ場合

ニ在リテハ其ノ家ニ在ル父母ノミニテ

申請ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

前三項ノ規定ニ依リ其ノ家ニ在ル父母

ノ同意ヲ要ストセラレ又ハ其ノ家ニ在

ル父母ガ申請ヲ爲ス場合ニ於テ父母ノ

一方ガ知レザルトキ、死亡シタルトキ、

家ヲ去リタルトキ又ハ其ノ意思ヲ表示

スルコト能ハザルトキハ他ノ一方ノミ

ノ同意又ハ申請ヲ以テ足り父母共ニ知

レザルトキ、死亡シタルトキ、家ヲ去

リタルトキ又ハ其ノ意思ヲ表示スルコ

ト能ハザルトキハ後見人ノ、後見人知

レザルトキ、ナキトキ又ハ其ノ意思ヲ

表示スルコト能ハザルトキハ戸主ノ、

戸主知レザルトキ、未成年者ナルトキ

又ハ其ノ意思ヲ表示スルコト能ハザル

トキハ親族會ノ同意又ハ申請ヲ以テ父

母ノ同意又ハ申請ニ代フルモノトス但

シ後見人及親族會ハ第二項ノ規定ニ依

ル申請ヲ爲スコトヲ得ズ

第五條 第三條第一項ノ規定ニ依リ優生

手術ヲ受クルコトヲ得ル者ニ對シ監護

上ノ處置、保健上ノ指導又ハ診療ヲ爲

シタル精神病院法ニ依ル精神病院(同

法第七條ノ規定ニ依リ代用スル精神病

院ヲ含ム)若ハ保健所ノ長又ハ命令ヲ

以テ定ムル醫師ハ本人ノ同意ヲ得テ優

生手術ノ申請ヲ爲スコトヲ得此ノ場合

ニ於テ本人配偶者ヲ有スルトキハ其ノ

配偶者ノ同意ヲモ、三十歳ニ達セザ

ルトキ又ハ心神耗弱者ナルトキハ其ノ

家ニ在ル父母ノ同意ヲモ得ルコトヲ要

ス

前項ノ規定ニ依リ優生手術ノ申請ヲ爲

ス場合ニ於テ本人心神喪失者ナルトキ

ハ其ノ家ニ在ル父母ノ同意ヲ以テ本人

ノ同意ニ代フルモノトス
前條第三項及第四項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 優生手術ヲ行フベキモノト認ムル決定確定シタル場合ニ於テ本人妊娠中ナルトキハ第四條ノ規定ニ依リ優生手術ノ申請ヲ爲スコトヲ得ル者ハ同條ノ規定ニ依リ同意ヲ要ストセラレタル者ノ同意ヲ得テ其ノ決定ヲ爲シタル厚生大臣又ハ地方長官ニ對シ妊娠中絶ノ申請ヲ爲スコトヲ得

前項ノ申請ニ基キ厚生大臣又ハ地方長官妊娠中絶ヲ行フベキモノト決定シタルトキハ本人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ妊娠中絶ヲ受クベシ
前項ノ妊娠中絶ハ妊娠三月ヲ超ユルモノナル場合ニ於テハ之ヲ行フコトヲ得ズ
前條第二項及第三項ノ規定ハ第二項ノ妊娠中絶ニ之ヲ準用ス

第十四條 優生手術又ハ前條ノ妊娠中絶ニ關スル費用ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依ル
第十五條 故ナク生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ放射線照射ハ之ヲ行フコトヲ得ズ
第十六條 第十三條又ハ第十四條ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外醫師生殖ヲ不能ナラシムル手術若ハ放射線照射又ハ妊娠中絶ヲ行ハントスルトキハ豫メ其ノ要否ニ關スル他ノ醫師ノ意見ヲ聽取シ

且命令ノ定ムル所ニ依リ豫メ行政官廳ニ届出ヅベシ但シ特ニ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ届出アリタル場合ニ於テ行政官廳必要アリト認ムルトキハ其ノ指定シタル醫師ノ意見ヲ更ニ聽取セシムルコトヲ得
第一項但書ノ場合ニ於テ届出ヲ爲サズシテ生殖ヲ不能ナラシムル手術若ハ放射線照射又ハ妊娠中絶ヲ行ヒタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ニ届出ヅベシ

第十七條 優生手術ヲ受ケタル者婚姻セントスルトキハ相手方ノ要求ニ依リ優生手術ヲ受ケタル旨ヲ通知スベシ
第十八條 第十六條ノ規定ニ違反シ生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ放射線照射ヲ行ヒタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第十九條 中央優生審査會及地方優生審査會ノ委員若ハ委員タリシ者又ハ優生手術若ハ第十四條ノ妊娠中絶ニ關スル審査若ハ施行ノ事務ニ從事シ若ハ從事シタル公務員若ハ公務員タリシ者故ナク其ノ職務上取扱ヒタルコトニ付知得シタル人ノ祕密ヲ漏泄シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
第二十條 前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ズ

第二十一條 第十七條第一項又ハ第三項ノ規定ニ違反シ届出ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

處ス

附帶決議

強度ナル酒精中毒者ニ對シ優生手術ヲ爲スノ可否ニ付政府ハ速ニ權威アル調査機關ヲ設ケ調査スベシ
〔村松久義君登壇〕

○村松久義君 只今上程ノ國民優生法案委員會ノ經過及ビ結果ニ付委員長ニ代ツテ御報告申上ゲマス
本委員會ハ去ル十三日開會ヲ致シ、委員長及理事ノ互選ヲ行ヒマシタ結果、委員長ニ八木逸郎君、理事ニ村松久義、伊藤東一郎君、泉國三郎君、中野寅吉君ガ御當選ニナリマシタ、後ニ泉國三郎君ノ辭任ニ依リマシテ、江原三郎君ガ當選セラレタルデアリマス、委員會ヲ開キマスコト七回、其ノ間概ネ午前十時ヨリ午後六時、七時マデ熱心ニ各委員諸君ノ御質疑ガアリ、又政府ノ答辯ガアツタノデアリマス、極メテ簡單ニ其ノ質疑應答ノ要領ヲ申上ゲマス、第一點ハ本法案ハ子種ヲ絶ツコトニナル、是ハ祖先ノ祭祀ヲ重ンズル我國ノ家族制度ニ違反スル所ガアルノデハナイカト云フ點、第二點ハ將來ノ醫學ノ進歩ニ依ツテ、精神病者ノ如キ遺傳病ハ治療ガ可能ニナルカモ知レヌノデアツテ、サウナレバ優生手術ノ如キハ不要ニナルノデハナイカ、又現在ニ於テモ相當程度マデ治療ガ可能ナルヤウニ思フガ、斯ル治療可能ナル疾患ニ對シテ優生手術ヲ施スト云フコトハ殘酷デハナイカト云フ點デアリマス、第三ハ精神病ノ如キ遺傳病ト云ヒマシテモ、是ハ環境ノ變化ニ依ツテ起ルノデアルカラシテ、環境ヲ變ヘルコトニ依ツテ、就中酒害ノ防止ヲスルコトニ依ツテ、遺傳病ノ防止ガ出來ルノデハ

ナイカト云フ點デアリマス、第四點ハ本法案ノ第三條ニ掲ゲラレマシタル各疾患ニ付テ、確實ニ遺傳スルト云フ根據ガアルカドウカト云フ點デアリマス、第五點ハ收容施設ヲ充實スレバ、優生手術ノ如キハ必要ハナクナルノデアルカラ、先ヅ收容施設ヲ擴充スル必要ガアルニモ拘ラズ、此ノ方法ヲ採ラズシテ、直チニ優生手術ヲ施スト云フコトハ順序ガ違フノデハナイカト云フ點デアリマス、第六點ハ本法案ノ如キ方法ヲ採ルモ、其ノ效果ハ極メテ薄イノデハナイカ、斯ノ如キ效果ノ薄イ方法ニ力ヲ入レルヨリモ、環境改善ノ方ニ努力シタ方ガ宜イデハナイカト云フ點デアリマス、第七點ハ本法案ハ消極的の方策トシテ必要デアルカモ知レナイガ、積極的ニ健全人口ヲ増加サセル爲ニハ、結核、花柳病、癩、下痢腸炎等ニ政府ハモツト力ヲ盡スベキモノデハナイカ、第八點ハ優生手術ヲ受ケタルコトハ、秘密ト云フコトニナツテ居ルガ、結婚ニ際シテ、相手方ガ、其ノ事ヲ知ラズシテ、普通ノ人フ如クニ生殖能力ガアルモノト信ジテ婚姻シタ場合ニハ、極メテ不都合ナコトガ起ルノデハナイカ、第九點ハ優生手術ヲ受ケタル場合ニ、性慾ヲ或ハ昂進セシメ、或ハ減退セシメルヤウナ惡影響ハナイカ、第十點ハ本法案ノ第十四條ニ規定スル妊娠中絶ハ、苟モ一タビ生命ヲ享ケタ者デアリ、且ツ其ノ者ガ百パーセントノ疾患者タルコトノ證明ノ付カヌ限り、少シ行過ギデハナイカトスル點デアリマス、更ニ委員會外ノ議員ヨリ、本案ノ第三條ニ該當スル疾患ハソレレノ病名ヲ列舉スベキデハナイカ、精神病ノヤウナモノハ遺傳病ナリト斷言スルコトハ出來ナイノデハナイカ、其

ノ他ニ付テモ質疑ガアリマシタガ、是ハ省略致シマス

政府ノ之ニ對スル答辯ハ、第一ノ家族制度ニ關シマスル點ニ付テハ、優生手術ハ家族ノ中、該當疾患ニ罹ツタ者ニノミ施スノデアツテ、其ノ患者ノ家族全部ニ施スノデハナイカラ、其ノ家ノ血統ヲ絶ツ虞ハナイ、現行民法ニ於テモ既ニ斯ル患者ニ對シテハ、廢嫡ノ制度ヲ認メテ居リ、又別ニ養子制度モアル次第デアツテ、決シテ家族制度ニ反スルモノデナイトノ答辯ガアリマシタ、第二ノ治療可能ナル者ニハ、優生手術ハ不要デアリカト云フ點ニ對シマシタハ、容易ニ治療可能ナル者ハ除外シテ、現在ノ醫學ヲ以テハ殆ド治療困難ナル者ニ對シテノミ適用スル方針デアリ、又治療ニ依ツテ症狀ハ鎮靜スルカモ知レヌケレドモ、病氣ノ根源デアリ遺傳素質其ノモノニ對シテハ、何等ノ改善ヲモ爲スコトハ出來ナイトノ答辯ガアリマシタ、第三ノ環境改善デ足リルデハナイカト云フ點ニ對シマシタハ、遺傳病ノ發病ハ、環境ノ影響モ勿論アルケレドモ、其ノ根源ハ人間ノ遺傳素質ニアルノデアリカラ、此ノ根源ヲ除ク爲ニハ、優生手術以外ニ根本的ノ方法ガナイト云フ答辯ガアリマシタ、第四ノ遺傳ヲ認ムル根據ト云フ點ニ對シテハ、最近ニ於テ遺傳學ハ大イニ進歩シテ居リ、各疾患ノ發病率ニ付テハ外國ノ研究ノミナラズ、厚生省ニ於テ行ツタ全國三千ノ精神病者家系調査ノ結果ヲ資料トシテ提出サレタノデアリマス、第五ノ收容施設ヲ充實スベシト云フ點ニ對シマシテハ、勿論今後其ノ點ニ十分ノ力ヲ盡スケレドモ、本制度ヲ伴ハナケレバ遺傳病防止ニハ十分デアルト云フ答辯ガアリマシタ

タ、第六ノ效果ノ少イデハナイカト云フ點ニ對シマシテハ、短日月ニ非常ナ效果ヲ擧ゲルコトハ難カシイカモ知レナイケレドモ、他ノ施設トモ相俟ツテ國家將來ノ發展ノ爲、十分ナ效果ガアルトノ答辯ガアリマシタ、第七ノ結核、花柳病、癩、下痢腸炎等ニ對スル施設ヲ充實スベシト云フ點ニ對シマシテハ、政府トシテハ本年ノ豫算ニモ相當計上サレテ居ルケレドモ、今後大イニ努力スルトノ答辯ガアリマシタ

テ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス
以上ニ依ツテ昨日質疑ヲ終了シ、本日委員會ヲ開キマシテ討論ニ入ツタノデアリマス、先ヅ江原三郎君ヨリ次ノヤウナ修正ノ動議ガ出タノデアリマス、之ヲ朗讀致シマス
第四條第一項及第五條第一項中「二十五歲ヲ三十歲」ニ改ム
第十四條ヲ削ル
第十五條ヲ第十四條ニ改メ同條中「又ハ前條ノ妊娠中絶ヲ削ル
第十六條ヲ第十五條ニ改ム
第十七條ヲ第十六條ニ改メ同條第一項中「又ハ第十四條ヲ削ル
第十七條優生手術ヲ受ケタル者婚姻センストスルキハ相手方ノ要求ニ依リ優生手術ヲ受ケタル旨ヲ通知スベシ
第十八條中「第十六條」ヲ「第十五條」ニ改ム
第十九條第一項中「若ハ第十四條ノ妊娠中絶ヲ削ル
第二十條中「第十七條第一項又ハ第三項」ヲ「第十六條第一項又ハ第三項」ニ改ム
之ニ對シマシテ村松久義、山川頼三郎君、中野寅吉君、杉山元治郎君ヨリソレ、各所屬黨派ヲ代表致シマシテ、贊成ノ意見ヲ述ベラレタノデアリマス、尙ホ杉山元治郎君ヨリハ五點ノ希望條件ガアリマシタ、斯クシテ採決ノ結果、修正案並ニ修正案ヲ除キマシタル政府原案ハ、全會一致ヲ以テ議決セラレタノデアリマス、政府ハ此ノ際發言ヲ求メラレマシテ、此ノ修正案ニ對シテハ十分尊重スル旨ノ發言ガアツタノデアリマス、尙ホ杉山元治郎君ヨリ次ノヤウナ附帶決議ガ提案セラレタノデアリマス

附帶決議
強度ナル酒精中毒者ニ對シ優生手術ヲ爲スノ可否ニ付政府ハ速カニ權威アル調査機關ヲ設ケ調査スヘシ
此ノ附帶決議ハ採決ノ結果、多數ヲ以テ可決セラレタノデアリマス、以上御報告申上ゲマス(拍手)
○副議長(田子「民君」) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(田子「民君」) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○服部崎市君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通知可決セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(田子「民君」) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(田子「民君」) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
國民優生法案 第二讀會(確定議)
○副議長(田子「民君」) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通知確定致シマシタ(拍手)
○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際町田忠治君外五十八名提出、決議案、食糧確保ニ關スル件、右議題ト爲シ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス
○副議長(田子「民君」) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、決議案、食糧確保ニ關スル件ヲ議題ト致シマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——提出者岡本實太郎君

決議案(食糧確保ニ關スル件)(町田忠治君外九十八名提出)

決議

食糧生産ヲ増進シ需給ノ均衡ヲ確保スルハ刻下ノ要務ナリ政府ハ速ニ左記ノ要項ヲ實施シ戰時食糧問題ノ根本的解決ヲ圖ルヘシ

一 米穀其ノ他食糧ノ生産ヲ増進シ其ノ配給ノ機構ヲ整備シ以テ食糧不安ヲ一掃スルコト

二 肥料、飼料、燃料其ノ他農林漁業ノ生産ニ必要ナル資材ハ他ノ有ニル物資ニ優先シテ之ヲ確保シ其ノ配給ヲ圓滑ニシ且取引ノ公正ヲ圖ルコト

三 農林漁業努力ノ確保並生産指導機關ノ充實ヲ期スルコト

四 部落團體ノ活動ヲ促進スル爲其ノ機構ヲ整備シ助成金ノ交付其ノ他必要ナル方策ヲ講スルコト

五 西日本並朝鮮ニ於ケル旱害ノ救済及恒久對策ニ關シ徹底の方策ヲ講スルコト

右決議ス

〔岡本實太郎君登壇〕

○岡本實太郎君 私ハ只今茲ニ上程セラレマシタ各派共同ノ提案ニ係ル食糧確保ニ關スル決議案ノ趣旨ヲ説明致シマス、與ヘラレタル時間モ僅ニ二十分、而モ本會議、關

係ノ委員會等ニ於テ屢、其ノ内容ニ付テハ論ゼラレマシタカラ、大體ソチヲ方デ御諒解ト存ジマスルガ故ニ、極メテ簡單ニ説明ヲ致シマス、先ヅ決議案ノ朗讀ヲ致シマス

決議

食糧生産ヲ増進シ需給ノ均衡ヲ確保スルハ刻下ノ要務ナリ政府ハ速ニ左記ノ要項ヲ實施シ戰時食糧問題ノ根本的解決ヲ圖ルヘシ

一 米穀其ノ他食糧ノ生産ヲ増進シ其ノ配給ノ機構ヲ整備シ以テ食糧不安ヲ一掃スルコト

二 肥料、飼料、燃料其ノ他農林漁業ノ生産ニ必要ナル資材ハ他ノ有ニル物資ニ優先シテ之ヲ確保シ其ノ配給ヲ圓滑ニシ且取引ノ公正ヲ圖ルコト

三 農林漁業努力ノ確保並生産指導機關ノ充實ヲ期スルコト

四 部落團體ノ活動ヲ促進スル爲其ノ機構ヲ整備シ助成金ノ交付其ノ他必要ナル方策ヲ講スルコト

五 西日本並朝鮮ニ於ケル旱害ノ救済及恒久對策ニ關シ徹底の方策ヲ講スルコト

右決議ス

戰時體制下ニ於キマシテ食糧ノ確保ガ絶對的必要ナルコトハ今更ニ更々スルマデモアリマセズ、食糧ハ平時ニ於テ缺クベカラザルモノデアアルノミナラズ、特ニ近代ノ戰時ニ於キマシテハ、最後ノ決勝權ヲ握ル重要ナル兵器デアアルト云フモノ洵ニ至言デアアルト思ハレマス、而シテ我國ハ幸ヒ食糧ハ豐カデアリマシテ、如何ニ長期ニ戰争ガ瓦ルトモ、食糧タケハ事缺カナイ、何等顧慮スル所ナイト思ウテ居ツタ所ガ、昨年ノ秋新穀出廻期

ニ際シテ一時需給ノ均衡ヲ失ヒマシテ、窮迫シタ状態ヲ現ハシマシテ、漸ク懸念スルニ至ツテ來タノデアリマス、是ハ西日本及ビ南朝鮮地方ニ於ケル異常ナル旱害ト云フコトガ、從來ノ配給系統ヲ紊シテ、是ガ爲

ニ窮迫状態ヲ來シタト云フコトガ、一ツノ原因デアリマスルガ、爾ク單純ニ論過ハ出來ナイト思フノデアリマス、畢竟其ノ主要ナル原因ハ配給機構ガ不整備デアアルト同時ニ、消費ノ増加ト云フモノガ存外多カツタト云フコトヲ想ハザルヲ得ナイノデアリマス

〔副議長退席、議長著席〕

御承知ノ通り戰時事變ニ際シマスレバ、米ノ消費ハ存外多額ニ上ルモノデアリマス、今試ニ農林省ノ米穀要覽ヲ見マシテモ、彼ノ日露戰争前ノ五年平均消費量ハ四千四百萬石デアツタノデアリマスガ、其ノ戰争ノ始ツタ明治三十七年ハ九百萬石ヲ増加シテ五千三百萬石ニ達シ、其ノ翌年ノ明治三十八年ハ五百萬石ヲ増加シテ五千八百六十萬石ニ達シマシタ、戰前ノ四千四百萬石ニ對シテ千四百萬石モ消費ノ増加シテ居ルコトガ現ハレテ居リマス、歐洲戰争ノ當時ニ於キマシテモ需要ガ激増シテ、其ノ末期ノ大正八年ニハ價格ガ暴騰シ、是ガ爲ニ面白カラヌ事態ヲ生ジタコトガアリマス斯ウ云フ状態デアアル所ニ、今回ハ加フルニ雜穀高デアアル、米ガ割安デアアルト云フ所カラ、益、消費ヲ米ニ集中セシメマシタ、又飼料ガ不足ノ爲ニ、牛馬或ハ豚、鶏ナドガ、人間ノ食糧ニマデ侵入シテ來タノデアリマス、更ニ尙ホ考ヘル所、農漁村ハ食糧ノ生産地デアアルト共ニ最モ大キナ消費地デアリマス、其ノ農村ノ子弟ハ驅ツテ軍需工場ニ赴キ、

其ノ他都市ニ趨ルモノガ多クテ、是等ガ皆米食トナツタノデアリマス、今マデ雜穀ヤ混食シテ居ル者モ、米ガ割安ト云フ爲ニ米食ニ變更シタノモノナリ大キナ關係ガアルト思ヒマス、加之近頃農村ノ金廻リガ稍、潤澤ニナツタト云フガ爲ニ、從來物納デサレタ小作米ガ、金銭ニ換算サレテ納メラレルモノガ多イト聞イテ居リマス、是ガ爲ニ地主ハ賣ルノニモ米ハ少ク、又小作ハ反對ニ米ヲ所持シテ居ルコトガ多イト云フ現象ガ出テ來タノデアリマス、小作ノ農業者ガ米ヲ庭先ニ積ンデ越年スルコトハ、如何ニ愉快ナルモノデアリマセウカ、更ニ米價ノ先高ヲ見越シテ居リマシテ、春或ハ夏ニ至ルマデ庭先ニ米ヲ積ンデ居ルコト云フコトハ、此ノ心理状態ハ察スルニ餘リアリマス、斯クシテ小作者ノ庭先ニ多ク米ヲ積マレバ、自然消費ニ向ヒマス、斯ウ云フ事情ガ重ツテ、農村ニ於テ著シク需要ノ増加シタト云フ事情ガアルト思ヒマス、都會地モ亦此ノ戰時景氣デ、米ノ消費ヲ確ニ増加致シテ居リマス、斯ウ云フ次第デ、消費ノ増加ト云フノガ正確ナ統計ニ表ハセマセウガ、思ウタヨリ存外大ニ及ンデ居ルト思ヒマス、政府ガ此ノ議會ニ於テ聲明致シマシタ米ノ需給推算、之ヲ見マスルト、持越米ガ四百七十三萬石、十五年度ノ生産ガ九千四百萬石、内譯致シマス、内地ガ六千九百六十萬石、朝鮮ガ千四百三十萬石、臺灣ガ一千万石、之ニ對シテ消費ガ凡ソ一億萬石、内譯ガ内地七千九百五十萬石、朝鮮ガ千五百三十萬石、臺灣ガ五百萬石ト云ヒマス、此ノ中デ、節米サレルモノガ六百萬石ト申シテ居リマス、之ヲ差引キマス、消費ト生産ガ一杯、此ノ節米ガ果シテ六百萬石アレバ、

茲ニ翌年ヘノ持越期ニ——端境期ニ四五百万石アルト云フノ言ハレル所デアリマス

ガ、此ノ消費ノ數量ガ果シテ當ツテ居ルカ否カト云フコトハ、頻ル疑問ガアリマス、又節米ノ内容ヲ聞ケバ、酒米ニ二百万石、代用食、混食等デ二百三十万石、七分搗ノ百六十万石、合セテ六百万石ト申シマスガ、果シテ是ガ可能デアルカドウカ、是モ疑ナキ能ハズデアリマス、斯様ナ風デ消費ノ推算ガ誤ツテ居ツタナラバ、或ハ節米ガ思フヤウニ出来ナカッタナラバ、端境期ニ至ツテハ懸念ヲシナケレバナラスト云フ實情ニアルノデアリマス、是ニ於テカ此ノ需給ノ調節ヲ致シマスノニハ、生産ノ増加ト輸入ノ増加ノ此ノ二ツノ外ハアリマセヌ、而モ輸入ハドウカト申セバ、備荒ノ貯蓄ニ先ヅ止メルト云フ積リデナケレバナリマセヌカラ、一ニ生産ノ増加ト云フコトニ必至ニ力ヲ入レナケレバナリマセヌ、主要食物ノ米ハ勿論、麥其ノ他ノ雜穀、水産物等ニ於テモ、總テ此ノ生産擴充増加ト云フコトガ最モ必要デ、食糧ダケハ何トシテモ確保セナケレバナラスト思フノデアリマス(ヒヤヒヤ)更ニ軍需其ノ他ノ工業物資ニ付キマシテハ、物動計畫ガアリマシテ、既ニ整然タル企畫ノ下ニ需給ノ調節ヲ圖ツテ居リマスルガ、遺憾ナガラ此ノ食糧ニ付テハマダ何等物動ノ計畫ガアリマセヌ、俗言デハアリマスルガ、腹ガ空ツテハ戰ガ出来マセヌ、簡單ナ言葉デモ名言ナリト思ヒマス、食糧ハ如何ナル物資ヨリモ必要デアリマスガ故ニ、如何ナル物資ニモ優先シテ之ヲ確保シナケレバナライ、故ニ物動計畫ニ之ヲ編入シテ、確乎不動ノ計畫ヲ立テルト云フコトハ、急務中ノ急務ナリト言ハナケレバナ

リマセヌ

斯ウ云フ次第デ、食糧ノ増産ハ必要デアリマスガ、此ノ増産ハ資材ノ配給ト努力ト云フコトガ十分デナケレバナラスガ、是ガ頗ル懸念ニ堪ヘナイノデアリマス、御承知ノ通り無機質ノ肥料ハ、其ノ製造ニ當ツテ電力ガ不足シ、石炭ハ粗悪ニナリ、而モ電力ノ配給ノ如キハ亂調子デアルト云フガ爲ニ、其ノ生産能力ヲ妨ゲルコト夥シイ、其ノ主タル硫安ダケデモ、二百万瓩ハ必要ナリト云フノニ、百五十万瓩位シカ出来ナリ、米麥重點主義ト言ハレテ、尙且ツ無機質肥料ノ配給ハ八割ニ足リナイ、其ノ他ノモノニ至ツテハ六割ト云フコトガ、是ガ政府ノ計畫デアリマス、是ガ果シテ實行出来ルカドウカト云フコトハ、既ニ大イナル疑問ガアリ、懸念ガアルノデアリマス、有機質肥料ノ中デ魚肥ノ如キハ、今マデ何等ノ統制モナイ、價格ハ暴騰シ、其ノ上ニ品不足ガ甚シイノデアリマス、但シ大豆粕ハ最近統計ヲサレテ、會社モ作ラレマスガ、滿洲カラノ輸入ハ時期ヲ逸スル爲ニ、兎角供給ガ不十分デアルト云フ現狀デアリマス、既ニ斯ウ云フ風ニシテ不足シタ肥料デアリマスカラ、其ノ配給ハ益々憂フベキ狀態デアリマス、御承知ノ通り時期ヲ逸スルガ爲ニ、現ニ麥蒔ノ時ニハ肥料ガナクシテ素蒔ヲシテ居リ、根肥ヲ爲サズシテ蒔イテ居ルト云フ地方ガ多クアルト承ツテ居リマス、斯様ナ事情デ無機質ノ肥料ハ昨年八月カラ既ニ割當ヲ行ハレテ居リマスガ、産業組合系統ト商人系統トノ間ニ互ツテ、兎角紛議ガ各所ニ出来易ク、政府ノ指導方針モ徹底シナイ、徒ニ現狀ヲ糊塗スルガ如キ實情デアリマスカラ、供給ノ圓滿ヲ缺クト云フコトハ洵

ニ憂フベキコトデアリマス、昨日此ノ本會議決可決セラレマシタ日本肥料株式會社ノ設立モアリマス、願クバ斯ウ云フ會社ノ圓滿ナル執業ニ依ツテ、完全ナル成績ヲ得タイト吾々ハ祈ル所デアリマス

更ニ飼料デアリマスガ、此ノ飼料モ亦不足ガ甚シク、價格ノ暴騰ハ畜産界ニ非常ナ影響ヲ與ヘルモノガアリマス、昨年ノ九・一八ノ價格ヲ以テシテハ、實際手ニ入レルコトガ出来ナイ、九・一八當時ノ價格ガ、既ニ前年ニ比シテ三割、四割ノ騰貴ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、九・一八ノ價格デハ到底採算ガ出来ナイト云フコトデ、製造ヲ中止スル者ガ多イノデアリマス、輸入ハ激減シテ居リマス、斯クシテ穀、米糠ニ至ルマデ不足ガ甚シイノデゴザイマス、斯ウナルト各縣ニ「ブロック」ガ出来テ、他縣ニ移出スルコトヲ止メル、遂ニ闇取引トナリ、或ハ賣惜、買溜トナツテ、品物が偏在スルコトトナツテ、未曾有ノ品不足ヲ來シテ居リマス、斯様ナ狀態デアルガ故ニ、遂ニ人間ノ食料ノ糲ヲ與ヘ、麥ヲ與ヘ、玄米ヲスラ與ヘルト云フヤウナ實情ニナツテ居ルノデアリマス、斯様ナ實情デアリマスガ故ニ、遂ニ之ヲ處分スル者ガ續出シ、牛ハ搾乳ガ不能トナリ、鶏ハ産卵中ノモノマデモ淘汰シナケレバナラス、加フルニ價格政策ガ徹底シマセヌ、本日發表ニナリマシタヤウデスガ、昨日マデノ卵價デハ不引合デアアル、飼料高ニ對シテ收支ガ價ハナイト云フ爲ニ、鶏ノ如キハ三割乃至四割減ジテ居ルト云フコトデ、畜産界ニ異常ナ狀態ヲ來スコト洵ニ恐ルベキモノデアリマス、生キテ居ルモノデ、口ガ付イテ居ルダケニ厄介ガ多イノデアリマス、飼料、肥料、食料、此ノ三ツ

ノ相互ノ關係ハ、最モ密接デアルト云フコトハ御承知ノ通りデ、飼料ガ不足シマスレバ肉類ヤ卵ガ減リマシテ、食料ガ減リマシテ、食料ガ減ズルノミナラズ、牛ヤ馬ハ厩肥ガ少クナリマス、此ノ額モ存外多量ダト思ヒマス、鶏糞ノ肥料ダケデ年五六千万圓ト申シテ居リマス、其ノ效果率カラ言ツタナラバ、一億ニモ達スルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ精算シマシタナラバ、肥料、飼料、食料ノ三ツハ、必至ナ關係デアリマシテ、私ガ思ヒマス所デハ、有機質ノ肥料ノ如キハ、一度畜類ノ腹ハ必ズ通シテヤツタナラバ、非常ナ效果ヲ現ハスモノデアルト思フノデアリス、斯ウ云フ飼料ハ供給ガ足リマセヌ、足リマセヌガ故ニ、國外カラ輸入ヲ仰ガナケレバナラス、飼料ノ如キ假ニ十五万瓩、格價デ二千万圓、輸入ヲ増シテモ、是ガ爲ニ肉ヤ卵デ千四百五百万圓近ク外國ヘ輸出ガ出来マス、更ニ肥料ヲ補フ點カラ言ツタナラバ、十分「カバ」ガ出来ル、而モ出征將士或ハ國民全體ノ榮養食ニハ頗ル多大ナル貢獻ガアルノデアリマス

更ニ燃料デアリマス、御承知ノ通り石油ノ不足ト云フコトハ、農耕、灌漑、水利或ハ、驅蟲、脱穀等ノ農業操作ニ障礙ガアルノミナラズ、漁村デハ盛漁期ニ、魚ノ大群ヲ目ノ前ニ目撃シナガラ、出漁ガ出来ナイト云フヤウナ事情デアリマシタ、更ニ電燈ノ設備ノ無イ地方ノ僻陬ノ部落ニアツテハ、夜間點燈スラ出来ナイ、是ガ爲ニ空シク勞力ヲ遊バス、生産ヲ妨ゲルト云フヤウナコトガ多イト聞イテ居ル、洵ニ悲慘ナリト言ハナケレバナリマセヌ、或ハ「カーバイド」ノ無イ爲ニ、漁業ガ出来ナイト云フコ

トヲ常ニ聞イテ居リマス、特ニ水産ノ方デハ、漁網「ロープ」ノ不足ガ、水産ヲ危殆ニ陥ラシメルトシテ非常ナ心配ガアリ、或ハ「セメント」ノ不足ハ溜池ヤ用水、惡水路ノ修築ガ出來ナイト農村デハ憂ヘテ居ル、其ノ外地下足袋、農機具、護謄靴、防水蓑、軍手等ノ作業用被服類、是等ノ品ガ足りナイコトモ、生産維持ニ妨ゲアルノデアリマス、是等ノ品ノ不足ノ爲ニ、賣惜、買溜ニ依ル偏在トナリ、配給不圓滿ナルト云フコトヲ防禦スルガ爲ニハ、一括シマシテ之ヲ生産者ノ團體ニ任セナケレバ、到底配給ガ出來ナイト思ヒマス、斯ノ如クシテ食糧ノ生産ガ殖エルコトハ倍テ措キ、減ルト云フコトスラ憂ヘテ居ルガ爲ニ、如何ナルモノモ先ダツテ、露骨ニ言フナラバ、端的ニ言フナラバ、軍需品ニモ先ダツテ、斯ウ云フ物資ハ供給シテ貰ハナケレバナライ、サウシテ食糧ダケハ何トシテモ確保シテ貰ハナケレバナライト思フノデアリマス、又勞力モ御承知ノ通り近頃憂フベキ状態デアリマス、此ノ生産ニ當ル農村ニ於テハ、多數ノ血氣ナル青年ハ第一線ニ赴キ、或ハ都市ニ赴キ、殘ルハ老幼婦女子等ガ多イノデアリマス、能率ヲ妨ゲルコトハ頗ル多イ、是モ何トカ調整シナケレバナラス、幸ヒ隣保共助ハ農村ノ最モ美德デアリマスカラ、之ヲ善用シテ部落團體ヲ活動セシメテ、協同作業ヲ獎勵シテ、其ノ效果ヲ擧ゲルコトニ努メナケレバナライ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ、農林省ニ於キマシテモ、農林計畫委員會デ著々研究セラレ、或ハ内輪ヲ申セバ、生産計畫部、肥料配給統制部、資材配給統制部、勞力調整部、是等ヲ設ケテ著々研究ハ致シ

テ居ルノデアリマスガ、倍テ實際ヲ見マスト、本年ノ目的トスル米ノ四百萬石、麥ノ二百萬石ノ増産ト云フコトハ、果シテ出來ルカドウカト云フコトヲ頗ル憂ヘテ居リマス、更ニ農産物ノ増産ハ、何ト云ツテモ價格ニアル、價格ガ安クテ不引合ナラバ作りマセヌガ故ニ、適正價格ヲ速ニ定メラレマシテ、サウシテ作ツテ引合フコトガ出來ルト云フ所マデ、適正ナル價格ガ定メラレナケレバ、到底其ノ必要ヲ滿スコトハ出來ナイト考ヘテ居リマス、斯様ニシテ生産サレタ食糧品ハ、更ニ配給ノ點ニ於テハ、一層注意ヲサレルコトガ必要デアルト吾々ハ考ヘルノデアリマス、集荷ハ生産ノ團體ニ任シ、配給ハ商人團體ニ任スト云フ風ニ、各系統ヲ立テテ、中央、地方ヲ通ジテノ組織アル計畫ノ下ニ、能ク配給サレナケレバ、又昨年ノ秋ノ如キ心配ガ生ゼザルヤト憂ヘルノデアリマス(拍手)西日本及ビ朝鮮ニ於ケル旱害ハ、洵ニ慘事デアリマス、政府ハ第二豫備金ヲ使ヒ、又此ノ議會ニ於テ既ニ追加豫算或ハ本豫算等ヲ出サレマシテ、相當努メラレテハ居リマスルガ、尙ホ微温的ノ感ガアリマスガ故ニ、一層此ノ地方ニ付テハ、救済ヲスル外、將來斯ウ云フ旱魃ガアリマシテモ、困ラナイト云フヤウナ施設ヲ、完備セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、斯様ニシテ又食糧ノ補充ニ付テ、早場米ノ獎勵トカ、或ハ臺灣ノ如キ一期作米ヲ獎勵スルト云フコト、或ハ馬鈴薯ヲ多ク作ラスト云フヤウナコトデ、勞力、肥料等ノ少イノヲ作リテ、埋メナケレバナラスト思ヒマス

更ニ一言附加ヘマス、是等ノコトニ當ツテ總テ實行ニ任ズルノハ、何ト云ツテモ最下級ノ團體ノ農村ノ部落デアリマシテ、政府ノ趣旨ヲ能ク體シテ、此ノ任ニ當ツテ貰ハナケレバナラス、戰時態勢ノ強化ハ、農村ニ在ツテハ部落團體ナリト私ハ思フノデアリマス、之ヲ中心トシナケレバ、其ノ目的ハ達セラレマセヌ、ダカラ其ノ活動ヲ促進シナケレバナライ、努メテ助長シナケレバナリマセヌ、前年來助成金モアリマサガ、洵ニ僅デ、雀ノ涙トモ言フベキモノデアリマス、之ニ對シテ三萬五千五百萬ノ金ハ出サレマシテモ、其ノ貢獻スル所ハドレダケアルカ、實ニ多大ナモノガアルト思ヒマスガ故ニ、之ヲ惜マズ部落團體ノ活動ニ資スト共ニ、他面農會法ヲ改正サレマシテ、部落農會ノ一員トスルコトヲ認メラレマシタガ、進ンデハ部落團體ガ一人格ヲ持ツテ、活動ノ第一線ノ根柢ニアルト云フ所マデナサレンコトヲ切ニ希望シ、殊ニ助成金ノ如キハ、ウント増シテ戴キタイト思フノデアリマス

惟フニ戰時統制經濟ハ、自由經濟ニ依ル無駄ヲ省キマシテ、最小ノ資金デ最小ノ勞力ヲ以テ、國家ノ必要トスル物資ヲ成ベク澤山ニ作ルト云フコトガ本來ノ趣旨デアリマス、故ニ國家ノ必要トスル物ハ、大所高所カラ見マシテ、軍需タルト民需タルヲ問ハズ、最モ必要ナル物資ヲ多量ニ生産スルト云フコトデナケレバナリマセヌ、斯クシテ經濟力ヲ益、強化シテ、國民ニ不安ヲカシメナケレバナリマセヌ、食糧ハ如何ナル物資ヨリモ之ヲ必要トスルノデアリマス、是ガ不足スルヤウデハ、銃前銃後共ニ不安ガ甚シイガ故ニ、是ハ十分確保シテ戴カナケレバナラス、物資ノ不足スル所ニ惡性「インフレーション」ガ出マス、物資ガ豐デアレバ、「インフレーション」ハ生ジナイト私ハ斷ジマス、此ノ趣旨ヲ以テ、農林水産物ノ食料品ハ努メテ確保セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、是ガ此ノ決議案ヲ提出スル趣旨デアリマス、之ヲ行フノハ相當ノ費用ガ掛リマスガ、政府ハ追加豫算モ相當見積ラレマシテ、努力シテ居ラレルト云フコトハ認メマスガ、尙ホ十分遺憾ナカラシコトヲ希望スル次第デアリマス(拍手)

○議長(小山松壽) 是ヨリ討論ニ入りマス、通告順ニ依リ發言ヲ許シマス——篠原義政君

〔篠原義政君登壇〕

○篠原義政君 私ハ只今議題トナツテ居リマス食糧生産確保ニ關スル決議案ニ賛成シ、食糧ノ生産ヲ増進シ、其ノ必要量ヲ確保スル爲、其ノ施設ニ遺憾ナキヲ期スルヤウ強ク政府ニ要求セントスル者デアリマス、事變以來各種ノ物資ニ不足ヲ來スニ至リマシタガ、食糧ニ關シマスル限り自給自足ヲ爲シ、國民生活ノ安定ヲ維持シテ參リマシタコトハ、何ト申シマシテモ我國ニ取ツテ最モ大キナ強味デアツタノデアリマス、然ルニ昨年中國、九州ニ旱害ガアリ、殊ニ朝鮮ニ於ケル旱害ハ實ニ未曾有ト稱セラレル慘害デアリマシテ、是等被害ニ因ル減收ハ著シク米穀市場ヲ惡化セシメマシテ、昨年ノ端境期ニ於キマシテハ食糧不安ヲサハ感ゼシムルニ至リマシタコトハ、洵ニ残念至極ニ存ズル次第デアリマス、爾來政府ハ其ノ善後策ニ付キマシテ諸種ノ方策ヲ講ゼラレ、今日ニ於キマシテハ、食糧ニ關スル不安氣分ハ大體一掃サレルニ至ツタヤウデアリマスガ、併シ今後ニ於ケル需給ノ圓滑ヲ期シマス爲ニモ、更ニ明年度ニ於ケル供給

ノ確保ヲ期シマス爲ニハ、本年度ニ於ケル各種食糧農林水産物ニ關シマシテ、其ノ増産ヲ圖リ、供給力ニ不足ナカシムルノ要アルハ申スマデモアリマセヌ、昭和十五年度ニ於ケル食糧ノ生産ニ關スル政府ノ目論見ヲ檢討シテ見マスルト、農産物ノ主ナルモノニ付テ申シマス、米穀七千万石、小麦一千三百萬石、大麦、裸麥一千三百三十萬石、甘藷、馬鈴薯十九億貫デアリマス、平年作ニ比シマシテ、米ハ約八百万石、小麦約三百五十萬石、大麦、裸麥約十萬石、甘藷、馬鈴薯四億貫ノソレ、増産ヲ圖ラントシツツアルノデアリマス、水産物ニ付キマシテハ、約二千二百四十萬貫ノ増産計畫ガアルノデアリマスガ、水産物ハ舊ニ國民食糧トシテ重要デアルバカリデナク、事變勃發以來、殊ニ歐洲戰爭以來、其ノ輸出ハ益々増加シテ參リマシテ、昨年ハ遂ニ二億圓ヲ突破シ、外貨獲得ノ上ニ重大ナル貢獻ヲ爲シツツアルノデアリマス、増産ノ要愈々緊切ナルモノガアルノデアリマス、更ニ畜産ニアリマシテハ、牛約百九十万頭、細羊二十萬頭、豚百二十六萬頭、鶏五千二百三十一萬羽、兎七百六十八萬頭ノソレ、増産計畫ニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、事實ハ政府ノ計畫ニ逆行シマシテ、各家畜共飼育頭數ノ減少傾向ヲ辿リツツアリマスコトハ、極メテ皮肉ナル現象デアリマス、眼ヲ轉ジテ、外地ニ於ケル食糧ノ増産計畫ヲ見マスニ、朝鮮ニ於キマシテハ、其ノ生産目標ハ米穀二千五百五十四萬石、麥類九百五十二萬石、大豆五百四十四萬石、粟七百六十萬石、甘藷十一億四千餘萬斤デアリマシテ、米ハ二百三十八萬餘石、麥類六百四十六萬二千餘石、大豆五百七十七萬石、

粟二百三十七萬石、甘藷六億餘斤、各、増産ヲ目論ンデ居リマス、臺灣ニ於テハ米一千二百五十萬石、甘藷三十二億六千七百萬斤ノ生産計畫デアリマシテ、米ニアリマシテハ約百万石、甘藷ニアリマシテハ約十億斤ノソレ、増産計畫ニナツテ居ルノデアリマ

ス
斯ク檢討致シマス、内外地地ヲ通ジマシテ、政府ノ企圖シツツアル生産計畫ハ、實ニ龐大ニシテ寧ロ驚異ニ値スル數字デアリマス、固ヨリ内外地共其ノ總テノ生産ガ、我國ニ於テハ未ダ曾テ其ノ例ノナカツタ大キナ額デアリマシテ、總テノ生産物ニ付テ躍進的ナ新記録ヲ作ラントシツツアルノデアリマス、有ユル生産條件ノ惠マレナイ現下ノ實情ニ於テ、斯ノ如キ増産計畫ヲ完遂スルコトハ非常ナル難事デアリマシテ、寧ロ無謀ノ目論見トモ斷ズベキデアリマス、併シナガラ軍需民需ノ何レヨリ見マシテモ、第一位ノ重要性ヲ有スル食糧ノ供給ヲ確保シマスルガ爲ニハ、如何ニ困難デアツテモ、假令無謀デアウトモ、ドウシテモ是ダケノ生産ガ舉ゲラレネバナナナイ、事變下ニ於テ國民生活ノ安定ヲ庶幾セントシマスルナラバ、石ニ嚙リ付イテモ此ノ無理ヲ爲シテ遂ゲネバナナスノデアツテ、我が農山漁村民ニ課セラレマシタル義務ノ實ニ重大ナルヲ痛感セザルヲ得ナイノデアリマ

ス(拍手)
惟フニ、全國國民ニ食糧ニ關シマシテ何等ノ不安ヲ感ゼシメナイト云フコトガ、我國農山漁村民ニ取ツテノ最モ大キナ國家的使命デアリマシテ、殊ニ事變下ニ於キマシテハ、戰線ノ將兵ニモ、銃後ノ國民ニモ、食糧ニ關シテダケハ心配ヲ掛ケサセナイト云

フノガ、銃後農山漁村民ノ心意氣デアリ、ソレガ國家ニ對スル眞ノ御奉公デアルト存ジマス(拍手)政府ハ只今申述べタ増産目標ニ對シテ、一應ノ計畫ヲ持ツテ居ラルルノデアリマス、併シソレ等ハ所謂机上ノ設計デアリマシテ、殆ド實際ニ即シナイ、空想ニ近イモノデアリマス、今日ノ實情ニ於キマシテ、斯ル龐大ナル生産ヲ期シマスル爲ニハ、普通ノ理論ヤ、數學的計算ノミニ依ツテハ割出サルモノデハナイノデアリマス、之ヲ實現セシムルニハ、理論ヤ計數ヲ超越シタ農林漁業者ノ百難不屈ノ精神ト、堅忍不拔ノ奮闘努力ニ俟ツノ外ハナイノデアリマス(拍手)即チ勇士戰場ニ臨ムノ氣魄ト勇猛心ニ俟ツニアラザレバ、解決シ得ラレナイ難問題ナノデアリマシテ、實ニ農林漁業者ノ發奮興起ノ要望セラルルコト今日ノ如キハ未ダ曾テナイノデアリマス(拍手)斯ル重大ナル時運ニ際セシマシテハ、政府モ亦宜シク之ニ對處スベキ尋常ナラザル心構ヘガナクテハナラナイノデアリマ

スガ、其ノ施設態度ヲ見マスニ、甚シク熱意ヲ缺キ、先ヅ自ラ燃エテ農林漁業者ヲ感奮興起セシメヨウトハセズ、却テ是等國民ヲシテ不平不滿ヲ抱カシメ、自暴自棄ニサヘ陷ラシメ、消極退嬰ノ態度ニ墮セシムルノ虞サヘアルノデアリマシテ、吾々ハ深ク之ヲ遺憾トシ、茲ニ本決議案ヲ提出シテ、政府ニ猛省ヲ促サントスル所以デアリマス(拍手)

即チ其ノ第一ハ、食糧ノ生産増進ニ關シテ積極的方策ヲ講ジ、増産ニ遺憾ナキヲ期スルト共ニ、生産物ノ配給ヲ圓滑適正ナラシムルヤウ、配給機構ノ改善整備ヲ圖ラレタイコトデアリマス、食糧ノ増産ニ關スル

政府ノ施設ハ概ネ月並のモノデアリマシテ、革新的或ハ積極的ナ施設ハアリマセヌ、大々的ナ增收共進會ノ如キヲ開催シ、國策ニ協力シテ成績ノ顯著ナル者ヲ顯彰スルガ如キ方法モ意義アルコトカト存ジマス、業者ヲ鼓舞激勵スルト共ニ、生産増進ニ貢獻スルコトガ銃後ニ於ケル國家ニ對スル重大ナル功績ナリト思念ニ於キマシテ、之ヲ顯彰スルノ方途ヲ論ズルハ極メテ必要ノコトト存ジマス、更ニ農業報國運動ノ徹底ヲ圖リ、銃後奉公ノ誠意ヲ昂揚セシムルコトニ眞剣ナル努力ヲ傾倒スルコトモ必要ノコトト存ジマス、又此ノ際内外地並ニ滿洲支那ノ關係官並ニ民間業者代表ノ會合ヲ催シ、日滿支相協力シテ食糧ノ供給確保ニ關シ萬全ヲ講ズルノ計ヲ確立シ、以テ民間業者ノ力強キ活動ヲ促進スルノ方途ヲ講ズルコトモ、東亞ノ現況ニ鑑ミテ必要ノコトト存ジマス(拍手)配給問題ノ重要性ハ、昨秋ノ經驗ニ依ツテ極メテ明確ニ教ヘラレタノデアリマス、然ルニ今尙ホ此ノ點ニ對シ、政府ハ何等改革ノ工夫ヲ講ゼラレナイノハ、吾々ノ甚ダ奇怪ニ感ズル所デアリマス、政府ハ集荷並ニ配給ノ統制ヲ強化シ、其ノ偏在ト不正取引ノ防止トニ遺憾ナキヲ期セネバナリマセヌ、特ニ集荷ノ段階ニ於ケル自由取引ヲ制限シ、配給機關相互間ニ於ケル横ノ流れヲ排除スルノ方策ヲ講ズルコトハ、最モ必要ナコトト存ジマス

第二ハ生産資材ノ問題デアリマス、肥料ノ不足ハ愈々顯著トナリ、政府屢次ノ聲明モ事實ニ於テ裏切ラレントシツツアルノデアリマス、唯硫酸ニ關シマシテハ遞信當局ノ誠意アル措置ト、陸海軍ノ理解アル協力トニ依リ、近時漸ク増産ニ向ヒツツアリマス

政府ノ施設ハ概ネ月並のモノデアリマシテ、革新的或ハ積極的ナ施設ハアリマセヌ、大々的ナ增收共進會ノ如キヲ開催シ、國策ニ協力シテ成績ノ顯著ナル者ヲ顯彰スルガ如キ方法モ意義アルコトカト存ジマス、業者ヲ鼓舞激勵スルト共ニ、生産増進ニ貢獻スルコトガ銃後ニ於ケル國家ニ對スル重大ナル功績ナリト思念ニ於キマシテ、之ヲ顯彰スルノ方途ヲ論ズルハ極メテ必要ノコトト存ジマス、更ニ農業報國運動ノ徹底ヲ圖リ、銃後奉公ノ誠意ヲ昂揚セシムルコトニ眞剣ナル努力ヲ傾倒スルコトモ必要ノコトト存ジマス、又此ノ際内外地並ニ滿洲支那ノ關係官並ニ民間業者代表ノ會合ヲ催シ、日滿支相協力シテ食糧ノ供給確保ニ關シ萬全ヲ講ズルノ計ヲ確立シ、以テ民間業者ノ力強キ活動ヲ促進スルノ方途ヲ講ズルコトモ、東亞ノ現況ニ鑑ミテ必要ノコトト存ジマス(拍手)配給問題ノ重要性ハ、昨秋ノ經驗ニ依ツテ極メテ明確ニ教ヘラレタノデアリマス、然ルニ今尙ホ此ノ點ニ對シ、政府ハ何等改革ノ工夫ヲ講ゼラレナイノハ、吾々ノ甚ダ奇怪ニ感ズル所デアリマス、政府ハ集荷並ニ配給ノ統制ヲ強化シ、其ノ偏在ト不正取引ノ防止トニ遺憾ナキヲ期セネバナリマセヌ、特ニ集荷ノ段階ニ於ケル自由取引ヲ制限シ、配給機關相互間ニ於ケル横ノ流れヲ排除スルノ方策ヲ講ズルコトハ、最モ必要ナコトト存ジマス

第二ハ生産資材ノ問題デアリマス、肥料ノ不足ハ愈々顯著トナリ、政府屢次ノ聲明モ事實ニ於テ裏切ラレントシツツアルノデアリマス、唯硫酸ニ關シマシテハ遞信當局ノ誠意アル措置ト、陸海軍ノ理解アル協力トニ依リ、近時漸ク増産ニ向ヒツツアリマス

政府ノ施設ハ概ネ月並のモノデアリマシテ、革新的或ハ積極的ナ施設ハアリマセヌ、大々的ナ增收共進會ノ如キヲ開催シ、國策ニ協力シテ成績ノ顯著ナル者ヲ顯彰スルガ如キ方法モ意義アルコトカト存ジマス、業者ヲ鼓舞激勵スルト共ニ、生産増進ニ貢獻スルコトガ銃後ニ於ケル國家ニ對スル重大ナル功績ナリト思念ニ於キマシテ、之ヲ顯彰スルノ方途ヲ論ズルハ極メテ必要ノコトト存ジマス、更ニ農業報國運動ノ徹底ヲ圖リ、銃後奉公ノ誠意ヲ昂揚セシムルコトニ眞剣ナル努力ヲ傾倒スルコトモ必要ノコトト存ジマス、又此ノ際内外地並ニ滿洲支那ノ關係官並ニ民間業者代表ノ會合ヲ催シ、日滿支相協力シテ食糧ノ供給確保ニ關シ萬全ヲ講ズルノ計ヲ確立シ、以テ民間業者ノ力強キ活動ヲ促進スルノ方途ヲ講ズルコトモ、東亞ノ現況ニ鑑ミテ必要ノコトト存ジマス(拍手)配給問題ノ重要性ハ、昨秋ノ經驗ニ依ツテ極メテ明確ニ教ヘラレタノデアリマス、然ルニ今尙ホ此ノ點ニ對シ、政府ハ何等改革ノ工夫ヲ講ゼラレナイノハ、吾々ノ甚ダ奇怪ニ感ズル所デアリマス、政府ハ集荷並ニ配給ノ統制ヲ強化シ、其ノ偏在ト不正取引ノ防止トニ遺憾ナキヲ期セネバナリマセヌ、特ニ集荷ノ段階ニ於ケル自由取引ヲ制限シ、配給機關相互間ニ於ケル横ノ流れヲ排除スルノ方策ヲ講ズルコトハ、最モ必要ナコトト存ジマス

コトハ、業者ノ齊シク感謝感激シツツアル所ト存ジマス、唯折角ノ増産モ時期ヲ失シテハ其ノ效ガアリマセヌ、特ニ硫安ト大豆粕トノ適期配給ニ關シ、政府ハ國民ノ期待ヲ裏切ラナイヤウ眞剣ナル努力ヲセラレネバナリマセヌ、飼料不足ノ結果、我が畜産界ハ今や重大ナル危機ニ瀕シツツアルノデアリマス、燃料、魚網ノ不足ハ、輸出物資トシテ、又國民營養食トシテ益、其ノ増産ニ發展セネバナラナイ水産業ヲ萎縮不振ニ陥レツツアルノデアリマス、其ノ他各種資材ノ不足ガ生産ニ大ナル支障ヲ來シツツアルハ、明カナル眼前ノ事實トナツテ現ハレツツアルノデアリマス(拍手)吾々ハ事變下ニ於ケル物資不足ノコトハ能ク承知シテ居ルノデアリマス、唯政府ノ態度ガ常ニ姑息デアツテ、ソレガ爲生産ノ減退ヲ來シ、已ムナク食糧ノ輸入ニ依ツテ之ヲ補給シ、爲ニ巨額ノ國幣ヲ海外ニ支拂フガ如キ、或ハ輸出ノ減退ヲ招來スルガ如キ、一文惜シンデ百知ラズノ結果ヲ來スガ如キコトノナキヤウ、嚴ニ政府ニ對シテ警告ヲ致サントスルモノデアリマス、資材配給ノ現狀ハ農林漁業用トシテ配給セラルモノガ他ノ方面ニ流出シテ、不足ヲモノハ愈々不足トナリ、其ノ上之ヲ買入レヨウトスレバ、闇取引ニ依ツテ數倍或ハ十數倍ノ高イ値ヲ拂ハネバナラナイ實情ニアルノデアリマシテ、資材供給ノ現狀ハ洵ニ遺憾千萬デアリマス、生産品ハ公定價格ニ依ツテ買取ラレ、其ノ上自分ノ食料マデ節シテ供出ヲ爲サネバナラナイニ、生産資材ノ供給ガ斯ノ如キ狀況ニアリマシテハ、農林漁業者ニ不滿ノ聲ノアルノモ無理カラヌコトト存ジマス(拍手)政府ハ資材ノ配給ニ關シマシテ生産確保ニ主眼點ヲ

置キ、其ノ目的トスル所ニ迅速ニ直線ノ、公正適正ニ配給サルヤウ、萬全ノ方策ヲ講ゼラレタイノデアリマス

第三ハ努力ノ確保ト指導機關ノ充實トデアリマス、農漁山村ニ於ケル努力ノ不足ハ愈々顯著ナルモノガアリマス、工業其ノ他ノ方面ニ於ケル努力ノ吸收ニ關シテハ、農漁山村ノ實情ニ即シテ其ノ措置ヲ誤ラズ、必要努力ノ確保ヲ期スルト共ニ、地方的或ハ職業的、季節的繁閑ヲ按配シテ努力ノ調整ヲ圖ルコトニ努メネバナリマセヌ、農山村ニ於ケル産業指導員ノ轉出ハ愈々甚シク、指導員ノ數ノ減少ト質ノ低下トハ其ノ生産力ニ重大ナル影響ガアルト存ジマス、政府ハ是等指導員ノ待遇改善ニ努ムルト共ニ、其ノ補充ト資質向上トニ關シ、適切ナル方策ヲ講ゼネバナリマセヌ

第四ハ部落團體ノ活動促進ノ問題デアリマス、部落團體コソ第一線ノ活動機關デアリマシテ、生産ノ増進モ、生産物ノ集荷モ、生産資材ノ公正ナル配給モ、悉ク部落團體ノ活動ニ俟ツノデナケレバ其ノ全キヲ期スルコトハ出來ナイノデアリマス、政府ハ現ニ農會法ノ改正ヲ企圖セラレツツアリマスガ其ノ庶幾サレル所、餘リニ吾々ノ部落團體ニ期待スル所ト其ノ距離ノ多キヲ遺憾トスルモノガアリマス、宜シク更ニ一步ヲ進メ、部落團體ノ整備強化ヲ圖リ、國家ノ第一線ノ基礎團體トシテ、其ノ機能ヲ遺憾ナク發揮セシムルヤウ工夫セラルベキダト存ジマス

第五ハ旱害對策デアリマス、西日本並ニ朝鮮ノ旱害ニ對シマスル政府ノ施設ハ、餘リニ微温的デアリ不徹底デアリマシテ、食糧増産ノ見地ヨリ見マシテ洵ニ遺憾ニ存ズルノデアリマス、政府ハ當面對策ニ於キマシテモ、恆久對策ニ於キマシテモ、更ニ一段ノ努力ヲ拂ハレナケレバナラナイト存ジマス、以上所見ヲ申述べマシテ、本決議案ニ賛成ノ趣旨ヲ明ニシタ次第デアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 大石倫治君

(大石倫治君登壇)

○大石倫治君 昨今今議題トナツテ居リマスル決議案ニ對シ、政友會ヲ代表シテ贊成ノ意ヲ表シタイト存ズルモノデアリマス、國民食糧ノ確保ハ、戰時タルト平時タルトヲ問ハズ、絶對的ニ緊要ナルコトハ敢テ論ズルマデモナイコトト存ジマス、殊ニ刻下非常時局ニ際シマシテ、國民ノ體力精神力ノ緊張ト旺盛トヲ要求セラレテ居リマス秋ニ於テ、萬一ニモ食糧ノ確保ヲ缺キマスヤウナコトガアリマスナラバ、實ニ重大ナル結果ヲ齎スノデハナカラウカト存ズルノデアリマス、此ノ食糧ノ不足ヲ來スコトノナイヤウニ致シマス爲ニハ、政府ハ如何ナル方策ヲ講ズレバ宜シイノデアラウカ、先ヅ本案ノ趣旨ヲ具現シ、此ノ食糧不安ヲ一日モ速ニ一掃シテ、各自其ノ職分ニ恪精勵シ、以テ時局ノ處理ニ邁進セネバナラナイト存ズル次第デアリマス、然ルニ近時國民ノ食糧、主食物タル米、雜穀ヲ初メト致シマシテ、或ハ副食物、或ハ營養食物等、殊ニ國民ノ日常必需品スラ配給ノ不足ヲ告ゲマシテ、國民ニ不安動搖ヲ與ヘマシタコトハ、洵ニ遺憾ノ極ミト申サナケレバナラナイノデアリマス、政府ハ速ニ食糧充實ノ方途ヲ確立シテ、此ノ不安動搖ヲ一掃シ、東亞新秩序建設ノ強化ヲ圖ラネバナラスノデハナイカト思フノデアリマス、我國ニ於ケ

ル食糧資材ハ國民ニ不安ヲ與ヘル程ノ缺乏ヲ來ス筈ガタイト存ジテ居ツタ、軍需品ニハ色々ノ缺乏不足ヲ來スコトガゴザイマシテモ、國民ノ食糧ノ上ニハ日本ハ全ク天祐ヲ保有シテ居ルカノヤウニ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、測ラズモ近時此ノ食糧ニ不安ヲ來シマシタコトハ、洵ニ意外千萬ナコトデゴザイマス、我國ニ於ケル昨年ノ米ノ收穫ヲ見マスルト、過去五箇年ノ平均六千餘万石ヲ超エルコト七百万石、内地ノミヲ以テ、而モ西日本ニ於ケル未曾有ノ旱害ガアツタニ拘ラズ、六千七百万石ノ收穫ヲ得タノデアアル、然ルニ此ノ米ノ收穫ガアツタ其ノ直後ニ於テ、都會ノ消費者ガ一升買ヲシテ、明日ノ御飯ニ不安ヲ感ズルト云フヤウナコトハ、獨り物資ノ缺乏ヲ來シタバカリデハナイ、要スルニ政治的缺陷ノアルコトヲ現ハシタモノデハナカラウカト思フノデアリマス(拍手)又生産的ニ見マスル時ハ農産、林産、水産等ニ於ケル努力ノ不足、燃料ノ缺乏、必要資材ノ配給不能ト、色々原因ガ存在シテ居ルノデアリマスガ、政府ハ是等ノ原因ヲ除却セネバナラナイノデアリマス、即チ農産方面ニ於キマシテハ、先ヅ肥料ノ配給ノ時機ヲ誤ラザルヤウニセネバナリマセヌ、早場米デアルトカ、晩場米デアルトカ、何レモ其ノ時機ヲ失ヒマスルコトハ、苦心慘憺ノ上ニ配給セラレマス所ノ肥料ノ能率ヲ減退スルノデアリマス、又努力ノ緩和、飼料、農具、電力、燃料等ノ供給十分ニセネバナラスコトト存ジマス、殊ニ年々減退ヲ致シテ居リマス所ノ耕地ノ潰地——我國ハ過去十年間ノ成績ヲ見マシテモ、年々ノ耕作地ノ潰地ニ對シテ、之ヲ補ヒマスル所ノ面積ハ、其ノ十分ノ一ニ

モ當ツテ居ラナイ程アリマスカラ、斯ノ如キ減退ヲ致シマスル所ノ潰地ノ補充、又未開墾地ノ擴大ガ必要デアリマス、更ニ耕作地ニ於キマシテハ耕作種別ノ轉換ガ行ハレテ居ル、即チ無水「アルコール」用ニ供シマスル爲ニ、甘藷馬鈴薯等ガ漸次食糧耕作地ヲ侵シツツアルノデアリマス、固ヨリ燃料モ我が日本ニ於キマシテハ、最も必要ナルモノデアリマシテ、其ノ擴大固ヨリ已ムヲ得ザルモノデアリマス、ケレドモ、食糧確保ノ點ヨリ、政府ガ是等ノ點ニモ考慮ヲ拂フベキ必要ガアルノデハナカラウカト思フノデアリマス

次ニ水産ニ付テ其ノ増産ヲ圖ルハ、現下最も重要ナル問題デアリマス、水産業ハ條原君ノ申サレマシタガ如ク、外貨獲得ノ上ニ於キマシテ、重要ナル使命ヲ持ツテ居ル業デアリマス、然ルニ事變以來此ノ時局ノ影響ヲ蒙リマシテ、非常ナル打撃ヲ受ケテ居ルモノノ一ツト相成ツテ居ルノデゴザイマス、即チ其ノ原因ハ第一ニ漁業資材ノ缺乏ト配給不能トニ因ツテ居ルノデアアル、故ニ政府ハ此ノ漁業ニ直接關係アル所ノ重油、綿絲或ハ漁網「ロツプ」、其ノ他直接必要ナル程度ノモノハ、速ニ之ヲ増配セネバナラヌト存ズルノデアリマス、即チ是ガ水産業ニ對スル所ノ先決問題デアアル、又政府ハ此ノ點ニ對シテ如何ナル用意ヲ持ツテ居ルカト觀察致シマスルト、洵ニ心細イ疑ヲ持タネバナラヌノデアアル、殊ニ近年化學工業ノ發達或ハ河川ノ改修等、ソレ等ノ關係ニ依リマシテ土砂ノ流出若クハ淡水、海水ヲ汚濁スルト云フヤウナ關係カラ、沿岸漁業ガ年々萎靡不振ノ狀態ニ陥リツツアルノデアリマス、政府ハ是等ノ點ニ付テモ速ニ其

ノ對策ヲ講ゼネバナラナイノデハナイカト存ズルノデアリマス(拍手)又遠洋及ビ支那沿岸ノ漁場開拓ニ政府ハ適當ノ施設ト助成トヲ講ズルノ必要ガアルト存ズルノデアリマス

最後ニ政府ハ事變以來有ユル方面ニ統制強化ヲ圖ツテ居ル、生産統制、物價統制、配給統制、固ヨリ吾々ハ今日ノ時代ニ於テ自由放任ヲ適當ト認メテハ居リマセヌ、ヤハリ相當ナル所ノ統制ハ已ムヲ得ザルコトト存ズルノデアリマス、ケレドモ、中ニハ時局ニ便乘致シマシテ、ヤラズモガナト思フヤウナ統制ガ現ハレテ參ツテ居ル、而モ其ノ統制ハ調査不完全、準備不十分、唯新規ヲ好ムヤウナ統制ヲ行ヒマシテ、不慣レナル國民ニ非常ナル迷惑ヲ掛ケ、寧ロ國民ヲシテ困惑セシムルヤウナ狀態ニ陥レ、却テ能力ノ減退、不振ヲ招來シ、生産力ノ擴充ドコロカ却テ其ノ減退ヲ來スヤウナ虞ナシト致サヌノデアリマス、政府ハ食糧ノ確保ヲ致シマスルニ當ツテハ、此ノ點ニ特ニ深く注意ヲセネバナラナイノデハナカラウカ、殊ニ農漁村ニ於ケル所ノ國民ハ此ノ不慣レナル、此ノ複雑ナル機構竝ニ事務ノ處理ニハ非常ナル迷惑ヲ來シテ居ルノデアリマス、政府ハ此ノ點ニ深キ注意ヲ拂ヒ、成ベク機構ヲ簡易ニシ、事務ノ處理ヲ便宜ニシ、國民ヲシテ無駄ナ勞力、無駄ナ時間ノ空費ヲ爲サシメザルヤウニセネバ、勞力ノ緩和モ、又生産擴充モ到底成績ヲ擧ゲルコトハ出來ナイト存ズルノデアリマス、蓋シ本決議案ニ於ケル所ノ趣旨モ此處ニアルノデアリマスカラ、政府ニ於キマシテハ特ニ注意ヲナサレネバナラス、殊ニ又物價統制ニ基キマスル所ノ配給關係ハ、何レニカ非

常ナ缺陷ガアルト云フコトハ、昨年来ノ出廻ラナケレバナラヌ時期ニアノ不足ヲ告ゲタ一點ニ徴シ、又山元ニハ木炭ガ積重ネラレテアルニモ拘ラズ、都會人ハ此ノ寒サニ木炭ヲ得ルコトガ出來ナカウタト云フコトモ、一ツハ價格ノ適正ヲ得ナイカラデアアル、所謂九・一八物價ト云フモノハ惡性「インフレーション」防止スル爲ノ已ムヲ得ザル低物價政策ノ處置デアリマセウケレドモ、是ガ爲ニ却テ物ノ出廻リハ惡クナル、物資ガ一方ニ偏在シテ配給ガ不圓滑トナリ、ヤハリ國民ハ生活上ドウシテモ求メナケレバナラナイ爲ニ、已ムヲ得ズ闇取引ガ横行致シタノデアアル、此ノ闇取引ハ公正價格ニ比較シ或ハ五割、或ハ二倍、甚シキハ三倍ノ價格ヲ以テ取引セラレテ居ル、ソレダケ却テ惡性「インフレーション」ヲ誘致スル虞ガアルト存ズルノデアリマス、蓋シ生産増加、生産ノ増大ヲ圖リ、食糧ノ確保ヲ致シマスルニ、是等ノ點ハ最も政府ノ注意シナケレバナラナイ點デアアルト存ズルノデアリマス、即チ本決議案ノ趣旨ヲ能ク御考下サレテ、其ノ趣旨ノ實現ノ爲ニ善處セラレンコトヲ希望シテ已マザル次第デアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 淺沼稻次郎君(淺沼稻次郎君登壇)

○淺沼稻次郎君 私人ハ只今議題トナリマシタ決議案食糧確保ニ關スル件ニ付テ、社會大衆黨ヲ代表シテ賛成ノ趣旨ヲ辯明致シタイト考ヘルモノデアリマス、既ニ提案者ヨリ詳細ナル説明ガアリ、又同僚議員ヨリ詳細ナル贊成演說ガアツタノデアリマシテ、私ハ極ク簡單ニ趣旨ヲ辯明ヲシタイト思フノデアリマス

戰時下ニ於ケル食糧問題ガ如何ニ重要デアルカト云フコトハ今更申上ゲルノ要ハナイト思フノデアリマス、我國ハ由來米ヲ作ルコトヲ以テ誇リトシテ參ツタノデアリマス、又是アルガ故ニ食糧ニハ事缺カサナイト國民ハ安心シテ參ツタノデアリマス、然ルニ事變始マツテ三年、茲ニ食糧問題ニ關シテ其ノ確保ニ關スル決議案ガ論議サレナケレバナラヌト云フコトハ甚ダ遺憾ニ考ヘルノデアリマス(拍手)是レ明ニ政府ガ其ノ處置ヲ誤ツタ、即チ事變始マツテ以來歷代ノ内閣ノ之ニ對スル處置ニ缺ケル所ガアツタト言フテモ斷ジテ過言デハナイノデアリマス、事變以來米ノ消費増加ハ正ニ千六百萬石ニ及ビ、内外地ヲ通ジテ一年間一億萬石以上ノ米ガ必要トナツテ參ツタノデアリマス、然ルニ肥料、農業資材、牛馬、勞力共ニ不足シテ參ツテ居リマス、更ニ土地價格、小作料ノ暴騰ハ事變始マツテ以來拍車ヲ掛ケテ居ルノデアリマシテ、是等ノコトハ農村ニ於キマスル所ノ生産力擴充ニ、大キナ阻碍ヲ來シテ居ルノデアリマス(拍手)更ニ加ヘマシテ今後更ニ増産ヲ妨害スル條件ハ一層多クナルモノト思ハレマス、政府ハ此ノ際思切ツテ戰時食糧政策ノ確立ニ努力スベキデアリマス、即チ肥料、飼料、農業資材ヲ何モノヨリモ優先的配給ヲ確保シナケレバナリマセヌ、共同耕作、農業機械化ニ依ツテ勞力不足ヲ補フ爲ニ一大努力ヲ拂フベキデアリマス、反當リ收穫ノ増加ノ爲ニハ過去ノ品質本位ノ品種ヲ排シマシテ、多收穫品種ヲ獎勵シテ、穀物検査ノ程度ヲ緩和スベキデアルト考ヘルノデアリマス、又休閑地、荒廢地ヲ極度ニ利用スルコトモ忘レテハナリマセヌ、更ニ麥、甘藷、馬鈴

薯ノ如キ代用食ノ増産ニモ努力スベキデア
リマス、更ニ臺灣ニ於ケル米作ニ付テハ、
此ノ増産ヲ圖ラナレバナラヌト思ヒマス、
又滿洲ノ水田許可制ヲ廢シマシテ、水田ヲ
増加セシムルヤウ努力シ、支那ノ占領地域
ニ於テモ農業指導ニ依ツテ食糧作物ノ増産
ヲシナケレバナラヌト思フデアリマス、
即チ日滿支ヲ貫ク食糧計畫ノ樹立コソ緊急
ナルコトト考フル次第デアリマス(拍手)更
ニ政府ハ一步ヲ進メマシテ、土地ノ公益性
ヲ正シク發揮セシムル爲ニ、農地制度ノ改
革ヲ根本的ニ爲ス必要ガアルト思フデア
リマス、即チ農地利用ノ國家統制ヲ内容ト
スル土地國家管理ヲ斷行シ、小作統制令ノ
運用ヲ全カラシメテ小作料ノ適正化ヲ圖
リ、斯ル農産生産上ノ基本的政策ヲ速ニ實
施シ、生産者タル農民ノ地位ノ安定ヲ圖ツ
テ、計畫的増産ノ基礎ヲ確立スルコトガ最
モ急務ナリト信ズル者デアリマス(拍手)

次ニ配給ノ問題ト致シマシテハ、米ノ國
家管理乃至非收益主義ニ基ク公益ノ見地ヨ
リ致シマシテ、米穀ノ專賣制ヲ實施スベキ
デアルト思ヒマス、今日大都市ニ於テハ國
家統制ハ非常ニ強化サレテ居リマシテ、謂
ハバ國家管理ノ一步手前ト云フ所マデ行ツ
テ居ルデアリマス、併シナガラ政府ハ更
ニ此ノ中途半端ナ統制ヲ止メテ、思切ツテ
專賣制ヲ布クト云フ所マデ一步ヲ進メテ戴
キタイト考フルデアリマス(拍手)又大都
市ニ於キマスル所ノ生鮮食料品ニ付テハ完
全ニ統制ガ行ハレテ居リマセヌ、是等生鮮
食料品ハ自由主義經濟ノ需要供給ノ原則ニ
基ク中央市場ヲ通ジマシテ集荷配給ガ行ハ
レテ居ルデアリマス、其ノ缺陷ハ既ニ現
ハレテ居リマスルガ、之ニ對シテ何等改革

ガ行ハレテ居リマセヌ、私ハ是等ノ問題ニ
付テ徹底的改革ヲ政府ニ要望スル者デアリ
マス、又政府ハ米穀ノ國家管理乃至特定ノ
地域ニ於ケル食糧切符制度ノ實施ニ關シテ
準備セラルルト共ニ、生鮮食糧品ニ付テモ
其ノ統制ヲ一層強化確立シテ、配給ニ於ケ
ル不安一掃ニ萬全ヲ期セラレタイト思フ
デアリマス(拍手)

更ニ一言申上ゲタイト思ヒマスコトハ、
食糧ノ解決ト云ヒ、國民生活ノ確保安定ト
云ツテモ其ノ根本ハ政府ガ政治ニ對スル信
頼ヲ取戻スコトデナレバナラヌト思フ
デアリマス(拍手)即チ昨年米ノ問題ガ起キ
マシタ、農民ハ地方廳ノ斡旋ニ依ツテ米ヲ
賣レト言フカラ米ヲ出シタデアリマス、
數日ナラズシテ米ハ五圓ノ値上リガ行ハレ
マシタ、國策ニ協力シ、正直ニ縣廳ノ役人
ノ言フコトヲ信ジタ農民ハ五圓ノ損ヲシ、
思惑ヲシ、或ハ買溜ヲシタ業者ハ金ヲ儲ケ
ルト言ツタヤウナコトデアツテハ、斷ジテ農
民ハ此ノ政治ニ信頼ヲ持ツ譯ニハ參リマセ
ヌ(拍手)更ニ都會ノ生活ニ付テ考ヘテ見マ
シテモ、闇相場、闇取引ガ横行シテ居リマ
ス、闇取引ヲヤレバ物資ガ得ラレ、國策ニ
背ケバ物資ガ確保サレ、國策ニ副ウテ公
定相場デ物ヲ得ント欲シマスルナラバ物ガ
得ラレナイ、ソレガ爲ニ生活ノ困窮ヲ來ス
ト云フコトニナツテ參リマスルナラバ、是
亦政治ニ對スル信頼ヲ持ツ譯ニハ參リマセ
ヌ、ソコデ私ハ政府ガ眞實ニ國民全體ガ政
治ニ信頼ヲ持ツテ、國民ト政府ノ間ニ一分
ノ隙ナクシテ眞ニ舉國一致ノ體制ガ強化サ
レテ來ルコトガ、總テノ前提條件デナケレ
バナラヌト思フデアリマス、即チ此ノ席
上ニ於テ吾々ノ同僚河上丈太郎氏ガ申上ゲ

マシタ通り、國民ハ物ノ少キヲ憂フルニア
ラズ、等シカラザルヲ憂ヘテ居ルデアリ
マス、又今日ハ困ツテモ明日ノ生活ニ對シ
テ希望ヲ與ヘルコトガ必要デアルト言ハレ
マシタ、私モ左様ニ考ヘルデアリマス、
又豫算討論ノ際ニ、吾々ノ同僚三輪壽壯君
カラ申上ゲマシタ通り、軍備ヲ軍備トシテ
カラ申上ゲマシタ通り、産業ヲ産業トシテ
孤立セシメズ、國民生活ヲ國民生活トシテ
孤立セシ
メズ、是ガ綜合統一セラレテ舉國一致ノ體
制ヲ強化スルコトガ最も必要ナリト私ハ考
ヘルデアリマス、斯ウ云フ意味合ニ於キ
マシテ政府ハ失ハレタル政治ノ依頼ヲ取
戻スヤウニ最善ノ努力ヲ願ヒタイト思ヒ
マス

最後ニ更ニ一言附加ヘタイトハ衆議院ノ
決議ニ付デアリマス、吾々ガ決議ヲ可決
シ希望ヲ致シマシタ際ニハ、政府ハソレヲ
能ク受入レルデアリマス、本決議案ガ院
議決定スル以上、當然是ハ政府ノ採用ス
ル所トナラウト思フデアリマス、併シナ
ガラ往々ニシテ政府ハ衆議院ノ決議、或ハ
委員會、或ハ本會議ノ席上ニ現ハレタ言論
ニ對シテ其ノ時ハ贊成スルガ如キ態度ヲ執
リマスルケレドモ、結果ニ於テハサウデナ
イヤウナ結果ヲ招來スルコトガアリマス、
ソコガ官僚獨善ノ聲ヲ聞キ、ソコガ政府ト
國民ヲ離間セシメル所ノ大ナル原因トナル
ト云フ所ニ心致サネバナリマセヌ(拍手)ド
ウカスル意味合ニ於キマシテ私ハ本案ニ贊
成ヲ致スデアリマスルカラ、政府ニ於キ
マシテモ大イニ考慮サレテ、戰時下食糧ノ
確保ニ萬全ヲ期セラレンコトヲ希望スル次
第デアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 榎尾辨匡君
〔榎尾辨匡君登壇〕
○榎尾辨匡君 私ハ本決議案ニ對シマシテ
共同提案ノ立場カラ時局同志會トシテ贊成
ノ意ヲ表スル者デアリマス、既ニ提案者並
ニ同僚各位カラ本案ノ趣意ニ付キマシテハ
十分ニ論ゼラレテ居リマスルカラ、唯一言
違ヒマシタ方面カラ、即チ精神的ニ、根本的
ニ取扱ハレタイト思フ附加ヘマシテ、其ノ意
ヲ明ニシタイト思フデアリマス
政府ガ此ノ時局ニ對シマシテ夙ニ百方焦慮
サレテ居ルコトハ能ク分ツテ居リマスルシ、
又現内閣ガ阿部内閣ノ崩壊ノ原因ニ鑑ミマ
シテ、食糧問題ニ焦慮サレテ居ルト云フコト
モ認メラレルデアリ、殊ニ農林大臣ガ頻リ
ニ此ノ問題ニ色々ノ計畫ヲ進メラレテ居ル
ト云フコトハ分ツテ居ルデアリマスケレド
モ、併シナガラ只今モ出マシタヤウニ、國民
ハ十分ノ安心ト信頼ヲ持ツコトガ出來ナイ
デアリマス、ソレハ何故デアルカ、政府ノ
案ハ企畫院其ノ他ニ於キマシテ、計算的ニ立
テラレマシタ、一應ノ案ダケデアツテ、本當
ニ複雜ナル世相ノ表モアリ裏モアリ、ルノ豫
定通り行キマセヌ場合ニドウ云フ風ニスデ
アルカト云フコトハツキリトセラレナイ爲
ニ、又サウ云フコトヲ明白ニスレバ逆效果ヲ
生ジテ不安ヲ生ズルト云フ考ノ爲ニ、唯一應
ノ方策ヲ與ヘラレマス爲ニ、國民ハサウナラ
イ場合ニハドウナルノダト云フコトデ、非常
ナ不安ヲ感ズルデアリマス、就キマシテハ
今日龐大ナル生産計畫ガ立ツテ居ルデア
リマスケレドモ、前途ヲ考ヘマスレバ、昨年以
上ノ水害、旱害、各種ノ災害ガ來ルカト云フコ
トモ考ヘナケレバナラズ、又來月以後ノ天候
ニ依リマシテハ、ソレヲ豫測スルコトモ出來
ルデアリマスルガ、サウ云フ場合ニ對シテ

モ、亦政府ノ計畫スルガ如ク、端境ノ四百七十万石ガソレダケ出廻ラズ、更ニ増石ヲスル計畫ガ計畫通り行カナイ場合ニハ、ドウ云フ風ニスルノデアアルコト云フコトニ付テ、第一ニ國民ガ精神的ニ安全ナル確信ヲ持チ得マスルヤウナ方法ヲ、ハツキリセラシムルコトガ必要ダト思ヒマス、即チ我國ニ於キマシテハ、言フマデモナク神代以來ノ關係カラ、此ノ農業ノ難カシイ國ニ、農業ガ發達致シマシテ、米ヲ主食ト致シマスケレドモ、米ガドウシテモナイ場合ニハ、ドウスルノダト云フコトヲ、ハツキリト國民ニ教ヘル必要ガアルノデアリマス、米ガナクテモ、空氣ヲ食ツテモ、水ヲ飲ンデモ、松葉ヲ食ベテモ、大陸民族ガヤツテ居リマシヤウナ、木ノ根、綠葉ヲ食ベテモ、十分ニ食糧ハアルノダ、更ニ我國ニハ豊富ナル水産ヲ以テモ、雜穀ヲ以テモ、米ヲ補フ途ハ十分ニアル、五通りモ六通りモ食糧ガアルノデアツテ、食糧ハ絕對性ニ於テハ缺乏シナイノダ、唯習慣ニ從ツテ米ヲ食ベナケレバ、食ベタヤウナ氣ガシナイト云フ所ニ、多クノ不足ヲ感ズルノデアアルガ、非常ノ場合ニ於テハ、米ナキ場合ニハ斯クノスルノダ、本年ハ物資缺乏デ、米ガ全然ナイ時ガ來ルカモ知レナイト云フ所マデ、農林大臣ノ方デ、其ノ方面ニ向ツテモ十分ナ國民ノ指導ヲシ、思想ノ安定ヲ圖ルト云フコトマデ徹底シテ置カレマセスケレバ、若シ豫定ト違フ一難ガ來リマシタ場合ニハ、忽チ官民共ニ動搖不安ニ陥ルト云フコトガ起ルノデアリマスカラ、其ノ點ニ十分ナル考ヲセラレル必要ガアリマス、ソレガ爲ニハ農林大臣一人ガ此處ニテ心配ヲシテ居ルト云フヤウナコトデナク、常ニ内閣ガ一致シテ

此ノ問題ヲヤルト言ヒマスケレドモ(拍手)實際ニナリマス、他ノ閣員ハ知ラザルガ如キ眞似ヲシテ、獨リ農林大臣ヲシテ心配サセテ居レバ濟ムヤウナ風ヲシテ居リマスルガ、若シ食糧問題ガ全ク解決スルコトガ出來ズシテ、不安ヲ來シマシタナラバ、ソレハ此ノ前ノ歐洲大戰ニ於ケル獨逸ヤ露西亞ノ如キ、幾多ノ困難ヲ生ズルコトハ當然デアリマスカラ、閣員ガモツト眞剣ニ考ヘテ、協力シテヤルト云フコトデナケレバナラスノダト思フノデアリマス、之ヲ協力シテヤリマスニハ、眞先ニ精神總動員カラ來マスル國民全體ノ協力ハ何處ニ行クノデアアルカ、食糧ガナイ場合ニハドウスレバ宜イノダ、米ノ代リニハ何ヲ使ヘバ宜イノダ、ドウ云フヤウニスレバ宜イカト云フコトニ付テ、本年ノ非常ナ惡イ場合ヲモ豫想シテ、之ヲ以テ全國ノ教員ヲ總動員シテ、總テノ學童ニマデ其ノ趣旨ガ徹底スルヤウニ致シマシテ、是等ノ精神的安定ノ根柢ヲ與ヘテ置クコト云フコトガ、確ニ一ツノ途デアルト思フノデアリマス(拍手)同時ニサウ云フ消極的ノ安定ヲ與ヘタ上ニ、積極的ノ増產計畫ト致シマシテハ、只今マデ論ゼラレマシタコトハ何レモ必要デアルコトハ申スマデモアリマセヌガ、更ニソレ等ノ學童青年ニ於キマシテモ、或ハ都市ノ生活ヲシテ居ル者ニ於キマシテモ、荒地ヤ閑地ニ作物ヲ作リマスコトハ勿論、更ニ半坪一坪ノ所ニ於キマシテモ、鶏一羽ヲ飼フナリ、或ハ僅カナ野菜ヲ作ルナリ、總テ作付ニ付キマシテハ、絕對的ニ大獎勵ヲスルト云フ方法ヲ教育ヲ通ジ、精神總動員ヲ通ジ、總テノ方法ヲ以テ考慮セラレマシタナラバ、其ノ量ハ少イヤウデアリマシテモ、英國ガ

此ノ前ノ大戰ニ於テ、其ノ食糧缺乏ヲ初メカラ苦慮シテ行ツタコトガ、二年三年ニハ相當ノ效果ヲ擧ゲマシタヤウニ、我國今日ニシテ之ヲ爲スコトハ、遅レタリト雖モ決シテ遅イノデハナク、之ヲ回復スルコトハ出來ルノデアリマシテ、十分増產ヲスルコトガ出來ルノデアリマス、假令又其ノ増產額ハ、本年來年ニ於キマシテハ僅少デアリマシテモ、我が農本ノ國家、農耕建ノ教育ヲスル、國家ノ根本ヲ其ノ方面ニ立直スト云フ點ニ於キマシテハ、此ノ機會程結構ナ機會ハナイノデアリマス、假令困難デモ、缺乏デモ、ソレハ却テ國ガ本當ニ引締リ、眞實ニ立直ル根本デアルト云フ考ヲ持ツテ、其ノ弱點ヲ暴露スル位ノコトハ、遠慮ナシニ堂々トヤラレマシテ、國民ニ此ノ食糧不足ヲ如何ニスルカ、此ノ生産ノ不足ヲ如何ニスルカト云フコトヲ明ニシテ、之ヲ忍ビ、之ヲ超越エテコソ、本當ニ敵前ノ將兵ガ困苦缺乏ニ堪ヘタト同ジコトニナル、肥料少ク勞力少キ中ニ於テ、増產ヲセネバナラスト云フコトガ、農村ガ現ニ致ス所ノ敵前將兵ト同ジ奉仕デアアル、同ジヤウニ都市ノ住民ト雖モ、其ノ農村ノ生産ヲ尊重シテ、僅カナ物資ヲモ輕ンゼズ、生産増加ニ協力スルト云フコトヲ以テ、初メテ舉國一致ノ實ヲ擧ゲルノデアアル、サウ云フ精神的、積極的の方面ニ互リマシテ、全閣員ガ一致シテ、身ヲ以テ先ダツテ全國民ヲ指導スルト云フ態度ヲ執ラレマシタナラバ、此ノ困難ナ點ガ却テ本當ニ舉國一致ノ體制ヲ成スコトニナリ、本當ニ缺乏ヲ轉ジテ充足ヲ來ス所以ニナルト存ジマス、ソレト同時ニ今一ツ農林大臣ニ希望シマスコトハ、先程來モ續々出デ居ルコトデアリマスケレドモ、大臣ハ

此ノ困難ナ場合ニ國民ニ缺乏ヲ忍ビ、協力ヲ求メ、増產ヲ勵マス同時ニ、率先閣内ニ謀リ、農地制度ノ根本的革新、又日本ノ農本國家デアルト云フコトノ建前ヲ徹底サセ、將來一層農村ノ安定發達ニ努力セラレル方策ヲ明ニセラレルコトガ、此ノ時局困難ニ際シテ、再三農林大臣ニナラレタ島田大臣ノ責任デアアルコトヲ自覺サレテ、ソレヲ言明セラレルコトガ必要デアルト存ズルノデアリマス、之ヲ以テ贊成ノ意ヲ表スル次第デアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 安藤孝三君

(安藤孝三君登壇)

○安藤孝三君 我ハ第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ、本案ニ贊成致ス者デアリマス、戰時下食糧生産確保ノ絕對的必要性並ニ是ガ對策ニ付キマシテハ、各派代表ニ依ツテ論ジ盡サレマシタカラ、茲ニ多言ヲ要シナイト存ジマスガ、特ニ重要ナル點ニ關シ一言附言シテ置キタイト存ジマス

本決議案ノ文案ハ、配給機構ノ整備ト云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ整備トハ、一元の強權統制ヲ意味スルモノデナクテハナラナイト思フノデアリマス、然ルニ今日マデノ政府當局ノ答辯ヲ綜合シテ見マス、配給ノ一元の強權統制ノ確立ノ意ノナイコトヲ察知シ得ルノデアリマス、島田農林大臣ハ、米ノ應急措置ニ關スル法律案、日本肥料株式會社法案等ノ委員會ニ於テモ、ハツキリト米、肥料、飼料其ノ他ノ農林、水産物及ビ其ノ生産資材ノ配給ニ付テハ、二元の統制ヲスル旨聲明サレテ居ルノデアリマス、何故ニ配給機構ノ一元の強權性ノ統制斷行ヲナサナイノデアリマスカ、産業組合ト中小商工業者ノ摩擦對立ヲ憂慮シテ

躊躇逡巡サレテ居ルノデアリマス、二元的配給機構ノ竝立コソ、摩擦ヲ激化シテ配給ノ混亂セシムルモノデアリマス、一見對立抗爭スルヤウニ感ジラレル産業組合ト中小商工業者ノ利害ヲ、立體的ニ綜合歸一ナラシムルノハ、配給機構ノ一元の強權統制ニ依ツテノミ解決シ得ルノデアリマス、配給部門ノミニ自由主義的色彩ヲ多分ニ存置シテ、部分的、局部的統制ヲ爲スガ如キハ、所謂統制ノ爲ノ統制デアリマシテ、統制ノ破綻ハ、此ノ綜合性、計畫性ナキ跛行統制ヨリ起ルモノデアリマシテ、斯クテハ國民ハ統制ノ逆效果ノミニ惱マサレマシテ、生産ハ日々萎縮セント致シテ居リマス、實ニ今日ノ統制ハ無統制ナル統制デアツテ、生産縮小ノ統制デアリ、又實ニ戰時下食糧確保ノ至難ヲ誘引スル無謀統制デアリマス、我國ハ豐稔原瑞穂ノ國ト申シマシテ、米ノ國デアリマス、ヨク世間デハオ天道様ト米ノ飯トハ附イテ廻ルト申シマス、然ルニ紀元二千六百年ノ今日ニ至ツテ、米ガ無イカラ節米ヲシロ、代用食ヲシロナント云フコトヲ政府ハ言ツテ居リマスガ、地方ニ行ツテ御覽ナサイ、我國ハ流石ニ瑞穂ノ國デアリマス、斷ジテ米ハ不足致シテ居リマセス、一體政府ノ役人ハ机ノ上デ色々ト調査ヲサレタリ、計畫ヲサレタリシマス、我國ノ物資ハ不思議ニ不足シタリ、窮屈ニナリマス、皮肉ニモ政府ガ不足ヲ慫ヘルモノハ、殆ド實情實溜ト云フコトニナツテ、一方的ニ偏在シテ居リマス、是ハナゼデアリマセウ、政府當局ハ此ノ不思議ナ現象ニ付テハ既ニ能ク御存ジノコトト思ヒマスガ、是ハ政府ニ威信ガナク、又當局ノ處置ガ成ツテ居ナイカラデアリマス、斯ル壇上デ申上ダ

ルノハ如何カト思ヒマスルガ、閣僚諸公ハ或ハ御存ジナイト思ヒマスノデ、昨今市井ニ流行致シテ居リマス今様ノ「ナイ」ヅクシト云フノヲ一寸御紹介申上デマス、「米ナイ、炭ナイ、醬油ナイ、砂糖ナイ、味噌ナイ、燐寸ナイ、肥料ガナイカラオ米ガ作ラレナイ、本當ニヨリナイ内閣」ト云フノデアリマス(笑聲)是ガ國民ノ聲デハナイカト思フノデアリマス、此ノヤウナコトデハ仕方ガアリマセス、ハツキリトシタ食糧政策ヲ立デナイカラ斯ウ云フコトニナツテ來タノデアリマス、コンナ調子デ推シ進ミマス、來ル四月頃ノ肥料ノ最盛需要期、五月頃ノ米ノ中間端境期ニハ、政府當局ノ豫見シ得ナイヤウナ大混亂ヲ誘發スルヤモ測ラレナイノデアリマス、閣ノミガ取引ノ中心デ、闇デナケレバ取引ガ出來ナイヤウナ時ガ來ヨウトシテ居ル現時ニ至ツテモ、政府當局ハ尙ホ配給機構ノ一元の強權統制ヲ實行スル意思ガナイノデアリマセウカ、若シナシトスレバ、政府ノ斯ル態度コソ闇ヲ横行セシメ、資材ノ愈、偏在ナラシメ、物ノ不足ヲ倍加セシメルコトナルノデアリマス(拍手)政府ハ唯生産部門ニ關スル官僚統制ト、消費部門ニ關スル精神的説教ヲ逞シクシタダケデ、統制經濟ヲ行ヘルト思ツテ居ルヤウデスガ、流通經濟ノ統制ヲ行ハズシテ、統制經濟ハナイノデアリマス、流通經濟ノ統制カラ出發シテ、生産ト消費部門ノ統制モ出來ルノデアリマス、其ノ日暮シノ統制ガ今日ノ官僚統制經濟ノ特徵デアリマス、ダカラ生産ノ擴充ヲ閣取引ノ絶滅モ出來得ナイノデアリマス、政府ハ此ノ憂慮スベキ現狀ト、政治性ノナイ官僚ノ事務統制ノ害惡ト正シク認識シテ、宜シク農林水

産物及ビ其ノ生産資材ノ配給機構ノ一元の強權統制ヲ即時斷行シテ、戰時下食糧生産確保ニ萬遺憾ナキヲ期セラレンコトヲ要望シテ、本案ニ賛成スル者デアリマス

(發言スル者アリ)

○議長(小山松壽君) 安藤君ノ御演說中ニ、御取消ニナツタラ如何カト思フ字句ガアリマスガ、如何デスカ

○安藤孝三君 議長ニ一任シマス

○議長(小山松壽君) 議長ニ於テ適當ニ取計フニ御異議アリマセスカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス——是ニテ討論ハ終局致シマシタ、採決致シマス、本案ハ原案ノ通り決スルニ御異議ゴザイマセスカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ可決セラレマシタ、此ノ際農林大臣ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス——島田農林大臣

(國務大臣島田俊雄君登壇)

○國務大臣(島田俊雄君) 只今御決議ニ相成リマシタ戰時食糧問題ノ根本解決ニ關スル各項目ニ對シマシテハ、政府ニ於テ十分之ヲ尊重シ、御趣意ニ副フベク善處致シタイト存ジマス(拍手)

○服部崎市君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、明後二十二日定刻ヨリ本會議ヲ開クコトトシ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ勸議ノ如ク決シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日は是ニテ散會致シマス
午後七時七分散會

衆議院議事速記錄第十九號中
正誤

頁 段 行 誤 正
四三七 二九 關 屬

衆議院議事速記錄第二十八號
中正誤

頁 段 行 誤 正
六七五 二三 數字 數次
六七五 三五 本案ハ兩院 本案ガ兩院ヲ
六七六 一五 新秩序、長期 新秩序長期